

# 個人別成果報告に関連する資料

## 岩槻 邦男 Kunio IWATSUKI

館長

1934年兵庫県丹波市生 京都大学大学院理学研究科博士課程終了。理学博士。

東京大学名誉教授、放送大学客員教授

所属学協会：(社)日本植物学会(評議員、元会長ら)、(社)日本植物園協会(顧問、元会長ら)、日本植物分類学会(元会長ら)、日本シダ学会、生き物文化誌学会(編集委員)、熱帯生態学会、植物形態学会、日本地衣学会、国際植物園連合(直前会長)、国際植物分類学連合(元理事ら)、国際植物形態学会(評議員)、アメリカ植物分類学会(名誉会員)、国際シダ学連合、インドシダ学会(名誉会員)、アメリカシダ学会、イギリスシダ学会、その他



### <研究開発>

#### 1 調査研究

##### ■論文・著書

###### 著書

- 岩槻邦男, (2006)『植物の利用30講』(図説生物学30講シリーズ植物2). 朝倉書店.
- 岩槻邦男, (2006)希少種の保護と生息地保全. 村井俊治編『人とわがわが(上)』, 366-384.
- Koike, F., Clout, M. N., Kawamichi, M., de Poorter, M. & Iwatsuki, K. (eds.) (2007) Assessment and Control of Biological Invasion Risks. Biodiversity Network Japan, 1906.

###### 審査付き論文

- Hennequin, S., A. Ebihara, M. Ito, K. Iwatsuki, and J.-Y. Dubuisson. (2006) New insights into the phylogeny of the genus Hymenophyllum s. l. (Hymenophyllaceae): Revealing the polyphyly of Mecodium. Syst. Bot. 31, 271-284.
- Ebihara, A., Dubuisson, J.-Y., Iwatsuki, K., Hennequin, S. & Ito, M. (2006) A Taxonomic Revision of Hymenophyllaceae. Blumea 51, 221-280.
- Hennequin, S., A. Ebihara, M. Ito, K. Iwatsuki & J.-Y. Dubuisson. (2006) Phylogenetic systematics and evolution of the genus Hymenophyllum (Hymenophyllaceae: Pteridophyta). Fern Gaz. 17 (5), 247-257.
- Iwatsuki, K. 2006. Spherophylon, the concept of life at the level higher than individual. Proc. Jap. Acad. B. 82, 289-296.
- Ebihara, A., Dubuisson, J.-Y., Iwatsuki, K., and Ito, M. 2007. Systematics of Trichomanes (Hymenophyllaceae: Pteridophyta), progress and future interests. Fern Gaz. in press.

###### 講演集、著書分担等

- Iwatsuki, K. (2006) Sacred forests connected with the temple shrines of Japan. Conserving Cultural and Biological Diversity: the Role of Sacred Natural Sites and Cultural Landscapes, 90-92. UNESCO-MAB
- Iwatsuki, K. (2007) Alien species and wild flora. In Koike, F. & al. (eds.): Assessment and Control of Biological Invasion Risks, 2-3. Biodiv. NW Japan.

##### ■その他著作(一部)

###### 著作

- 岩槻邦男 シルクロードの植物たち 27-50 朝日週間百科『シルクロード紀行』27号-50号
- 岩槻邦男, (2006)生物多様性を生きたる 6, ログスドン, 66, 54-57.
- 岩槻邦男, (2006)生物多様性を生きたる 7, ログスドン, 67, 46-49.
- 岩槻邦男, (2006)生物多様性を生きたる 8, ログスドン, 68, 44-47.
- 岩槻邦男, (2007)生物多様性を生きたる 9, ログスドン, 69, 46-49.
- 岩槻邦男, (2006)7月の植物. プランタ, No. 106, 3.
- 岩槻邦男, (2006)日本の絶滅危惧植物 87-88, プランタ, No. 106,

59-60.

- 岩槻邦男, (2006)9月の植物, プランタ, No. 107, 3.
- 岩槻邦男, (2006)ワラビ. プランタ, No. 107, 4-6.
- 岩槻邦男, (2006)11月の植物, プランタ, 108, 3.
- 岩槻邦男, (2006)日本の絶滅危惧植物 89-92, プランタ, No. 107, 60-63.
- 岩槻邦男, (2006)植物と共に生きる, プランタ, No. 108, 4-9.
- 岩槻邦男, (2006)日本の絶滅危惧植物 93-100, プランタ, No. 108, 47-54.
- 岩槻邦男, (2006)生物多様性の持続的な利用-人と自然の共生. 農業と経済, 臨時増刊, 72(14), 13-22.
- 岩槻邦男, 師を語る:科学のための科学. 学術月報, 59(12), 54-55.
- 岩槻邦男, (2006)100年後の森. 日経サイエンス, 36(12), 3.
- 岩槻邦男, (2006)植物園の魅力. 都市公園, 175, 2-4.
- 岩槻邦男, (2006)名前を通じて植物にしたしむ. 緑・花文化の知識認定試験 公式問題集平成18年度版, 6-7.

##### ■研究発表

###### 国際会議など

- Iwatsuki, K. (2006) Harmonious Co-existence between Man and Nature. Beijing Symposium on Biodiversity, Beijing.
- Iwatsuki, K. (2006) Biodiversity and Mankind - for harmonious co-existence between nature and mankind. Professor Wu Cheng-yi's 90 years memorial symposium, Kunming.
- Iwatsuki, K. (2006) GBIF, its history, present status, and future prospect. GBIF International Workshop, Tokyo.

###### ■学会役員など

- (社)日本植物園協会, 顧問.
- 自然史学会連合, 顧問.
- アメリカ植物分類学会, 名誉会員.
- インドシダ学会, 名誉会員.
- インドネシア学術機構 (LIPI), 科学顧問.
- マレーシア植物誌委員会, 評議員.
- 国際植物形態学会, 評議員.
- Indian Fern Journal (印), 編集顧問.
- Journal of Japanese Botany (日), 編集委員.
- ビオヒストリー (生き物文化誌学会), 編集委員.

###### ■助成を受けた研究

- 人間環境としての照葉樹林の植物学的解析 - 中国と日本を対比して. 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 B 海外), 研究代表者 (平成18年度 832万円)
- 「Flora of Japan IIa 巻」. 日本学術振興会科学研究費補助金 (出版助成), 研究代表者. (金額240万円)
- 生物圏保存地域における生物多様性の回復予測. 文部科学省科学研究費補助金 (特別研究促進費), 研究分担者 (80万円/640万円)

###### ■海外調査

- 2006.8 中華人民共和国福建省
- 2006.12 中華人民共和国雲南省

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 県関係講演等

- 岩槻邦男, 2006.5, 「生物多様性の調査研究 - その現状と展望」. 兵庫生物学会創立60周年記念大会, 明石市.
- 岩槻邦男, 2006.8, 「ジャングルスクールに学ぶ - 学んだものをどう生かすか」. ジャングルスクール解団式, 三田市.
- 岩槻邦男, 2006.9, 「外来生物と人の生活 - 現実をどうとらえ、それにどう対応するか」. 企画展シンポジウム「どうする兵庫の外来生物」, 人と自然の博物館, 三田市.
- 岩槻邦男, 2007.2, 植物からの警告 - 人と自然の調和ある共存に向けて. 一白会, 神戸市.
- 岩槻邦男, 2007.2, 「生物多様性の持続的利用」. 関西学院大学講

義, 三田市.

岩槻邦男, 2007.3, 人と自然を生かした町づくりー 自然と共生する日本列島を. 香美町村岡公民館, 香美町.

#### 県外講演等

岩槻邦男, 2006.4, 「植物多様性の研究ー 現状と展望」. 奈良植物研究会創立30周年記念大会, 近畿大学, 奈良市.

岩槻邦男, 2006.4, 「人と自然の共生を考える」. グリーンセイバー, アドバンス講義, 環境工科専門学校, 東京都.

岩槻邦男, 2006.6, 「生命の寿命を考えるー 生き物にとって生きるとはー」. 奥野総合法律事務所研修会, 熱海.

岩槻邦男, 2006.6, 「生物多様性と日本人のこころ」. 日本法律家協会近畿支部総会, 大阪市.

岩槻邦男, 2006.9, 「ヒトとこころ」. パネリスト, コスモスフォーラム IX, 大阪市.

岩槻邦男, 2006.11, 「博物館は今ー 地域博物館に期待するもの」. 新潟に博物館をつくる準備委員会, 新潟市.

岩槻邦男, 2006.12, 「生物多様性を俯瞰するー 生物多様性の現状とこれから」. 京都大学集中講義, 京都大学, 京都市.

岩槻邦男, 2006.12, 「写真によるシダ植物研究者紹介2」. 日本シダの会12月例会, 東京都.

岩槻邦男, 2007.1, パネリスト, IUCNシンポジウム, 東京都.

岩槻邦男, 2007.3, 「地域博物館がやるべきこと、やっていること」. 日本学術会議中国・四国地区講演会, 広島市.

#### 非常勤講師など

放送大学 客員教授として, 授業担当 (2科目の主任講師, 1科目の分担講師), 大学院生の指導 (10人以上の客員指導教員; 修士号取得2名).

京都大学大学院, 関西学院大学の授業担当.

#### ■地域研究員養成事業

##### 成果発表

2007.2, 共生のひろば コメンテーター.

## 2. シンクタンク事業

### ■行政等支援 (委員会, 法人等役員など)

#### 政府機関等委員

日本ユネスコ国内委員会, 委員 (自然科学小委員会委員長, MAB分科会主査).

中央環境審議会, 委員 (野生生物部会長, 世界自然遺産候補地検討委員会委員長ら). (2007.1)

文化学術審議会, 専門委員.

(独) 理化学研究所, 相談役

(独) 国立科学博物館, 評議員, アドバイザー; 同筑波実験植物園運営委員会, 副会長.

(国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所, アドバイザー; 同生物資源委員会, 幹事.

(独) 科学技術振興機構 GBIF 技術専門委員会, 委員長.

日本学術会議第20期, 連携会員.

JICA 地球環境部森林・自然環境グループ国内支援委員会, 委員長.

#### 国際機関等

国際植物園連合 (IABG), 直前会長.

国際植物情報機構地球植物誌編集委員会 (IOPI-SPP), 委員.

#### 法人等役員

国際生物学賞委員会, 委員; 同選考専門委員会, 委員.

コスモス国際賞委員会, 委員.

日本国際賞審査委員会第2部, 部会長.

みどりの学術賞選考委員 (委員長代理).

(財) WWF- ジャパン, 常任理事; 同自然保護委員会, 委員長.

(財) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団, 理事.

(財) 松下幸之助花博記念財団, 理事.

(財) 日本自然保護協会, 評議員.

(財) 国際生態学センター, 評議員.

(財) 国際花と緑の博覧会記念協会, 参与, コスモスフォーラム実行委員長.

(財) 公園緑地管理財団, 緑・花試験実行委員会, 副会長.

(財) 科学技術振興財団, 研究植物園助成選考委員.

(財) 昭和聖徳記念財団, 研究助成選考委員.

(NPO) 聚, グリーンセイバー実行委員長.

(NPO) ベルデ, 理事.

生物多様性 Japan, 代表.

兵庫県生涯教育審議会, 委員.

(財) ひょうご科学技術協会, 理事.

## 3 資料収集・整理

### ■資料収集

2006.8 シダ植物標本の採集, 中華人民共和国福建省.

2006.12 シダ植物標本の採集, 中華人民共和国雲南省.

### ■整理同定

1990年代収集のベトナム産シダ植物の同定, 配架.

2006年収集の中国産シダ植物の同定, 配架.

## 4 特別プロジェクト

### サバ・プロジェクト

ジャングルスクールの企画に参加し, JICAの受入研究者に対応, サバ大学学長・研究所長の来日時に対応するなど, さまざまな機会に博物館とサバ大学の協力に貢献した.

### GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進・プロジェクト

国内技術専門委員会委員長として参画.

### フェアブル展ひょうご・プロジェクト

フェアブル展5館共同事業実行委員として参画.

## 河合 雅雄, Masao KAWAI

### 名誉館長

大正13年兵庫県篠山市生 京都大学理学部動物学

科卒業

理学博士. マレーシアサバ大学名誉博士

京都大学名誉教授. 丹波の森名誉苑長. 日本人類

学会, 日本霊長類学会, 日本哺乳類学会, 生き物

文化誌学会, 日本アフリカ学会, 日本ナイル・エチオピア学会, 兵庫県

政学会等所属.



### ■著書

河合雅雄 (2007) 里山と動物, 動物反乱と森の崩壊 (森林環境研究会編著), 7-14, 森林文化協会

### ■その他著作

河合雅雄, 柳生慎吾, (2006) 「柳生慎吾のこの人と語りたい!」, NHK 趣味の園芸 400号, 日本放送出版協会

河合雅雄, (2006) 世界へへへ世界から「リヤカー引いて4万キロ」, 月刊みんぱく, 国立民俗博物館.

河合雅雄, (2006) 本の周辺「“絶滅危惧種” 科学雑誌」, これから出る本 2006-No.19, (財) 日本書籍出版協会

河合雅雄, (2006) 本の周辺「森のえほん館」, これから出る本, 2006-No.21, (財) 日本書籍出版協会

河合雅雄, (2006) 本の周辺「素読と多読」, これから出る本, 2006-No.23, (財) 日本書籍出版協会

河合雅雄, (2007) 多病息災ー小さな声で, 月刊波, Feb-2007, (財) 日本てんかん協会.

河合雅雄 (2007) 子どもの自然, Link+, Vol. 02, 次世代研究所 sumtory.

### ■委員会等

#### □法人役員

(財) 日本モンキーセンター常務理事.

(財) 三菱UFJ環境財団理事.

(財) 日本生命財団会長.

(財) 小学館・日本児童教育振興財団評議員.

(財) 石田財団評議員.

(財) 下中記念財団評議員.

(財) 花博記念財団評議員.

(財) 子ども教育支援財団評議員.

(財) 兵庫創造協会理事.

(財) 丹波の森協会顧問.

#### □その他

篠山市名誉市民

犬山市名誉市民

県立丹波年輪の里運営協議会会長.

ワイルドライフ・マネジメント計画・運営協議会会長, 農林水産局

森林動物共生室.

CSR活動ネットワーク委員会会長, 産業労働部商工労働局福祉課.

ささやまの森運営協議会会長, ささやまの森公園.

植村直己冒険賞審査委員会, 委員, 日高町.

小学校児童出版文化賞審査委員会, 委員, (財)日本児童教育振興財団.  
アジア太平洋文化賞選考委員会, 委員, アジア太平洋フォーラム淡路会議  
NPO 日本アンリ・フェアブル会理事.  
コウノトリファンクラブ副会長.

#### ■館外講演など

河合雅雄, 2006. 4, 「自然と文化」, 第3回文化芸術フォーラム, 公明党関西芸術振興会議, 大阪中央公会堂. (500名)  
河合雅雄, 2006. 4, 「シュールレアディアーデ 丹波と地域の活性化」(畑儀文とトーク), 丹波の森公園10周年記念講演, 丹波の森公園ホール. (600名)  
河合雅雄, 2006. 5, 「森が学校」, 豊田市, 足助交流館. (200名)  
河合雅雄, 2006. 6, 「子どもの未来を育てる」, 生野学園子どもの未来研究所, 姫路市市民会館中ホール. (150名)  
河合雅雄, 2006. 6, 「人と自然の共生について」, 2006年度日本福祉大学セミナー文化講演会(日本福祉大学後援会), 名古屋国際ホテル. (300名)  
河合雅雄, 2006. 6, 「アフリカの旅から—異文化について考える」, 兵庫県高齢者放送大学篠山市友の会, 篠山市市民センター.  
河合雅雄, 2006. 8, 「新しい家族像を求めて」, 円応教青年会, 円応教ホール(丹波市). (300名)  
河合雅雄, 2006. 8, 「日本人の自然観と里山」, 信濃木崎夏期大学, 講義, 木崎湖畔木崎夏期大学(長野県大町市). (200名)  
河合雅雄, 2006. 9, 「人にとって森とは—森の旅から」, 到道大学, 東北公益文化大学大学院ホール(鶴岡市). (120名)  
河合雅雄, 2006. 9, 「森に還ろう」, サトルエネルギー学会, イノホール(東京).  
河合雅雄, 2006. 10, 「サルに学ぶ子育て」, (財)日本モンキーセンター設立50周年記念特別講演(財)日本モンキーセンター, 中日新聞社, 女性会館(名古屋). (400名)  
河合雅雄, 2006. 10, 「人間はいつどこで生まれどこへ行くのか」, NHK京都文化センター. (60名)  
河合雅雄, 2006. 11, 「子どもと自然」, 工藤直子, 里木郁朝と鼎談, 木城えほんの郷(宮崎県). (60名)  
河合雅雄, 2006. 11, 「幼児と自然」, 広島大学幼児教育研究会, 広島県附属幼稚園.  
河合雅雄, 2006. 11, 「多病息災—小さな声で」, 日本でんかん教会第33回全国大会, 同志社大学(京都).  
河合雅雄, 2006. 11, 「子どもたちに夢を」(永田萌と対談), 丹波の森大学, 丹波の森公園ホール.  
河合雅雄, 2007. 1, 「ヒトはどうしてサルから進化したか」, 香川大学第一内科同門会, 全日空ホテルクレメント(高松市). (100名)  
河合雅雄, 2007. 2, 「サル学の先頭を行く3人の女性」, 武庫川女子大学附属中・高等学校, 武庫川女子大学附属中・高等学校. (30名)  
河合雅雄, 2007. 2, 「野生の反乱」, 篠山ロータリークラブ, 篠山商工会館. (80名)  
河合雅雄, 2007. 3, 「野生動物の一揆」, ささやまの森公園, ささやまの森公園. (60名)

#### ■シンポジウム

河合雅雄, 2006. 5, 講演「宮沢賢治の童話と動物」およびパネルディスカッション「イーハトーヴのコウノトリ—宮沢賢治に学ぶ人と生きものたちの共生」(河合雅雄, 池田啓, 工藤直子, 稲葉哲郎), シンポジウム「宮沢賢治セミナー—篠山—イーハトーヴのコウノトリ」, 篠山市市民センター(篠山市). (250名)  
河合雅雄, 2006. 9, 基調講演「子どもの自然」およびパネルディスカッション(大日向雅美, 春日井敏行, 鷲田清一, 佐藤友美子), 第2回次世代フォーラム「次世代を育む」, 時事通信ビル. (200名)  
河合雅雄, 2007. 2, 基調講演「日本人の動物観」および基調報告と討論(三浦慎吾, 河村文夫, 森本幸裕, 栗原廣子, 竹内敬二), 「国民参加の森づくり」シンポジウム「野生動物の異変と森林崩壊」, 有楽町マリオン朝日スクエア(東京), 朝日新聞社, (財)森林文化協会. (120名)

#### ■インタビュー・座談会等

河合雅雄, 2006. 4, 「森遊びの素地ようやく」, 神戸新聞.  
河合雅雄, 2006. 6, 「師あり弟あり」霊長類学, 読売新聞.  
河合雅雄, 2006. 6, 「このひとに聞きたい」, 消費者情報No. 372.  
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(1), 京都新聞.  
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(2), 京都新聞.  
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(3), 京都新聞.

河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(4), 京都新聞.  
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(5), 京都新聞.  
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(6), 京都新聞.

#### ■テレビ・ラジオ

2006. 5 「震災メッセージ」, NHK 神戸, NHK 総合IV.  
2006. 4— 「丹波ささやま山東の猿便り」, 兵庫県立ネットミュージアム兵庫文学館にて河合雅雄作品等インターネット展示.

#### ■学会・非常勤講師等

日本福祉大学生涯学習名譽センター長.  
神戸女子大学客員教授.  
丹波の森大学学長, (財)丹波の森協会.  
神戸新聞客員論説委員.  
日本ナイル・エチオピア学会名誉会長.  
日本霊長類学会名誉会員.  
日本アフリカ学会評議員.  
日本熱帯生態学会名誉会員

#### ■生涯学習支援事業

第8回ボルネオ・ジャングル体験スクール顧問.

## ○自然・環境評価研究部

### 小林 文夫, Fumio KOBAYASHI

地域環境地質研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授.

昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士.

日本地質学会, 日本古生物学会, The Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The Paleontological Society 所属.



#### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ  
大学・各種学校教育支援担当, 学校団体などへのセミナーなどの実施計画
2. 研究開発部門  
地球科学研究部代表, 同研究部研究担当, 同研究部予算とりまとめ, 和文・英文紀要編集業務総合責任者, 英文紀要編集委員長

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

###### ■特別課題研究(個人研究)

1. 中・古生代基盤岩の地質構造発達史
2. 後期古生代・中生代有孔虫化石群集解析
3. 「小林文夫コレクション」の世界

###### ■共同研究

部門研究「兵庫県産古生代化石の研究」, 研究代表者.  
部門研究「山崎断層帯の活動性に関する基礎的研究」, 研究分担者.

###### ■論文・著書

Fumio Kobayashi (2006) Middle Permian foraminifers of the Izuru and Nabeyama formations, Tochigi prefecture, Japan, Part 1. Schwagerinid, neoschwagerinid, and verbeekinid fusulinoideans. Paleontological Research, Vol.10, No. 1, 37-59.

Fumio Kobayashi (2006) Middle Permian foraminifers of the Izuru and Nabeyama formations, Tochigi prefecture, Japan, Part 2. Schubertellid and ozawainellid fusulinoideans, and other non-fusulinoidean foraminifers. Paleontological Research, Vol.10, No.1, 61-77.

Fumio Kobayashi (2006) Middle Permian foraminifers of Kaize, southern part of the Saku Basin, Nagano prefecture, central Japan. Paleontological Research, Vol.10, No. 3, 179-194.

Fumio Kobayashi and Valery Ja, Vuks (2006) Tithonian-Berriasian foraminiferal faunas from the Torinosu-type calcareous blocks of the southern Kanto Mountains, Japan: their implications for post-accretionary tectonics of Jurassic to Cretaceous terranes. GEOBIOS (Journal of the European Paleontological Association), Vol. 39, 833-843, Elsevier.

Fumio Kobayashi, Rossana Martini, Roberto Rettori, Louise Zarinetti, Benjavun Ratanasthien, Haruo Saegusa, and Hideo Nakaya (2006) Triassic foraminifers of the Lampang Group (Northern Thailand). *Journal of Asian Earth Sciences*, Vol. 27, 312-325, Elsevier.

◎ Fumio Kobayashi (2007) Late Middle Permian (Capitanian) foraminifers in the Mikata area, Hyogo, with special reference to plasticity deformation of their test and their paleobiogeographic affinity with South China - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 5 -. *Nature and Human Activities*, No. 11, 17-28

#### ■その他著作

◎ Fumio Kobayashi (2007) Middle Permian (Wordian) fusulinoideans from Takedao, NW of Takarazuka, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 7 -. *Nature and Human Activities*, No. 11, 67-69

◎ Fumio Kobayashi, Hiroshi Furutani, and Kumiko Handa (2007) Early Permian (Cisuralian) fusulinoideans from Hijima, west of Yamasaki, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 6 -. *Nature and Human Activities*, No. 11, 61-66

Rossana Martini, Jerome Chablais, Fumio Kobayashi, Elias Samankassou, and Hiro Yoshi Sano (2006) Upper Triassic mid-oceanic atoll-type carbonate rocks in the Sambosan Terrane (Kumagawa River, southern Kyushu, SW Japan). "From the Highest to the deepest", 17th International Sedimentary Congress, Fukuoka, Japan, Vol. A, p-020, 236.

◎ 小林文夫 (2006) 武庫川の流れにズームイン. 江崎保男(編), 武庫川散歩, 5-35, 人と自然の博物館.

◎ 加藤茂弘・森永速男・檀原 徹・山下 透・小林文夫・佐藤裕司・半田久美子・古谷 裕・八木 剛 (2006) 後期更新世における中国山地東部の大沼湿原の形成過程. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B) (2) 研究成果報告書), pp. 12-28.

#### ■研究発表

Rossana Martini, Jerome Chablais, Elias Samankassou, Hiro Yoshi Sano, and Fumio Kobayashi (2006) Upper Triassic mid-oceanic atoll-type carbonate rocks in the Sambosan Terrane (Kumagawa River, southern Kyushu, SW Japan) (in poster). 17th International Sedimentary Congress, Fukuoka, Japan.

#### ■学会役員など

*Journal of Paleontology*, レフェリー, The Paleontological Society  
地質学雑誌, レフェリー, 日本地質学会

## 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006. 4-2007. 3 石灰岩・石灰岩礫岩岩石薄片の作成 (1500 枚): 兵庫県 4 市, 岐阜県赤坂石灰岩, 広島県帝釈石灰岩, 山口県秋吉石灰岩とその周辺層, 東京都あきる野市古生代~中生代層, 和歌山県由良町古生代~中生代層, 高知県佐川町, 熊本県五木村, 宮崎県高千穂町, 京都府夜久野町, トルコ共和国タウルス山地の古生代石灰岩など(小林文夫コレクション).

2006. 4-2007. 3 石灰岩薄片写真資料 (1,700 点: 小林文夫コレクション).

2006. 5-2007. 3 中・古生代石灰岩, 含石灰岩層地質資料. 岐阜県, 京都府, 熊本県, 宮崎県, 山口県.

2006. 5-2007. 3 県下の中・古生代地質資料, 丹波市, 相生市.

2006. 8-2007. 3 恐竜化石の発掘および現場警備, 丹波市.

#### ■整理同定担当資料

小林文夫コレクション (中・古生代石灰岩岩石薄片).

#### ■資料貸出

2003. 4- 日本産古生代珊瑚化石石灰岩岩石薄片 72 点 (小林文夫コレクション). 国立科学博物館.

2004. 11-2006. 8 鳥の巣石灰岩岩石薄片 224 点 (小林文夫コレクション). University of Geneva, Switzerland and University of Perugia, Italy.

2005. 1-2006. 8 球磨川流域三宝山石灰岩岩石薄片 28 点 (小林文夫コレクション). University of Geneva, Switzerland.

2006. 11- 日本産ペルム紀後期こけむし化石石灰岩岩石薄片 222 点 (小林文夫コレクション). Western Washington University, Washington.

#### ■資料借入

1996. 6- 青海石灰岩, 関東山地古生代石灰岩岩石薄片 350 点. 国立科学博物館.

#### ■資料譲渡

2007. 1 タイ国及び日本産三畳系石灰岩片 (小林文夫コレクションの母岩の一部). University of Geneva, Switzerland.

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

小林文夫, 2006. 4, 「日本列島の生い立ち」企画展関連セミナー, 博物館. (31 名)

小林文夫, 2006. 8, 「地球大紀行ー活きている大地の素顔ー」教職員セミナー, 博物館. (45 名)

小林文夫, 2006. 9, 「兵庫の山」, 博物館. (13 名)

小林文夫, 2006. 10, 「兵庫の川」, 博物館. (11 名)

小林文夫, 2006. 10, 「兵庫の平地」, 博物館. (10 名)

小林文夫, 2006. 4-2007. 3, 「美演化石工房ー薄くしてみる化石ー」, 博物館. (全 9 回, 540 名)

#### 館外講演

小林文夫, 2006. 9, 「神戸の地盤構造と自然災害」, 神戸市立東陽東養護学校教職員研修セミナー, 講師, 東陽東養護学校. (75 名)

小林文夫, 2006. 11, 「西播平野の軟弱地盤と自然災害」姫路市消防局防災セミナー, 博物館. (40 名)

小林文夫, 2006. 11. 「円山川の河川特性と豊岡盆地」, 兵庫県シンクタンク等協議会第 2 回研究サロン, 人と自然の博物館. (24 名)

#### 非常勤講師

2006. 5, 「地形のデザイン」, 神戸芸術工科大学 分担.

2007. 2, 「日本列島の地震活動と活断層長期評価の最新情報」, 関西学院大学集中講義「環境教育」分担.

#### ■キャラバン事業

##### 主担当

2006. 7 淡路地区, テーマ「海底, 地下, 学校に眠る化石」

##### セミナー担当

2006. 7 淡路地区, 「石灰岩のペーパーウエイト作り」(講師)

2006. 7 淡路地区, 「化石発掘体験会」(指導・助言)

#### ■地域研究員養成事業

##### ひとはく地域研究員ステップアップセミナー

2006. 10 阪神北地域「自然と環境コース」, 「大量絶滅と生物の進化」(猪名川町立生涯学習センター, 講師. (50 名)

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006. 6. 6-6. 9, 三田市中学校 4 名.

2006. 6. 14, 啓明学院中学校 1 名.

##### 学校団体対応

2006. 5. 「三田フラワータウンの今昔ー土地開発と土地改変ー」, 講師, 兵庫県立大学環境人間学部. (36 名)

2006. 5. 「化石入門ー薄くしてみる化石ー」講師, 大阪府立住吉高校. (40 名)

2006. 7. 「化石入門ー薄くしてみる化石ー」講師, 兵庫県立姫路飾西高校. (19 名)

2006. 9. 「海の一生涯ー大地のロマンー」講師, 新温泉町立浜坂中学校. (55 名)

2006. 9. 「地層と化石」講師, 西脇市立比延小学校. (47 名)

2006. 11. 「地層と大地のつくり」講師, 姫路市立峰相小学校. (50 名)

2006. 12. 「地層と大地のつくり」講師, 三田市立つつじヶ丘小学校. (124 名)

2006. 12. 「大地のつくりと変化」講師, 三田市立武庫小学校. (117 名)

2006. 12. 「地層と大地のつくり」講師, 三田市立広野小学校. (57

名)

■研修生等の受入  
博物館実習

2006. 8. 21, オリエンテーション, 参加全大学実習生 9 名.

■フェスティバル等

2006. 11. ひとつはくフェスティバル, 「化石工房スペシャル」(分担者).

■展示

企画展

2006. 2. 18-2006. 6. 11, 企画展「古生代の世界」(副代表者)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2 回, 12 名.

■行政等支援

委員会等 (計 5 件)

1998. 4-. 近畿地方土木地質図改訂委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

1997. 4-. 西播磨地域地域地震防災連絡会, 顧問, 西播磨市町長会.

2001. 2-. 三木総合防災公園断層保存懇話会, 委員, 兵庫県まちづくり部.

2001. 2-. 北近畿豊岡自動車道環境評価技術検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2007. 2-. 「兵庫の地質」地質情報データベース作成委員会, オブザーバー, 県土整備部.

2005. 12-. 「玄武洞ミュージアム」登録博物館審査, 審査員, 兵庫県教育委員会.

相談・指導助言

来訪者 15 件, 20 名. 電話・FAX 相談 45 件.

佐藤裕司 Hiroshi SATO

地域環境地質研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学

研究部門 教授.

昭和 32 年大阪府生まれ. 神戸大学大学院理学研究科修士課程修了. 学術博士(神戸大学). 日本第四紀学会, 日本陸水学会, 日本藻類学会, 日本珪藻学会, 日本環境教育学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ  
フロアマネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人)

1. ミレニアルスケールの海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究

■共同研究

部門研究「瀬戸内の自然史研究、全史解明に向けた企画調査」, 研究代表者.

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 分担者.

■論文・著書

◎Sato, H., J. Okuno, J and S. Katoh (2006) Evaluation of the Holocene crustal movement in the Ako Plain, western Japan. The Holocene, No. 16, 533-545.

◎佐藤裕司・横山 正・真殿克麿・辻 光浩・水野雅光・魚留 卓・妹尾嘉之・杉野伸義・永野正之・三橋弘宗・浅見佳世・道典康治・原田一二三 (2006) 兵庫県上郡町・安室川における淡水産紅藻チズジノリ配偶体の出現 — 特に河川の流量変化との関係について —. 陸水学雑誌, 67, 127-133.

◎Katoh, S., Handa, K., Hyodo, M., Sato, H., Nakamura, T., Yamashita, T. and Danhara, T. (2006) Estimation of eruptive ages of the late Pleistocene tephra layers derived from Daisen

and Sambe Volcanoes based on AMS-14C dating of the moor sediments at Ohnuma Moor in the Chugoku Mountains, Western Japan. Nature and Human Activities, No. 11, 31-52.

■その他著作

◎佐藤裕司 (2006) 兵庫県・大沼湿原ボーリングコアの珪藻分析と最終氷期の堆積環境(予察). 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書), pp. 53-58.

◎加藤茂弘・森永速男・檀原 徹・山下 透・小林文夫・佐藤裕司・半田久美子・古谷 裕・八木 剛 (2006) 後期更新世における中国山地東部の大沼湿原の形成過程. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書), pp. 12-28.

◎半田久美子・加藤茂弘・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫 (2006) 中国山地東部, 大沼湿原における 3. 8 万年前以降の植生変遷. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書), pp. 43-52.

◎Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K. and Yagi, T. (2006) Paleoenvironmental changes during the last 50,000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. In Katoh, S. (ed.), High-resolution reconstruction of the paleoenvironmental changes since the Last Glacial by the analyses of highland moor deposits. Report to the Japan Society for Promotion of Science, Tokyo, pp. 83-86.

■研究発表

◎杉野伸義・宮田祥史・関基・瀧健太郎・三橋弘宗・佐藤裕司 (2007) 兵庫県安室川におけるチズジノリの発生と光環境の関係. 日本藻類学会第 31 回大会, 神戸大学, 神戸市).

新井章吾・千原光雄・長谷井 稔・羽生田岳昭・比嘉 敦・香村真徳・笠井文絵・熊野 茂・中村 武・大谷修司・佐藤裕司・洲澤 譲・田中次郎・吉田忠生・吉崎 誠 (2007) レッドリストに掲載された淡水産紅藻の分布地図. 日本藻類学会第 31 回大会, 神戸大学, 神戸市.

■学会役員など

2006. 4-2007. 3, 日本第四紀学会博物館連絡委員

2007. 1-2007. 12, 日本珪藻学会編集委員

■助成を受けた研究

ジャワ鮮新更新世の古環境変遷と原人の出現・進化に関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B)(1)), 研究分担者. (分担金 30 万円/総額 300 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 篠山層群産恐竜化石の発掘. 丹波市.

2006. 4-2007. 3 現生淡水藻類の標本採集. 上郡町など.

■整理同担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司, 2006. 4-2006. 5, 「ため池をさぐる」, 博物館ほか. (全 4 回, のべ 35 名).

佐藤裕司, 2006. 8, 教職員セミナー「古環境を調べる」, 博物館. (6 名)

佐藤裕司, 2006. 9, 「自然史からみた兵庫の海~高塚山海進から縄文海進まで~」, 博物館. (23 名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2006. 10, 高校連携セミナー「身近な環境を調査しよう~ピオトープ池を調べる~」, キリンビール(株)神戸工場. (のべ 43 名)

佐藤裕司, 2007. 2, 連携セミナー「環境時代の時代の見かた(第 1 回) 21 世紀の地球温暖化対策を過去から学ぶ」, 県立神戸生活創造センター. (30 名)

佐藤裕司・田中哲夫・赤澤宏樹・橋本佳延・服部 保・小林文夫・岩槻邦男, 2006. 2. 20-23, 関西学院大学連携講座「環境教育 2 クラス」. (67 名)

### 館外講演など

佐藤裕司, 2006.10, 生涯学習カレッジ・リバグレス猪名川「地球温暖化と海面上昇①」, 猪名川町生涯学習センター. (24名)  
佐藤裕司, 2006.11, 生涯学習カレッジ・リバグレス猪名川「地球温暖化と海面上昇②」, 猪名川町生涯学習センター. (21名)

### 非常勤講師など

2006.10-2007.3, 環境教育1クラス, 関西学院大学.

### ■ミニキャラバン事業

2006.10, 兵庫自治学会 (兵庫県立大学神戸学園都市キャンパス)

### ■学校教育支援

#### トライやるウィーク

2006.6.13, 啓明学院中学校1名

#### 学校団体対応等

2006.10, 兵庫県立篠山鳳鳴高校. (29名)「藻類と水質」  
2006.12, 京都府立福知山高校. (59名)「地球温暖化と海面上昇」  
2007.2, 東条町立東条東小学校. (34名)「水の話」と実習「水の中の微生物」

### ■研修生等の受入

#### 博物館実習

2006.8, 神戸大学理学部・高知大学理学部 各1名

#### 卒論生等の受入

2006.4-2007.3 神戸大学理学部地球惑星科学科 1名

### ■フェスティバル等

2006.10 ひとつはくフェスティバル, 実行委員会.

### ■展示

#### ミニ企画展等

2006.9-11, ミニ企画展「自然史からみた兵庫の海 (共催: 日本第四紀学会)」(責任者)

## 2. シンクタンク事業

### ■受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ創出に関する研究」, キリンビール株式会社神戸工場. 研究分担者 (70万円)  
企業研修「リコー親子自然教室 in 兵庫ひとつはく」. 株式会社リコー. 研究分担者 (20万円)

### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2回, 13名.

### ■行政等支援

#### 委員会等 (計4件)

2006.4-2007.3, 川西市環境保全審議会専門委員, 川西市.  
2006.4-2007.3, 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所.  
2006.4-2007.3, 安室川自然再生検討会・技術部会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所.  
2006.4-2007.3, いなみ野ため池ミュージアム・客員キュレーター

#### 相談・指導助言

来訪者15件, 18名. 電話・FAX相談12件, メール相談25件.

### ■特別プロジェクト

#### サバ・プロジェクト

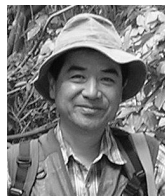
リーダー

## 先山 徹, Tohru SAKIYAMA

地域環境地質研究グループ/企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 助教授  
昭和29年岐阜県生, 広島大学大学院理学研究科博士課程修了, 理学博士. 日本地質学会, 日本岩石鉱物鉱床学会, 地学団体研究会, 日本地学教育学会所属



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティングおよびマネジメント部門企画調整室企画調整グループ  
経営戦略マネージャー

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 花崗岩の岩石学的研究
2. 各種石材の産地同定に関する研究

### ■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者.  
部門研究「瀬戸内の自然史研究, 全史解明に向けた企画調査」, 研究分担者.

### ■その他著作

先山 徹 (2006) 地域と連携する博物館. 文部科学時報, 10月号, 11-12.  
先山 徹 (2007) 展示室で遊ぶ子ども向けプログラム ~ひとつはく・フロアスタッフの例~. 第14回全国科学博物館協議会研究発表大会資料, 33-38.

### ■研究発表

SAKIYAMA, T. (2006) Application of mineralogy and petrology to lifelong education in the Museum of Nature and Human Activities, Hyogo. 19th General Meeting of the International Mineralogical Association, International Conference Center Kobe, Kobe.  
先山 徹 (2006) ひとつはくキャラバンと地域研究員. 日本地質学会夜間小集会, 高知大学, 高知市.  
先山 徹 (2006) 地域の景観を作る地域の石材. 竜山石フォーラム「竜山石を語ろう 2006 ~石の文化とまちづくり~」, ふれあいの郷生石研修センター, 高砂市.  
先山 徹 (2007) 学校や地域の地震・防災教育をアシストする博物館活動. 北淡活断層シンポジウム, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市.  
先山 徹 (2007) 展示室で遊ぶ子ども向けプログラム ~ひとつはく・フロアスタッフの例~. 第14回全国科学博物館協議会研究発表大会, 新江ノ島水族館, 藤沢市.

### ■学会役員など

日本地質学会, 生涯教育委員会委員.

### ■海外調査

2007.1 英国・博物館調査

## 2. 資料収集・整理

### ■資料収集

2006.5-11 考古・歴史遺物中の石材資料. 芦屋市, 西宮市, 高槻市.  
2006.5 山陰帯宮津花崗岩.  
2006.7 県内花崗岩収集. 川西市.  
2007.3 遺跡石材調査. 高槻市.

### ■受贈担当資料

2007.2 北但層群球顆流紋岩 (笠浪氏コレクション). 20点.

### ■整理同定担当資料

岩石・鉱物資料担当

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

先山 徹, 2006.5, 「石の観察と見分け方ー古墳時代から今に伝わる石材: 竜山石ー」, 博物館. (22名)  
先山 徹・加藤茂弘, 2006.5, 「春の石めぐりハイキングー高砂: 石の宝殿と竜山石ー」, 高砂市. (42名)  
先山 徹, 2006.8, 「地学実験講座1」, 博物館. (19名)  
先山 徹, 2006.8, 「地学実験講座2」, 博物館. (13名)  
先山 徹, 2006.8, 「石の観察と見分け方ー水晶のなかまー」, 博物館. (31名)  
先山 徹, 2006.9, 「石の観察と見分け方ー建物の石材を知ろうー」, 博物館. (8名)  
加藤茂弘・先山 徹, 2006.10, 「秋の石めぐりハイキングー野島断層と大阪層群ー」, 博物館. (17名)  
先山 徹, 2006.11, 「石の観察と見分け方ー花崗岩 (みかゞ石)のなかまー」, 博物館. (23名)  
先山 徹, 2007.3, 「石の観察と見分け方ー磁石をひきつける鉱物と地球の磁場ー」, 博物館. (18名)

#### 館外講演

先山 徹, 2006.6, 「ひょうごは石の国ー日本の文化と経済をささえたひょうごの石材と鉱山」, ひょうご講座, 兵庫学習ブ

ラザ. (30名)

先山 徹, 2006.7. 「生命の進化をもたらした地球と大気の歴史」, 兵庫県立大学特別公開講座, 丹波の森公苑. (30名)

先山 徹, 2006.8. 「三田付近地層の観察」, 平成18年度小・中・高等学校 学ぶ意欲を育てる観察・実験講座 (教育研修所), 三木市. (26名)

先山 徹, 2006.8. 「泥んこお絵かき その1」, さようアートスクール2006, 大撫山埋蔵文化財事務所. (35名)

先山 徹, 2006.8. 「泥んこお絵かき その2」, さようアートスクール2006, 佐用町教育集会所. (35名)

先山 徹, 2006.9. 「古の西播磨 ～祖先を育んだ自然環境 研修編」, 西播磨エコプレイヤー塾 講師, 西播磨総合庁舎. (35名)

先山 徹, 2006.9. 「古の西播磨 ～祖先を育んだ自然環境 現地見学編」, 西播磨エコプレイヤー塾 講師, 宍粟市千種町. (35名)

先山 徹・加藤茂弘, 2006.9. 「地学から見た六甲山～都市山の地形と地質～」, 講師, 六甲・三田・一庫環境学習セミナー, 六甲山自然保護センター. (39名)

先山 徹, 2006.10. 「六甲山地の生い立ちと花崗岩」, 芦屋まちかど学一石の文化を語る, 芦屋市立公民館. (32名)

先山 徹, 2007.1. 「火打石セットをつくろう」, 高砂市小中学校理科研究会, 高砂市荒井小学校. (35名)

#### 非常勤講師

2006.4. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

2006.10-11. 「地学」, 但馬技術大学校.

#### ■ミニキャラバン事業

2006.10. ひとつはくがやってくる in ふれあいフェスティバル (展示実施、分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 丹波の森公苑.

#### ■学校教育支援

##### 学校団体対応

2006.5. 宝塚北高等学校. (42名)

2006.7. 兵庫県立大学府増高等学校. (38名)

2006.9. 岡山理科大学. (76名)

##### 講師派遣

2007.1. 「岩石を学ぼうー岩石を使ったおもしろ実験」, 講師, 高砂市立荒井小学校6年生. (120名)

2007.2. 「地層の成り立ち・岩石の見分け方」, 三木市立みなぎ台小学校6年生. (60名)

2007.3. 「山南町の地層と岩石」. 丹波市立久下小学校5・6年生. (70名)

#### ■研修生等の受入

##### 博物館実習

2006.8.21-8.25, 高知大学1名, 神戸大学1名.

## 2. シンクタンク事業

#### ■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」, 猪名川町. 研究分担者 (30万円)

#### ■行政等支援

##### 委員会等 (計3件)

2006.4-2007.3. 六甲山自然保護センター運営協議会, 副委員長, 兵庫県神戸県民局.

2006.4-2007.3. 玄武洞公園整備検討委員会, 委員, 豊岡市商工観光課.

2006.4-2007.3. 徳川大坂城東六甲採石場調査研究検討会, 委員, 兵庫県教育委員会.

##### 相談・指導助言

来訪者16件, 20名. 電話・FAX相談2件, メール相談6件.

## 加藤 茂弘, Shigehiro KATO

地域環境地質研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和35年岐阜県生. 東京大学大学院理学研究科地

理学専攻博士課程単位取得後退学. 日本地理学会,

日本地質学会, 日本第四紀学会, 日本地形学連合,

日本人類学会, 東北地理学会等所属.



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ

展示マネージャー, 企画展・ミニ企画展・新着資料及びトピックス展示の進行と予算管理, 常設展示の補修と改善

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究 (個人研究)

1. 火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究

2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究

3. 地震断層の保存と活用に関する研究

##### ■共同研究

部門研究「山崎断層帯の活動性に関する基礎的研究」, 研究代表者.

##### ■論文・著書

◎Katoh, S., Handa, K., Hyodo, M., Sato, H., Nakamura, T., Yamashita, T. and Danhara, T. (2006) Estimation of eruptive ages of the late Pleistocene tephra layers derived from Daisen and Sambu Volcanoes based on AMS-<sup>14</sup>C dating of the moor sediments at Ohnuma Moor in the Chugoku Mountains, Western Japan. *Humans and Nature*, No. 11, 31-52.

◎Sato, H., Okuno, J. and Katoh, S. (2006) Evaluation of Holocene crustal movement in the Ako Plain, western Japan. *The Holocene*, No. 16, 533-542.

##### ■その他著作

◎加藤茂弘 (2006) 武庫川のふしぎな地形と地質. 江崎保男編著『武庫川散策』(人と自然特別号2), 37-51

◎加藤茂弘編著 (2006) 高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元. 平成14~17年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)) 研究成果報告書, 95p.

◎加藤茂弘・田中義文・大嶋秀明・林 成多 (2007) 近畿地方北部, 福知山盆地における中部更新統・福知山層上部層堆積期の古環境. *人と自然*, No. 17, 19-34.

◎松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹 (2006) 兵庫県三田地域における古第3系神戸層群の哺乳類化石産出層準のF-T年代. 日本地質学会第113回学術大会講演要旨, 67.

上北 孝・野中寿信・加藤茂弘・兵頭政幸 (2006) 未固結粘性土地盤を対象とした定方位試料サンプラーの開発. 全地連「技術 e-フォーラム2006」名古屋講演集CD-R, 論文No.94.

◎北淡活断層シンポジウム実行委員会編 (2007) 北淡活断層シンポジウム2007「学校と地域で考える地震と防災」講演要旨集, 北淡活断層シンポジウム実行委員会, 84p.

##### ■研究発表

◎松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹 (2006) 兵庫県三田地域における古第3系神戸層群の哺乳類化石産出層準のF-T年代. 日本地質学会第113回学術大会, 高知大, 高知市.

上北 孝・野中寿信・加藤茂弘・兵頭政幸 (2006) 未固結粘性土地盤を対象とした定方位試料サンプラーの開発. 全地連「技術 e-フォーラム2006」名古屋, メルパルク名古屋, 名古屋市.

##### ■学会役員など

北淡活断層シンポジウム2007 実行委員会, 事務局幹事.

##### ■助成を受けた研究

汎用中深度定方位サンプリング手法の開発. 文部科学省科学研究費萌芽研究, 研究代表者 (220万円)

長大活断層のセグメント区分・地下構造・活動履歴の再検討と大地震予測の総合研究. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究(B), 研究分担者 (研究代表者: 岡田篤正立命館大学歴史都市防災センター教授, 分担金260万円/平成18年度総額570万円)

鮮更新世の初期人類をも含む哺乳動物相の進化古環境学的研究. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究(A), 研究協力者 (研究代表者: 諏訪 元東京大学総合研究博物館教授, 分担金60万円/平成18年度総額490万円)

## ■海外調査

- 2006.12 台湾 (921 地震博物館トレンチ展示の保存処理)
- 2007.3 エチオピア (中新世化石サイトの地質層序調査)

## 2. 資料収集・整理

### ■資料収集

- 2006.5,7 第四紀火山岩とテフラの収集。香美町, 養父市。
- 2006.8 沖積層ボーリングコア。福井県坂井市。
- 2006.9 白亜紀恐竜化石の発掘。丹波市。
- 2006.12 熊川断層トレンチ資料の収集。福井県熊川町。
- 2007.2 暮坂断層トレンチ壁面はぎとり標本の作成。姫路市。
- 2007.2-3 白亜紀恐竜化石の発掘。丹波市。

### ■整理同定担当資料

- 第四紀の火山灰・堆積物。
- 活断層トレンチはぎとり標本などの地震関連資料。

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

- 先山 徹・加藤茂弘, 2006.5, 「春の石めぐりハイキングー高砂: 石の宝殿と竜山石」, 高砂市。(42名)
- 加藤茂弘, 2006.7, 「兵庫県下の活断層と近未来の大地震」, 博物館。(14名)
- 加藤茂弘, 2006.8, 「兵庫の大地の成り立ちを探る」, 人と自然の博物館。(41名)
- 加藤茂弘・先山 徹, 2006.10, 「秋の石めぐりハイキングー野島断層と大阪層群」, 野島断層保存館とその周辺。(17名)
- 八木 剛・加藤茂弘・足立 勲ほか, 2006.7-8, 夏のアドベンチャー「ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール」(全4回6日間, 主催: Run Run Plaza), 博物館&ハチ北高原。(17名)
- 加藤茂弘, 2006.11-2007.2, 「偏光顕微鏡で見る鉱物と岩石」, 博物館。(全4回, 248名)
- 高橋 晃・高野温子・布施静香・橋本佳延・三枝春生・加藤茂弘, 2007.2, 「私たちの新発見〜ひとはく研究員海外調査報告会〜」, 博物館。(15名)

##### 館外講演

- 加藤茂弘, 2006.5, 「兵庫県の活断層と近未来の大地震」, 兵庫県阪神シニアカレッジ同窓会, 講師, ソリオ2。(150名)
- 加藤茂弘, 2006.7, 「あわじサイエンスチャレンジ2006〜学校と社会をつなぐ体験型科学教育フォーラム」(2泊3日), 国立淡路青少年交流の家, 講師, 国立淡路青少年交流の家及び南あわじ市吹上浜周辺。(32名)
- 先山 徹・加藤茂弘, 2006.9, 「六甲山の地形・地質と活断層」, 講師, 財団法人ひょうご環境創造協会, 六甲山自然保護センター。(38名)
- 加藤茂弘, 2006.10, 「六甲山地と三田盆地周辺の地形・地質と活断層」, 三田市理化学部会, 講師, 人と自然の博物館。(17名)
- 加藤茂弘, 2006.11, 「兵庫県下の活断層と近未来の大地震」, 平成18年度兵庫県阪神シニアカレッジ3年生講座, 講師, ソリオ2。(150名)
- 加藤茂弘, 2006.11, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 平成18年度兵庫県阪神シニアカレッジ4年生講座, 講師, ソリオ2。(140名)
- 加藤茂弘, 2007.1, パネル・ディスカッション「学校と地域で地震・防災教育をどう進めるか?」, 北淡活断層シンポジウム実行委員会, 司会進行, 北淡震災記念公園セミナーハウス。(200名)
- 加藤茂弘, 2007.2, 「宝塚市の活断層と将来の大地震の予測」, 講師, 宝塚市中筋山手自治会, 中筋山手公民館。(15名)

#### ■ミニ・キャラバン事業

- 2006.5, 「ひとはくオリジナル遊びで楽しもう!」(主担当), みんなくキッズフェスティバル, 国立民族学博物館。

#### ■地域研究員養成事業

##### 成果発表

- 2006.12 淡路地域 「大阪層群産植物化石を含む火山灰の対比とそれに基づく化石の年代推定」, 南淡路地学の会(指導・協働)
- 2007.2 共生の広場「人とクマ, 共存に向けた環境教育」, 東中

国クマ集会(博物館副責任者)。

#### ■学校教育支援

##### 学校団体対応等

- 2005.12 「六甲山地周辺の地形・地質と活断層」, 講師, 兵庫県立舞子高校環境防災科1年生。(31名)

##### 講師派遣

- 2005.6 「21世紀の南海地震を探る」, 環境防災科専門科目「環境と科学」, 講師, 兵庫県立舞子高校環境防災科1年生。(31名)
- 2005.6 「液化化と耐震・免震」, 環境防災科専門科目「環境と科学」, 講師, 兵庫県立舞子高校環境防災科1年生。(31名)

#### ■フェスティバル等

- 2006.8 夜間特別セミナー「コウモリ・ウォッチング」(補助)
- 2006.8 夜間特別セミナー「観望会2006 星空を見てみよう」(博物館側責任者)(西はりま天文台との共催)
- 2006.11 「ひとはくフェスティバル'06」実行委員会委員。

#### ■展示

##### ミニ企画等

- 2005.7-9 ミニ企画展「自然史から見た兵庫の森と海」(日本第四紀学会50周年事業共催展示)(分担者), 人と自然の博物館。

### 2. シンクタンク事業

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内8回, 57名。

#### ■行政等支援

##### 委員会等(計4件)

- 2006.4-2007.3 野島断層活用委員会 委員, 淡路市教育委員会
- 2006.4-2007.3 野島断層活用委員会展示更新ワーキンググループ, 委員, 淡路市教育委員会。
- 2006.4-2007.3 兵庫県立舞子高校環境防災科運営協議会, 委員, 兵庫県立舞子高校。
- 2006.4-2007.3 平成18年度うれしの学園生涯大学運営委員会, 委員, 兵庫県立嬉野台生涯学習センター。

#### 相談・指導・助言(来訪者件数, 電話・FAX等相談含む)

- 来訪者20件, 電話・FAX相談40件, メール相談100件
- 2006.7 平林地区の道路工事に伴う野島断層の保存に関する助言・指導。専門家, 淡路市教育委員会, 淡路市。
- 2006.7-8 921 地震博物館特別イベント「世界地震故事之日本鯨繪」に関する助言・指導, および絵葉書・リーフレット「年鯨有魚」の資料提供。専門家, 台湾国立自然科学博物館, 台中市。
- 2006.12 野島断層保存館内の地震断層の補修に関する助言・指導。専門家, 淡路市教育委員会, 淡路市。
- 2006.12 台湾竹山地区の地震断層トレンチ壁面の保存処理に関する助言・指導。専門家, 台湾国立自然科学博物館, 台中市。
- 2006.12 福井県熊川断層トレンチ調査に関する現地指導・助言。専門家, 関西電力株式会社, 福井県。
- 2007.2 関西国際空港2期工事深層ボーリングコア調査に関する助言・指導。専門家, 関西国際空港株式会社, 大阪市。
- 2007.2 暮坂断層のトレンチ調査および電気探査に関する取材。専門家, NHK 大阪, 大阪市。
- 2007.2 暮坂断層のトレンチ調査に関する取材。専門家, 神戸新聞, 姫路市。

#### ■学会開催等支援

- 2007.1 北淡活断層シンポジウム2007開催, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 400名。

## 古谷 裕, Hiroshi FURUTANI

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 助教授。

1952年島根県生。名古屋大学大学院理学研究科博士課程(後期課程)単位取得満了。理学博士。日本地質学会, 日本古生物学会等所属。



## <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

- 1. 事業推進部門生涯学習事業推進室シンクタンク活動支援グループ  
キャラバン・地域研究員マネージャー



## <研究開発>

### 1. 調査研究

#### ■特別課題研究（個人研究）

1. 古生代放散虫の研究
2. 兵庫県産中・古生代化石に関する研究

#### ■共同研究

部門研究「兵庫県産古生代化石の研究」, 研究分担者.

#### ■その他著作

◎加藤茂弘・森永速男・檀原 徹・山下 透・小林文夫・佐藤裕司・半田久美子・古谷 裕・八木 剛 (2006) 後期更新世における中国山地東部の大沼湿原の形成過程. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B) (2) 研究成果報告書), pp. 12-28.

Fumio Kobayashi, Hiroshi Furutani, and Kumiko Handa (2007) Early Permian (Cisuralian) fusulinoideans from Hijima, west of Yamasaki, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 6 -. Nature and Human Activities, No. 11, pp. 61-65.

### 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

- 2006.7 放散虫化石. 丹波市.
- 2006.9 恐竜化石. 丹波市.

#### ■整理同定担当資料

化石(中・古生代無脊椎動物化石、微化石).

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

- 古谷 裕, 2006.4, 「古生代ってなんだ?」, 博物館. (17名)
- 古谷 裕, 2006.6, 「化石に親しむ」博物館. (39名)
- 古谷 裕, 2006.8, 「地層の見方・調べ方」, 国立淡路青少年交流の家・野外. (11名)
- 古谷 裕, 2006.8, 「三宮で化石を探す〜街の中の化石〜」, 神戸学習プラザ. (23名)
- 古谷 裕, 2006.10, 「南あわじで白亜紀の地層と化石を探る」, 南あわじ市南淡公民館. (27名)
- 古谷 裕, 2006.4-2007.3, 「顕微鏡で見る化石」, 博物館. (10回, 1077名)

#### 非常勤講師

- 2006.5 「博物館学実習」, 神戸学院大学

#### ■キャラバン事業

##### 主担当

- 2006.7 淡路地区 テーマ「ひとく博士がアトムのまちにやってくる」

##### 展示作成

- 2006.7 丹波地区 化石関係展示(分担者)

##### セミナー担当

- 2006.7 微化石で探る丹波の大地の成り立ち(講師)

#### ■ミニキャラバン事業

- 2006.5 「古生代の世界 特別展示」(分担者), 主催: 人と自然の博物館, 北摂コミュニティ開発センター, フローラ88.
- 2006.10 ふれあいフェスティバル2006(主担当), ふれあいの祭典実行委員会, 丹波の森公苑.

#### ■地域研究員養成事業

##### 成果発表

- 2007.2 共生のひろば (企画運営)

#### ■学校教育支援

##### 学校団体対応

- 2006.11 「地層・化石を調べる」三田市立すずかけ台小学校 6年生. (127名)
- 2006.12 「顕生代の生物の変遷と古生代デボン紀の放散虫に見る生物の進化」兵庫県立有馬高等学校 3年生. (33名)
- 2006.12 「化石のレプリカづくり」姫路市立林田小学校 6年生. (44名)
- 2006.12 「地層・化石を調べる」姫路市立余部小学校 6年生. (74名)
- 2007.2 「地層・化石を調べる」明石市立花園小学校 6年生. (70

名)

- 2007.2 「地層・化石を調べる」西宮市立大社小学校 6年生. (101名)

#### 講師派遣

- 2006.4 「古生代の世界」, 講師, 阪神シニアカレッジ. (90名)
- 2006.8 「地層の観察を通して大地の成り立ちを知るー兵庫の地層ー」, 講師, 県立教育研修所. (30名)
- 2006.10 「身近な石の調べ方」, 講師, 神戸市立六甲アイランド小学校. (15名)
- 2006.11 「地層を調べる」, 講師, 三田市立挾間小学校 6年生. (120人)
- 2007.3 「平成18年度第3回いきいきファミリーふるさと講座」, 講師, 南あわじ市. (40名)

#### ■展示

##### ミニ企画等

- 2007.1.6-2007.1.21, 臨時展示「丹波の恐竜化石」(責任者).

### 2. シンクタンク事業

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 1回, 18名.

## 三枝春生 Haruo Saegusa

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門 助手.

昭和33年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.



## <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ  
展示コンテンツ開発担当
2. 研究開発部門  
資料担当, 交換雑誌担当

## <研究開発>

### 1. 調査研究

#### ■特別課題研究（個人研究）

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
2. 東および東南アジアの第三紀哺乳動物群の研究

#### ■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究代表者.

部門研究「瀬戸内の自然史研究, 全史解明に向けた企画調査」, 研究分担者.

#### ■論文・著書

Kobayashi, F., Martini, R., Rettori, R., Zaninetti, L., Ratanasthien, B., Saegusa, H., Nakaya, H. (2006) Triassic foraminifers of the Lampang Group (Northern Thailand). Journal of Asian Earth Sciences, 27, 312- 325.

White, T. D., WoldeGabriel, G., Asfaw, B., Ambrose, S., Beyene, Y., Bernor, R. L., Boissarie, J.-R., Currie, B., Gilbert, H., Haile-Selassie, Y., Hart, W. K., Hlusko, L. J., Howell, F. C., Kono, R. T., Lehmann, T., Louchart, A., Lovejoy, C. W., Renne, P. R., Saegusa, H., Vrba, E. S., Wesselman, H., & Suwa, G. (2006) Asa Issie, Aramis and the origin of Australopithecus. Nature, 440, 883- 889.

Suganuma, Y., Hamada, T., Tanaka, S., Okada, M., Nakaya, H., Kunimatsu, Y., Saegusa, H., Nagaoka, S., Ratanasthien, B. (2006) Magnetostratigraphy of the Miocene Chiang Muan Formation, northern Thailand: Implication for revised chronology of the earliest Miocene hominoid in Southeast Asia Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology, 239, 75- 86.

#### ■その他著作

Takai, M., Saegusa, H., Thaug-Htike, Zin-Maung-Maung-Thein.

(2006) Neogene mammalian fauna in Myanmar. Asian Paleoprimateology 4, 143-172.  
 Saegusa, H., Thaug-Htike, Zin-Maung-Maung-Thein, Takai, M., Chit Sein (2006) Preliminary investigations on the Neogene proboscideans from Myanmar. 日本地質学会第 113 年学術大会講演要旨, 118.  
 Tsubamoto, T., Matsubara, T., Saegusa, H., Tanaka, S. (2006) Paleogene anthracotheriid and primitive rhinocerotoid mammals from the Kobe Group of Japan and the age of the Kobe Group. Journal of Vertebrate Paleontology, Vol. 23, Supplement to Number 3, 132A.  
 三枝春生 (2007) 丹波市からの恐竜化石の発見. ハーモニー, No. 56, 7.

#### ■研究発表

三枝春生・仲谷英夫・国松 豊・中務 真人・辻川 寛(2006)ケニア, ナカリ産の最初期ゾウ科化石. 日本古生物学会 2006 年年会, 島根大学, 島根市.  
 鏑本武久・三枝春生・田中里志・松原尚志(2006)神戸層群産出のアントラコテリウム科および原始的サイ上科の哺乳類化石と神戸層群の地質年代. 日本古生物学会 2006 年年会, 島根大学, 島根市.  
 松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹(2006)兵庫県三田地域における古第三系神戸層群の哺乳類化石産出層準の F-T 年代. 日本地質学会第 113 年学術大会, 高知大学, 高知市.  
 Saegusa, H., Thaug-Htike, Zin-Maung-Maung-Thein, Takai, M., Chit Sein (2006) Preliminary investigations on the Neogene proboscideans from Myanmar. 日本地質学会第 113 年学術大会, 高知大学, 高知市.  
 Tsubamoto, T., Matsubara, T., Saegusa, H., Tanaka, S. (2006) Paleogene anthracotheriid and primitive rhinocerotoid mammals from the Kobe Group of Japan and the age of the Kobe Group. 66<sup>th</sup> Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Ontario, Canada.  
 沢田順弘・酒井哲弥・仲谷英夫・兵藤博信・兵頭政幸・板谷徹丸・三枝春生・実吉玄貴・国松 豊・中務真人(2006) ケニア・リフトにおける 1000 万年前の大規模な環境変化と哺乳類のアフリカ-西ユーラシア間の交流. 地球惑星科学連合 2006 年大会, 幕張メッセ, 東京.

#### ■学会役員など

化石研究会, 運営委員.  
 The Society of Vertebrate Paleontology, Journal of Vertebrate Paleontology, レフェリー.  
 日本第四紀学会, 第四紀研究, レフェリー

#### ■助成を受けた研究

後期中新世の旧世界における長鼻類の進化. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (100 万円).

## 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006. 8-2007. 3 恐竜化石. 丹波市.

#### ■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (恐竜化石など).

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

三枝春生, 2006. 10, 「動物の歯の石膏模型を作ってみよう」, 博物館. (9 名)  
 三枝春生・小林文夫, 2006. 5, 10, 「三田哺乳類化石産地見学会」, 博物館. (20 名)  
 三枝春生・長谷川太一, 2006. 8, 「脊椎動物の骨格の機能と進化」, 博物館. (9 名)  
 三枝春生, 2006. 4-2006. 3, 「実演! ! 化石工房: 国内外の哺乳類化石」, 博物館. (全 11 回, 180 名)  
 三枝春生, 2007. 1 「臨時展示丹波の恐竜化石展示解説」, 博物館. (全 21 回, 2100 名)

##### 館外講演

三枝春生, 2006. 5, 「化石が語る太古の兵庫」, 講師, 大学連携「ひょうご講座: ひょうごの自然・環境十話」, 兵庫県立神戸学習プラザ. (38 名)

三枝春生, 2006. 7. 生命の誕生と人類の起源, 講師, シニア自然大学研究部, 自然と文化科, 大阪 NPO プラザ. (50 名)  
 三枝春生, 2006. 7. 第 2 回知の創造シリーズセミナー, 兵庫県立大学特別公開講座, 講師, 丹波の森公苑. (50 名)  
 三枝春生, 2006. 10. 神戸にサイがいた頃, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ. (100 名)  
 三枝春生, 2006. 10. 人類とゾウの 700 万年, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ. (100 名)

#### ■キャラバン事業

##### 主担当

2006. 7-8 東播磨地域 テーマ「ひととはくキャラバン in 明石化石展〜化石が語る生物の進化と太古の明石〜」

##### 展示作成

2006. 8 東播磨地域 「ひととはくキャラバン in 明石 化石展〜化石が語る生物の進化と太古の明石〜」.

##### セミナー担当

2006. 8 東播磨地域 化石レプリカ作り (講師・企画運営)

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006. 6. 6-6. 9, 上野台・藍中学校 3 名.

##### 学校団体対応

松原尚志・三枝春生, 2006. 8 「神戸層群の地質と化石」, 守口市教育研究会中学校理科教育研究会. (10 名)  
 三枝春生 2006. 9 「1 階展示解説」, 神戸ドイツ学院ヨーロッパンスクール 2 年生. (8 名)  
 三枝春生・小林文夫, 2006. 12 「大地をさぐる〜化石公園と人と自然の博物館へ行こう」つつじヶ丘小学校. (121 名)  
 三枝春生, 2006. 12 「アケボノゾウの話」, 明石市立谷八木小学校 6 年生. (76 名)

##### 講師派遣

2006. 6 「化石からたどるほ乳類の進化」, 講師, 高砂南高等学校 3 年生. (25 人)

#### ■フェスティバル等

2006. 11 ひととはくフェスティバル, 「化石工房スペシャル」(責任者).

#### ■展示

##### ミニ企画等

2006. 9. 9-11. 5, ミニ企画展「自然史からみた兵庫の海〜地層や化石で知る 100 万年のおいたち〜」(分担者).  
 2007. 1. 6-1. 21, 臨時展示「丹波の恐竜化石」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2 回, 12 名.

#### ■行政等支援

##### 相談・指導助言

来訪者 4 件, 17 名. 電話・FAX 相談 15 件, メール相談 5 件.  
 2006. 6-8 明石海峡産哺乳類化石の整理と保管に関する指導・助言, 専門家, 明石市立文化博物館.

#### ■学会開催等支援

2006. 6. 日本古生物学会 2006 年年会, 古脊椎動物の部, 座長  
 2006. 9. 日本地質学会代 113 年学術大会, 脊椎動物化石セッション, 世話人

## 半田 久美子, Kumiko HANDA

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習事業推進室主任研究員  
 昭和 45 年栃木県生. 大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了. 理学修士.  
 日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属.



## <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

### 1. 事業推進部門生涯学習事業推進室生涯学習支援グループ イベントマネージャー

## <研究開発>

### 1. 調査研究

#### ■特別課題研究（個人研究）

1. 新生代における植生・植物相の変遷史
2. 花粉の形態分類学的研究

#### ■共同研究

部門研究「瀬戸内の自然史研究、全史解明に向けた企画調査」, 研究分担者.

#### ■論文・著書

Hiroshi Ikeda, Kumiko Handa, Su-Kung Wu and Hideaki Ohba (2006) A Revision of the Genus *Spenceria* Trimem (Rosaceae). The Journal of Japanese Botany, 81, 154-167.

◎Katoh, S., Handa, K., Hyodo, M., Sato, H., Nakamura, T., Yamashita, T. and Danhara, T., 2006. Estimation of eruptive ages of the late Pleistocene tephra layers derived from Daisen and Sambu Volcanoes based on AMS-14C dating of the moor sediments at Ohnuma Moor in the Chugoku Mountains, Western Japan. Nature and Human Activities, 11, 31-52.

#### ■その他著作

◎半田久美子・加藤茂弘・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫 (2006) 中国山地東部, 大沼湿原における 3. 8 万年前以降の植生変遷. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) 研究成果報告書), pp. 43-52.

◎加藤茂弘・森永速男・檀原 徹・山下 透・小林文夫・佐藤裕司・半田久美子・古谷 裕・八木 剛 (2006) 後期更新世における中国山地東部の大沼湿原の形成過程. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) 研究成果報告書), pp. 12-28.

◎Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K. and Yagi, T., (2006) Paleoenvironmental changes during the last 50, 000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. In Katoh, S. (ed.), High-resolution reconstruction of the paleoenvironmental changes since the Last Glacial by the analyses of highland moor deposits. Report to the Japan Society for Promotion of Science, Tokyo, pp. 83-86.

◎Fumio Kobayashi, Hiroshi Furutani, and Kumiko Handa (2007) Early Permian (Cisuralian) fusulinoideans from Hijima, west of Yamasaki, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 6 -. Nature and Human Activities, No. 11, 17-28.

### 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006. 4-2007. 3 兵庫県産植物化石資料収集. 神戸市北区, 西区, 三木市, 篠山市.  
2007. 1-3 篠山層群産恐竜化石発掘. 丹波市.

#### ■受贈担当資料

2006. 12 神戸層群産珪化木 (竹内利長氏コレクション). 37 点.

#### ■整理同定担当資料

植物化石担当

#### ■資料貸出

2006. 4-6 徳島県立博物館 企画展「奇跡の化石たち」神戸層群産植物化石 51 点.

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

半田久美子, 2006. 4, 「植物化石採集会」, 神戸市北区. (18 名)  
半田久美子, 2006. 6, 「古生代に繁栄した植物」, 博物館. (21 名)  
半田久美子, 2006. 10, 「花粉の観察-化石編」, 博物館. (10 名)

#### ■館外講演

半田久美子, 2006. 9, 「神戸の植物化石」, ひょうご自然環境セミナー, 講師, 神戸生活創造センター. (47 名)

#### ■キャラバン事業

##### 展示作成

2006. 7-8. 明石文化博物館 化石展-化石が語る生物の進化と

太古の明石.

2007. 2-3. 学校キャラバン 神戸層群の植物化石

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006. 6. 6-6. 9, 上野台・藍中学校 3 名.

##### 学校団体対応

2006. 11, 神戸市立南落合小学校 6 年生. (37 名)

2006. 12, 篠山市立小学校 6 年生. (19 名)

#### ■フェスティバル等

2006. 11. ひとつはくフェスティバル 06, 「パーク・プラス・ステージ」(責任者).

#### ■展示

##### 企画展

2006. 2. 18-6. 11, 企画展「古生代の世界」(分担者).

##### ミニ企画等

2006. 9. 9 - 11. 5, ミニ企画展「自然史から見た兵庫の海」(分担者).

### 2. シンクタンク事業

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫の案内, 1 回, 6 名.

#### ■行政等支援

##### 相談・指導助言

来訪者 5 件, 7 名. 電話・FAX 相談 5 件.

2006. 12 史跡新宮宮内遺跡の植栽に関する指導助言. たつの市教育委員会.

## 松原 尚志, Takashi MATSUBARA

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和 43 年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科博士課程(後期)単位取得退学. 学術博士(理学)(東北大学). 日本地質学会, 日本古生物学会, The Paleontological Society (USA) 日本貝類学会所属.



## <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

### 1. 事業推進部門生涯学習事業室シンクタンク活動支援グループ

出版・発信マネージャー, ひとつはく通信「ハーモニー」編集・発行管理, 季刊セミナーガイド発行管理, ミュージアムレター(メルマガ)編集・発行, ひとつはく手帖 2007 年度版編集(分担)

## <研究開発>

### 1. 調査研究

#### ■特別課題研究（個人研究）

1. 新生界の層序に関する研究
2. 新生代貝類の分類・古生物地理・古生態学的研究

#### ■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「瀬戸内の自然史研究-全史解明に向けての企画調査-」, 研究分担者.

#### ■論文・著書

Matsubara, T. and Komori, K. (2007) The first record of fossil *Ellobium* (Gastropoda: Ellobiidae) from northeastern Japan. Venus (Journal of the Malacological Society of Japan), 65, 325-331.

◎Yokogawa, K., Nakao, K. and Matsubara, T. (2007) Precedence of *Pecten yagurai* Yagura, 1922 (Bivalvia: Pectinidae) over *Pecten yagurai* Makiyama, 1923, with lectotype designation of both taxa. Venus (Journal of the Malacological Society of Japan), 65, 375-378.

#### ■その他著作

◎松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹 (2006) 兵庫県三田地域における古第 3 系神戸層群の哺乳類化石産出層準の F-T 年代. 日本地質学会第 113 回学術大会講演要旨, 67.

◎Tsubamoto, T., Matsubara, T., Saegusa, H. and Tanaka, S. (2006) Paleogene anthracotheriid and primitive rhinocerotoid

mammals from the Kobe Group and the age of the Kobe Group. Journal of Vertebrate Paleontology, 26 supplement (3), 132.  
◎松原尚志 (2006) 展示の周辺 「高塚山粘土層」のはざと標本。ハーモニー, No. 55, 5.

#### ■研究発表

松原尚志・小守一男 (2006) 岩手県二戸市の中新統門ノ沢層からオカミミガイ属 (腹足綱: オカミミガイ科) の発見とその古生物地理学的意義. 日本古生物学会 2006 年年会. 島根大学総合理工学部, 松江.

◎松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹 (2006) 兵庫三田地域における古第三系神戸層群の哺乳類化石産出層準の F-T 年代. 日本地質学会第 113 回学術大会, 高知大学, 高知.

松原尚志・廣瀬浩司・菊池直樹・野田芳和 (2007) 鹿児島県諸浦島の中部始新統白嶽層からエンマノツノガイ属 (*Campanile*) の発見とその古生物地理学的意義. 日本古生物学会第 156 回例会. 徳島県立博物館, 徳島.

松原尚志 (2007) 台湾の化学合成群集について—文献レビュー—. 日本古生物学会第 156 回例会夜間小集会, 徳島県立博物館, 徳島.

中島 礼・松原尚志・大串健一・大原健司・鈴木 淳・川幡穂高 (2007) 酸素同位体比解析に基づくトウキョウホタテの成長過程復元. 日本古生物学会第 156 回例会. 徳島県立博物館, 徳島.

#### ■学会役員など

日本貝類学会「ちりぼたん」編集委員.  
IXth International Congress on Pacific Neogene Stratigraphy, Member of Organizing Committee.

## 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006.9 鮮新世貝類化石. 高知県.  
2006.10 中新世貝類化石. 岩手県・青森県.  
2006.11 北但層群産貝類化石. 朝来市.  
2007.1-3 篠山層群産恐竜化石. 丹波市.

#### ■資料借出

2006.8 マングローブ棲貝類. 二戸市立二戸歴史民俗資料館.

#### ■整理同定担当資料

中一新生代貝類化石.  
池邊展生氏寄贈文献資料  
森下 晶氏寄贈文献資料

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

松原尚志, 2006.7, 「化石標本の作製と整理のしかた」, 博物館. (10名)

松原尚志, 2006.8, 「化石のレプリカをつくろう!」, 博物館. (19名)

松原尚志, 2006.4-9 「実演!!化石工房 中生代の貝化石」, 博物館. (全4回, 93名)

松原尚志, 2006.10-2007.3 「実演!!化石工房 古第三紀の化石」, 博物館. (全5回, 139名)

松原尚志・嶽山洋志・フィービー A. アウエイティ, 2007.1 「化石工房新春スペシャル フィービーさんと化石のレプリカをつくろう!」, 博物館. (全2回, 46名)

##### 館外講演

松原尚志 2006.5 「触ってあてようひとはくクイズ」, フローラ 88. (90名)

#### ■キャラバン事業

##### 展示作成

2006.8 東播磨地域 「ひとはくキャラバン in 明石 化石展—化石が語る生物の進化と太古の明石—」.

##### ■学校教育支援

##### 学校団体等対応

松原尚志・三枝春生, 2006.8 「神戸層群の地質と化石」, 守口市教育研究会中学校理科教育部会研究会. (10名)

##### ■研修生等の受入

##### 博物館実習

2006.8.21, オリエンテーションひとはくの資料と活動概要-3 (地学系資料). 全学生.

2006.8.22-8.25, 神戸大学理学部学生 1名, 高知大学理学部学生

1名.

#### ■フェスティバル等

2006.11 ひとはくフェスティバル, 「化石工房スペシャル」(分担者).

#### ■展示

##### ミニ企画等

2006.9.9-11.5, ミニ企画展「自然史からみた兵庫の海—地層や化石で知る 100 万年のおいたち—」(分担者).

2007.1.6-1.21, 臨時展示「丹波の恐竜化石」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 3回, 19名.

#### ■行政等支援

##### 相談・指導助言

来訪者 13 件, 20 名. 電話・FAX 相談 18 件, メール相談 46 件.

2006.8. 特別企画展「かつて二戸は熱帯だった!化石展」展示内容に関する指導・助言, 二戸市立二戸歴史民俗資料館.

2006.9-10 安藤保二氏寄贈新生代貝類化石の整理と保管に関する指導・助言, 専門家, 明石市立文化博物館.

2007.10 青森県東部地域の中新統および貝類化石に関する現地指導, 専門家, 高知大学理学部自然環境科学科進化古生物学研究室.

2007.10 岩手県二戸地域の中新統の層序と化石産地に関する現地指導, 専門家, 山形大学理学部地球環境学科.

#### ■学会開催等支援

2007.2 日本古生物学会第 156 回例会, 古生態の部-3, 座長.

## ○自然・環境評価研究部

### 中西 明德, Akinori NAKANISHI

昆虫共生系研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類

研究部門 教授.

昭和 18 年 兵庫県生. 昭和 40 年, 九州大学農

学部卒業.

日本昆虫学会, 日本鱗翅学会, 国際鱗翅学会, 熱帯鱗翅学会等所属.



#### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ  
大学・各種学校教育支援担当

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究 (個人研究)

1. タテハチョウ科の高次分類群の系統関係の解明
2. 兵庫県の昆虫相の多様性の起源と保全に関する研究
3. チョウと共生する街づくりの実現
4. 熱帯雨林のチョウ類の多様性

##### ■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者

##### ■論文・著書

Hiroshi SHIMA & NAKANISHI Akinori (2006) Notes on some Oriental species of the genus *Ypthima* (Satyrinae). Nature and Human Activities, No. 11, 53-61.

##### ■その他著作

中西明德(2006)マレーシア領サハ州のチョウ類研究. 昆虫と自然, Vol. 42 (4), 13-18.

##### 2. 資料収集・整理

##### ■受贈担当資料

2006.10, 佐藤英次フタオチョウコレクション(第 3 期分)東南アジアおよびアフリカ産フタオチョウ (130 点)

2006.10, 和田コレクション(*Vindula* 属のチョウ 183 点)

#### ■整理同定担当資料

柴谷篤弘コレクション (オーストラリア地域のチョウ類、約 1600 点)

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### ■館主催セミナー

- 中西明德, 2006. 6, 「チョウの飛ぶ街づくり」, 博物館 (5名)
- 中西明德・橋本佳明, 2006. 9, 「ハチの見分け方」, 博物館 (20名)
- 中西明德, 2006. 10, 「チョウの見分け方」, 博物館 (7名)
- 中西明德, 2006. 12, 「チョウの変異」, 博物館 (3名)

##### ■学校教育支援

###### ■学校団体対応

- 2006. 5 加古川市立両荘中学校 1年生 (88名).
- 2006. 5 三田市立三輪小学校 3年生 (102名).
- 2006. 10 神戸大学農学部昆虫科学 学生 (40名).
- 2006. 11 淡路教育事務協議会 教員 (20名).
- 2006. 12 神戸市立糞台小学校 3年生 (75名).

##### ■展示

###### ■企画展

- 2006. 10. 21-2007. 1. 21, 企画展「虫の風林火山」(分担者)

#### 2. シンクタンク事業

##### ■行政等支援

###### ■委員会等

- 2006. 4-2007. 3, サバ州生物多様性保全プログラム. 国内支援委員会, 委員, 国際協力機構. 3回
- 2006. 7 - 2007. 3, SSH (スーパーサイエンスハイスクール, 神戸高校) 運営指導委員会. 委員, 2回.

遠藤知二・橋本佳明 (2006)アリ形グモ群集とモデルとしてのアリ群集多様性:アリ擬態はどこまで有利になるか?. 日本昆虫学会, 鹿児島大学, 鹿児島市.

##### ■学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員.

Insectes sociaux レフェリー

Asian myrmecology レフェリー

##### ■助成を受けた研究

アリ類の種多様性はアリグモ類の種多様性の鑄型となっているか?- 熱帯林でのアリ・アリグモ共生系の解明 文部科学省科学研究費萌芽的研究, 研究代表者 (90万円).

##### ■海外調査

2006. 8 マレーシア・サバ州

2006. 12 マレーシア・サバ州

##### ■学会賞等

国際社会性昆虫学会ワシントン大会2006年「ベストプレゼン・ポスター」受賞

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2006. 8 アリ類の採集. マレーシア・サバ州.

2006. 12 アリ類の採集. マレーシア・サバ州.

##### ■整理同定担当資料

常木, 岩田, 坂上ハチ類コレクション 1000点

トゲアリ・タイプ標本 40点

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

###### ■館主催セミナー

- 中西明德・橋本佳明. 2006. 9 「ハチの見分け方」, 博物館. (20名)
- 布施静香・高橋晃・高野温子・中西明德・橋本佳明, 2007. 2, 生物系収蔵庫ツアー. 博物館. (40名)

###### ■館外講演など

- 橋本佳明, 2007. 2, APN 国際セミナー「生物多様性の保全による持続的な社会の達成をめざして」. 兵庫県立美術館 (200名).
- 橋本佳明, 2006. 6. 生物多様性保全はなぜ難しいのか. 国際協力事業団 JICA, 本部. (30名)

###### ■非常勤講師など

2006. 5. 「アリとハチのデザイン」. 神戸芸術工科大学. (80名)

##### ■学校教育支援

###### ■学校団体対応等

- 2006. 4 熱帯雨林に生きる昆虫たち. 大阪府立泉北高校. (26名)
- 2006. 5 熱帯雨林の自然. 大阪府立住吉高等学校. (291名)
- 2006. 6 熱帯雨林の生物多様性の世界. 県立福岡高等学校. (42名)
- 2006. 9. 自然の恩恵. 新温泉町立浜坂中学校. (56名)
- 2006. 9. 昆虫のふしぎ. 姫路市立山田小学校. (29名)
- 2006. 10 アリの話. 高槻市立川西小学校. (51名)
- 2006. 11 昆虫のふしぎ. 姫路市立峰相小学校. (60名)
- 2006. 2 アリのデザイン・人のデザイン. 国際クラーク高校. (80名)

###### ■博物館実習

2006. 8. 22 講義「自然史博物館とは」参加全大学実習生. (9名)

##### ■展示

###### ■企画展

2006. 10. 21-2007. 1. 21, 企画展「虫の風林火山」(分担者)

#### 2. シンクタンク事業

##### ■相談・指導助言

来訪相談 7件, 電話相談 22件

#### 3. 特別プロジェクト

##### ■サバ・プロジェクト

マレーシア国立サバ大学, JICA との連絡調整を行った.

##### ■フェアブル展ひょうご・プロジェクト

人博企画調整・全国企画運営会議委員, 展示制作 WG 委員担当. 国内5博物館共同開催のフェアブル100年展の巡回展および, 兵庫

## 橋本佳明 HASHIMOTO, Yoshiaki

昆虫共生系研究グループ/生涯学習事業推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類

部門 助教授

昭和31年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研

究科博士課程修了, 学術博士, 昆虫学会等所属



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門生涯学習事業推進室スクールパートナー推進グループ

学校教育支援担当

#### 2. 研究開発部門

和文紀要「人と自然」編集長担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究 (個人研究)

1. 膜翅目昆虫 (アリ類等) の系統分類学的研究
2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究
3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究
4. 共生生物学

##### ■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者.

##### ■その他著作

橋本佳明 (2007) ボルネオ島サバ州の昆虫研究- その多様性と保護. 昆虫と自然 3月号, 2-4.

##### ■研究発表

Yoshiaki Hashimoto (2006) The ANeT network in Asia, capacity building and its fruits. 国際社会性昆虫学会, 米国ワシントン.

Yoshiaki Hashimoto (2006) Vertical Distribution Pattern of Ants in a Bornean Tropical Rainforest. 国際社会性昆虫学会, 米国ワシントン.

橋本佳明・遠藤知二 (2006) アリ形グモ群集とモデルとしてのアリ群集多様性: アリ形グモ多様性の鑄型としてのアリ類群集の多様性. 日本昆虫学会, 鹿児島大学, 鹿児島市.

## 沢田 佳久, Yoshihisa SAWADA

昆虫共生系研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類

部門 助手

昭和34年京都府生 九州大学大学院農学研究科修

了。農学博士。日本昆虫学会等所属。



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門生涯学習推進室シンクタンク活動支援グループ

資料活用マネージャー

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究（個人研究）

1. オトシブミ, チョッキリの多様性

##### ■論文・著書

沢田佳久 (2006) オトシブミの頭. 昆虫と自然, 41(6), 18-23, Pl. 1.

##### ■研究発表

沢田佳久 (2006) 兵庫県のゾウムシ相. 日本昆虫学会第66回大会, 鹿児島大, 鹿児島市.

沢田佳久 (2006) 甲虫研究における立体写真の活用. 日本甲虫学会 2006年次大会, 大阪自博, 大阪市.

沢田佳久 (2006) 昆虫研究における立体写真の活用. 日本昆虫学会 近畿支部大会, 兵庫県博, 三田市.

##### ■学会役員など

日本昆虫学会, 電子化推進委員.

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2006.6 昆虫の採集. 篠山市など.

2006.6 ヒヌマイトトンボ生態写真等撮影. 豊岡市.

2006.7 ウスイロヒョウモンモドキ生態写真等撮影. 香美町.

2007.3 海浜性ゾウムシ類の採集. 岩手県宮古市, 陸前高田市等.

##### ■受贈担当資料

2006.4 カミキリ類標本等 (小田コレクション). 約9,200点.

2006.8 有野台産ヒラズゲンセイ標本 (青木コレクション). 1点.

2006.8 姫路産ミツコブエンマコガネ標本 (高橋コレクション) 6点.

2006.8 柏原産ゴホンダイコク標本 (丹野コレクション) 1点.

2006.8 深田公園産グミチョッキリ標本 (岸コレクション) 1点.

##### ■整理同定担当資料

昆虫 (鞘翅目, 半翅目).

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

沢田佳久, 2006.6, 「もいちどはじめる昆虫採集」. 博物館. (全4回, 5名)

沢田佳久, 2006.5, 「深田公園オトシブミ観察会」. 博物館. (40名)

沢田佳久, 2006.7, 「小さな虫の標本作り」. 博物館. (20名)

沢田佳久, 2006.8, 「土の中のむし」. 博物館. (20名)

沢田佳久, 2006.9, 「虫の体を調べよう」. 博物館. (10組)

沢田佳久, 2006.10, 「とびだせ立体写真!」. 博物館. (100名)

沢田佳久, 2006.10, 「立体写真撮影入門」. 博物館. (10名)

沢田佳久, 2006.11, 「立体写真特習」. 博物館. (10名)

沢田佳久, 2007.2, 「ゾウムシ学序論」. 博物館. (40名)

大谷 剛・沢田佳久, 2006.8, 「家族で完成! 昆虫標本」. 博物館. (全2回, 10組)

##### 館外講演

沢田佳久, 2006.6, 「ひょうご自然環境セミナー『神戸周辺の甲虫』」. 神戸生活創造センター. (30名)

沢田佳久, 2006.7, 「親子で楽しむ夏休み『昆虫標本教室』」. サンピア明石. (20組)

### ■キャラバン事業

#### 展示作成

2006.4-2007.3 阪神地域, 西播磨地域, 丹波地域, 昆虫標本 (甲虫)

#### ■ミニキャラバン

2006.4-2007.3 有馬富士フェスティバル, 昆虫標本 (甲虫)

#### ■展示

##### 企画展

-2006.6.11, 企画展「古生代の世界」(分担者).

2006.7.8-9.24, 企画展「兵庫の外来生物」(分担者).

2006.10.21-07.1.21, 企画展「虫の風林火山」(分担者).

#### 2. シンクタンク事業

##### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

収蔵品標本調査協力, 5回, 5名.

##### ■行政等支援

来訪者約30件, 約30名. 電話・FAX相談約10件, メール相談約50件.

##### ■学会開催等支援

2006.12, 日本昆虫学会近畿支部日本鱗翅学会近畿支部合同大会開催.

## 八木 剛, Tsuyoshi YAGI

昆虫共生系研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和43年大阪府生 神戸大学大学院農学研究科

修士課程修了。農学修士。日本昆虫学会等所属。



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ

グループリーダー.

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究（個人研究）

1. 昆虫分布の解釈に関する研究

2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

##### ■共同研究

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究ハチ北高原における生物とその生育環境の評価」, 研究代表者.

##### ■論文・著書

近藤博道・八木 剛 (2007) 大規模な出水が郡家川 (兵庫県淡路市) に生息するゲンジボタルおよびカワニナ属の個体数に及ぼす影響. 人と自然, No. 17, 67-72.

##### ■その他著作

八木 剛 (2006) プチ図鑑 兵庫の螢. 兵庫県立人と自然の博物館, 20pp.

八木 剛 (2006) プチ図鑑 兵庫の赤とんぼ. 兵庫県立人と自然の博物館, 20pp.

八木 剛 (2006) ホタルの飛び交う森. 森発見, No. 4, 1. 日本万国博覧会記念機構「自立した森再生センター」

大谷 剛・八木 剛 (2006) プチ図鑑 兵庫の身近な秋の鳴く虫. 兵庫県立人と自然の博物館, 20pp.

##### ■研究発表

八木 剛・安岡拓朗 (2006) ヒメボタル発光時刻の地理的変異. 日本昆虫学会第66回大会, 鹿児島大学, 鹿児島市.

安岡拓朗・八木 剛 (2006) ヒメボタルの幼虫を捕獲するためのベイトトラップの開発. 日本昆虫学会第66回大会, 鹿児島大学, 鹿児島市.

八木 剛 (2006) ミヤマアカネ. 日本昆虫学会近畿支部大会・日本鱗翅学会近畿支部例会合同大会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.

##### ■学会役員など

日本昆虫学会, 近畿支部幹事.

## 2. 資料収集・整理

### ■資料収集

2005.5-2005.7 ヒメボタル等. 川西市, 三田市, 香美町, 熊本県, 京都府.

2005.5-2005.10 昆虫類. 三田市, 神戸市, 宝塚市, 養父市.

### ■整理同定担当資料

昆虫(双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

八木 剛. 2006.4-2007.3, 「ユース昆虫研究室」. 兵庫県立明石公園・明石市立文化博物館・香美町ハチ北高原・博物館. (全13回, 206名)

八木 剛. 2006.5-7, 「レッツ・チャレンジー自然環境調査入門ー身近な環境を調査しようー三田のホタルを調べるー」. 博物館. (全2回, 34名)

八木 剛・橋本佳明・鈴木 武・宮崎ひろ志・赤澤宏樹, 2006.5-12, 「人と自然の共生を考える」. (全6回, 220名)

八木 剛, 2006.6, 「ひめぼたるアドベンチャーin 奥米地」. (23名) (共催: ホタルの里創造協会・養父市立養父公民館)

ひとはく連携活動グループ run♪ run♪ plaza・八木 剛, 2005.6-8. 「ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール」. 博物館・ハチ北高原. (全5回, 80名) (共催)

ひとはく連携活動グループ run♪ run♪ plaza・八木 剛, 2005.4-5. 「かわいい虫をみつけよう」, 深田公園. (全2回36名) (共催)

八木 剛・奥山清市, 2007.3. 「クイズとトークショー: 知っているホタルのプリンセス」, ヒメボタルサミット in 伊丹 (主催: あーす・いたみ), スワンホール, 伊丹市. (240名) (共催)

##### 館外講演

八木 剛, 2006.4, 「赤いか黒いか, ヒメボタルの幼虫」. 第10回ヒメボタルサミット, 兵庫県立人と自然の博物館. (130名)

八木 剛, 2006.5, 「ホタル調査のしかた」. 猪名川町企画政策課. (30名)

八木 剛, 2006.5.7. 三田のホタル調査隊学習会. NPO法人キッピーフレンズ. 三田市立有馬富士自然学習センター. (全2回, 30名)

八木 剛, 2006.6. 「美しくふしぎなヒメボタル」. 第1回ヒメボタルまつり. やまなみホール, 丹波市山南町. (180名)

八木 剛, 2006.7 「ヒメボタル観察会」兵庫県自然環境保全課. 香美町ハチ北高原自然協会. (30名)

八木 剛, 2006.7 「森林の昆虫」森のインストラクター養成講座. 兵庫県森林林業技術センター. (20名)

八木 剛, 2006.8 トンボとりペナントレースとミヤマアカネ調査. 川がきクラブ, 西宮. (20名)

八木 剛, 2006.8 ヒメボタルサミット in 愛知, 名古屋市科学館. (50名)

八木 剛, 2006.8 みやまあかね祭. みやまあかね委員会. 宝塚ゴルフ場. (289名)

八木 剛, 2006.9 鳴く虫の声を聞き分けよう. ささやまの森公園. (30名)

八木 剛, 2006.11, 「ボランティア養成」, 阪神シニアカレッジ. (19名)

八木 剛, 2006.11 虫の風林火山展示解説. 自然環境市民大学空の会. (20名)

八木 剛, 2006.11 藤田孝夫講演会, 養父市. (50名)

八木 剛, 2007.1. 「六甲山の昆虫」. 山の案内人研修会. (財)ひょうご環境創造協会. (40名)

八木 剛, 2007.2 ミヤマアカネマーカーキング調査. 兵庫トンボ研究会. (20名)

#### 非常勤講師

2006.5. 「自然とデザイン」. 神戸芸術工科大学

### ■キャラバン事業

#### 展示作成

2006.8 但馬地域 モルフォチョウ, 兵庫のホタル

2007.2 阪神北地域(学校) 西宮市立名塩小学校 モルフォチョウ

#### セミナー担当

2007.2 阪神北地域(学校) 西宮市立名塩小学校(講師)

### ■ミニキャラバン事業

2006.7-8 加西市環境展(主担当), 加西市環境課.

2006.9 ボランティアメッセ2006(分担者), 九州国立博物館.

2002.10, ふれあいフェスティバル(分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 明石公園.

### ■地域研究員養成事業

#### 成果発表

2007.2 共生の広場「ケヤキ樹皮下にて越冬する昆虫達」吉田貴大(テネラル)(アドバイス)

2007.2 共生の広場「熱く燃えた! ミヤマアカネマーカーキング調査」安達貴美子・河田真紀子・玉村佳子・玉村佳彦(川がきクラブ・みやまあかね委員会)(アドバイス)

2007.2 共生の広場「第1回姫ボタルまつりの実施」藤原利正・岸本稚世(姫ボタルまつり実行委員会)(アドバイス)

2007.2 共生の広場「10年ぶりの三田市域におけるゲンジボタル分布調査」粟井信行(NPO法人人と自然の会)(アドバイス)

2007.2 共生の広場「有馬富士のホタルは〇〇だった!ー汗と涙のホタル調査ー」服部泰樹・榎谷紀久夫(NPO法人キッピーフレンズ三田のホタル調査隊)・中峰空(三田市立有馬富士自然学習センター学習指導員)(アドバイス)

### ■学校教育支援

#### トライやるウィーク

2006.6.11 神戸市立北神戸中学校 5名, 池田市立渋谷中学校 1名.

#### 学校団体対応

2006.5. 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」宝塚市立西山小学校4年生. (74名)

2006.7 「スーパー昆虫びんご深田公園編」みこころ幼稚園親子学級. 深田公園・博物館. (158名)

2006.10 「博物館の概要」神戸大学農学部. (30名)

2006.12 「企画展虫の風林火山解説」. 大阪府立北野高校. (34名)

2007.1 「ホタルについてのお話」, 赤穂市立原小学校. (31名)

2007.2 「ホタルについてのお話」, 山崎町立城下小学校. (20名)

2007.2 「博物館の概要」神戸大学博物館学. (40名)

2007.2 「ミヤマアカネ」宝塚市立西山小学校6年生. (90名)

#### 講師派遣

2006.5 「ホタルはなぜここにいるのか」, 灘中学校土曜講座. (26名)

2006.5 「ヒメボタル」, 講師, 川西市立加茂小学校5年生. (98名)

2006.7 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」. 宝塚市立西山小学校4年生. (88名)

2006.7 「ホタルは自然環境のシンボル」. 神戸市立八多中学校. (88名)

2006.7 「学校林を活用した環境教育実習」. 神戸市立君影小学校教員研修. (15名)

2006.7 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」. 宝塚市立仁川小学校4年生. (110名)

2006.9 「ミヤマアカネの標本づくり」. 宝塚市立西山小学校4年生. (88名)

2006.9 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」. 関西学院中学部, 理科クラブ. (20名)

2007.2 「名塩の昆虫」. 西宮市立名塩小学校4年生. (70名)

### ■研修生等の受入

2006.8-2007.1, Poebie Anwak 兵庫海外研修員(分担者)

#### 博物館実習

2006.8.-2007.3, 東京農業大学1名, 甲南大学1名.

### ■フェスティバル等

2006.11 ひとはくフェスティバル, スーパー昆虫びんご(責任者).

### ■展示

#### 企画展

2006.10.22-2003.5.18, 企画展「虫の風林火山」(責任者).

#### ミニ企画等

2006.6 第5回ホタル展ホタル・鳥取・ひととの共存. 鳥取市歴史博物館(協力: 標本・資料提供)

2006.8 (協力) みんぱく昆虫展, 国立民族学博物館(協力: 標

本提供)

## 2. シンクタンク事業

### ■受託研究

「生息地の造成工事がヒメボタル個体群へ与える影響に関する研究」, 猪名川上流広域ゴミ処理施設組合. 研究代表者 (60 万円)  
「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」, 猪名川町. 研究分担者 (30 万円)

### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 3 回, 30 名.

### ■行政等支援

#### 委員会等 (計 2 件)

2006. 4- ささやまの森公園運営協議会, 委員.  
2007. 2 ヒメボタル保全検討会委員, 国土交通省京都国道事務所.

#### 相談・指導助言

来訪者 30 件, 50 名. 電話・FAX 相談 50 件, メール相談 20 件.

2006. 6 兵庫県洲本土木事務所

2006. 6 兵庫県宝塚保健所

2006. 6 神戸市北区役所

### ■学会開催等支援

2006. 4 第 10 回ヒメボタルサミット開催. 130 名

2006. 12 日本昆虫学会近畿支部大会開催. 62 名

2007. 2 兵庫トンボ研究会総会開催. 18 名

## 高橋 晃, Akira TAKAHASHI

森林多様性研究グループ/企画調整室

研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類

研究部門 教授.

昭和 29 年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士

課程単位取得退学. 理学博士. 日本植物学会,

日本植物分類学会, 植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学会

等所属.



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティング及びマネジメント部門企画調整室企画調整担当グループグループリーダー.
2. 研究開発部門  
研究部の統括.

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究 (個人研究)

1. 兵庫県産植物の分類・地理学的研究
2. 熱帯産樹種の生長解析・木材解剖学
3. 植物を素材にした自然史教育の研究

##### ■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究. ハチ北高原における生物とその生育環境の評価」, 研究分担者.

##### ■その他著作

- ◎高橋 晃 (2006) 道端の植物と仲良くなる方法. 三田市民大学.
- ◎高橋 晃 (2006) 秋の七草. 緑の相談所だより, 5 号: 1. (財) 兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所.
- ◎高橋 晃 (2006) 紅葉. 緑の相談所だより, 6 号: 1. (財) 兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所.
- ◎高橋 晃 (2007) 千両, 万両, 似ているようで違う植物. 緑の相談所だより. 7 号: 1. (財) 兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所.
- ◎福岡忠彦・高橋 晃・布施静香 (2007) 兵庫県三田市の街路樹. 人と自然, No. 17, 35-41.
- ◎福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃 (編) (2007) 兵庫県産維管束植物 8. 人と自然, No. 17, 143-188. (編集およびキク科分担執筆)
- ◎高橋 晃 (2007) 春の道端で野生の草花を楽しむ. 緑の相談所だより, 8 号: 1. (財) 兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所.

##### ■助成を受けた研究

熱帯樹木の木部解剖学的生長解析, (財) 藤原ナチュラルヒストリ

一振興財団研究助成, 研究代表者 (60 万円).

マオウ科植物の形態ならびに成分化学的多様と種類に関する調査研究, 文部科学省科学研究費基盤研究 (B) 海外学術研究, 研究分担者. (分担金なし/総額 420 万円)

##### ■海外調査

2006. 7-8. マレーシア・サハ州 (JICA)

2007. 1-2. マレーシア・サハ州

## 2. 資料収集・整理

### ■資料収集

2006. 5-11, 維管束植物. 養父市水ノ山, 香美町・新温泉町・豊岡市の日本海沿岸部

### ■整理同定担当資料

種子植物, 材鑑標本

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

高橋 晃, 2006. 4, タンポポをさがしにいこう. 博物館. (15 名)

高野温子・高橋 晃・布施静香, 2006. 4, 植物リサーチクラブ 1: 植物用語の基礎知識 花編. 博物館. (22 名)

高橋 晃・高野温子・布施静香, 2006. 5, 植物リサーチクラブ 2: 但馬海岸の植物. 竹野町. (全 2 回, 20 名)

高橋 晃・高野温子・布施静香, 2006. 5, 植物リサーチクラブ 3: 植物用語の基礎知識 葉・茎編. 博物館. (32 名)

長谷川太一・高橋 晃, 2006. 9, ミュージアムスクール 植物画を描こう. 博物館. (25 名)

高野温子・布施静香・高橋 晃, 2006. 10, 植物リサーチクラブ 4: 秋の雪彦山. 夢前町雪彦山. (27 名)

布施静香・高橋 晃・高野温子, 2006. 10, 植物リサーチクラブ 5: 植物用語の基礎知識 果実編. 博物館. (23 名)

布施静香・高橋 晃・高野温子, 2007. 1, 植物リサーチクラブ 6: 標本の調べ方. 博物館. (全 2 回, 8 名)

高橋 晃・加藤茂弘・高野温子・布施静香・橋本佳延, 2007. 2, 私たちの新発見〜ひとはく研究員海外調査報告会. 博物館. (13 名)

布施静香・高橋晃・高野温子・中西明徳・橋本佳明, 2007. 2, 生物系収蔵庫ツアー. 博物館. (40 名)

##### 館外講演など

Takahashi A., 2006. 8, Maintenance and re-census Permanent plot project in Crocker Range Park. Lecture, Committee for Establishment of Permanent Plots in Crocker Range Park, BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (18 名)

高橋 晃, 2006. 9, 宝塚市の自然. 講師, みち草案内人育成塾, NPO 法人 シニアパワーを活かす会, 宝塚市. (12 名)

高橋 晃, 2006. 9, さよう子どもアートスクール 植物画をかこう. 講師, 佐用町生涯学習課, 佐用町海内地域づくりセンター. (25 名)

高橋 晃・長谷川太一・田路川和子・貴島せい子・肥田陽子  
2006. 11, ホンモノそっくり! 植物画. 講師, NHK 神戸放送局, 神戸市. (36 名)

##### 非常勤講師など

2006. 9 共生生物学, 兵庫県立大学 (集中).

2006. 4-7 系統分類学, 関西学院大学理工学部.

##### ■ミニキャラバン事業

2006. 11. 11-16 地球だい好き環境キャンペーン・こども植物画展示, NHK 神戸放送局, 神戸市.

##### ■地域研究員養成事業

###### 成果発表

2007. 2 共生のひろば, 三田の街路樹, 福岡忠彦 (指導)

2007. 2 共生のひろば, 子どもたちと学ぶー科学の目で描く植物画ー, GREEN GRASS, (指導・協働)

##### ■展示

###### ミニ企画

2006. 10. 9-11. 5, こども植物画作品展. (責任者).

## 2. シンクタンク事業

### ■自然環境情報調査

但馬海岸における貴重植物の現状調査, 但馬地域 (委託先: 県フロ



ラ研).

■**収蔵庫・ジーンファームの公開**

生物系収蔵庫の案内 2回, 40人

■**行政等支援**

**委員会等**

2005.4- 環境省版レッドデータブック兵庫県主任調査員, 環境省.

2005.4- 希少野生動物植物種保存推進員, 環境省.

**相談・指導助言**

来訪相談 3件, 3人, 電話相談 8件

3. **特別プロジェクト**

○**フェアブル展プロジェクト**

プロジェクトリーダー: 国内5博物館共同開催のフェアブル100年展の巡回展および、兵庫県の地域展示・関連事業の開催に向けた準備事務を行った。

○**サバ・プロジェクト (ひとはくサバ大学共生生物学研究事業)**

ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラムのJICA短期専門家(40日間): マレーシア・サバ州クロッカー山脈国立公園の森林で展開している永久調査区の維持管理・メンテナンスに関するワークショップを実施した。

**秋山 弘之 Hiroyuki AKIYAMA**

森林・昆虫研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 助教授.

昭和31年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本蕨苔類学会, 米国植物分類学会等所属.



<**事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事**>

1. **事業推進部生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ**

学校教育支援担当.

2. **研究開発部門**

資料担当. とりまとめならびに燻蒸, 資料委員会の開催.

<**研究開発**>

1. **調査研究**

■**特別課題研究 (個人研究)**

1. 東南アジア産蕨苔類の分類学的・植物地理学的研究
2. 半数体植物における種分化のあり方に関する研究
3. ボルネオ島蕨苔類相の研究

■**論文・著書**

Akiyama, H. (2006) Notes on the taxa previously classified in the genus *Trimsegistia* (Sematophyllaceae). J. Hattori Bot. Lab., 100, 1-14.

Suleiman, M., H. Akiyama & B. C. Tan. (2006) A revised catalogue of mosses reported from Borneo. J. Hattori Bot. Lab., 99, 107-183.

秋山弘之 (2006) アジア産蕨苔類の分類・生態ノート 11. 蕨苔類研究, 9(4), 112-113.

秋山弘之 (2006) アジア産蕨苔類の分類・生態ノート 12. 蕨苔類研究, 9(4), 114-115.

秋山弘之 (2006) アジア産蕨苔類の分類・生態ノート 13. 蕨苔類研, 9(4), 115-116.

秋山弘之 (2006) アジア産蕨苔類の分類・生態ノート 14. 蕨苔類研究, 9(4), 116-117.

秋山弘之 (2006) 北半球に広く分布するタカオジャゴケに与えられた新しい学名. 蕨苔類研究, 9(3), 88-90.

田中敦司・大西規靖・西村直樹・秋山弘之, (2006) 兵庫県但馬の蕨苔類. 人と自然, No.16, 69-91.

■**その他著作**

秋山弘之 (2006) コケはしめったところに生えるの?. かがくるプラス, 36号, 19-24 朝日新聞社.

秋山弘之 (2006) アクアリウム・モス・ワールド. 月刊アクアライフ, 10月号, 74-83, マリン企画.

秋山弘之 (2006) コケ百選3 プランタ 第103号, 47-48, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選4 プランタ 第104号, 53-54, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選5 プランタ 第105号, 57-58, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選6 プランタ 第106号, 45-46, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選7 プランタ 第107号, 47-48, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選8 プランタ 第107号, 35-36, 研成社.

■**研究発表**

秋山弘之, (2006) 自由生活するコケ配偶体がたどった形態多様化の道筋. シンポジウム「配偶体の多様性と進化」, 第70回日本植物学会大会, 熊本大学, 熊本市.

横山勇人・山口富美夫・秋山弘之・田中敦司・出口博則 (2006) 屋久島の蕨苔類の垂直分布. 日本蕨苔類学会, 南九州大学, 宮崎市.

横山勇人・山口富美夫・秋山弘之・矢原徹一・出口博則 (2006) 屋久島の蕨苔類の生態的特徴. 日本植物学会, 熊本大学, 熊本市.

秋山弘之 (2006) 屋久島のコケ, その過去・現在・未来. 公開シンポジウム「今屋久島で何が起きているか」, 屋久島自然遺産センター, 上屋久町.

■**学会役員など**

日本蕨苔類学会, 庶務幹事, 編集委員

日本植物分類学会, 評議員, 編集委員

財団法人平岡環境科学研究所, 監事

■**助成を受けた研究**

屋久島蕨苔類相の現状把握と保全への基礎調査. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C) (一般), 研究代表者 (150万円).

2. **資料収集・整理**

■**資料収集**

2006.4-2007.3 蕨苔類. 三田市, 宝塚市, 神戸市, 篠山市

2006.5-2007.3 蕨苔類. 鹿児島県屋久島.

■**整理同定担当資料**

植物 (蕨苔類, 菌類).

<**事業推進**>

1. **生涯学習事業**

■**セミナー**

**館主催セミナー**

秋山弘之, 2006.5, とつとこクラブ コケ学散歩1. 神戸市. (15名)

秋山弘之, 2006.7, とつとこクラブ 夏のキノコ探検隊1. 神戸市. (11名)

秋山弘之, 2006.7, とつとこクラブ 夏のキノコ探検隊2. 箕面市. (13名)

秋山弘之, 2006.9, とつとこクラブ 秋のキノコ探検隊1. 神戸市. (15名)

秋山弘之, 2006.10, とつとこクラブ 秋のキノコ探検隊2. 三田市. (14名)

**館外講演**

秋山弘之, 2006.10, 甲山キノコ観察会. 西宮市. (30名)

秋山弘之, 2006.1, シニアウオーキング入門教室. 尼崎市. (70名)

■**キャラバン事業**

**主担当**

2006.4-5 西播磨地域 テーマ「世界のクワガタ・カブトムシ大集合」

**セミナー担当**

2006.10 西播磨地域 キノコ観察会 (講師)

■**学校教育支援**

**学校団体対応**

2006.7 兵庫県立大学附属高校1年生. (160名)

**講師派遣**

2007.1 総合的学習. 講師, 藍中学校. (全6回, 180名)

■**研修生等の受入**

**博物館実習**

2006.8.22 講義 博物館と資料収集. (9名)

2. **シンクタンク事業**

■**自然環境情報調査**

「阪神北地域蕨苔類相の調査研究」. 淡路 (委託先: 岡山コケの会)

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 10 件, 18 名。電話・FAX 相談 7 件, メール相談 20 件。

高野 温子, Atsuko TAKANO

森林多様性研究グループ/企画調整室

主任研究員

昭和 46 年大阪府生 大阪市立大学理学研究科後期博士課程修了。理学博士。

日本植物学会, 日本植物分類学会, 米国植物分類学会他所属



＜事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事＞

1. マーケティングおよびマネジメント部門企画調整室ネクスト担当グループ  
組織整備担当。次期中期目標策定, 基本構想委員会事務局等。

＜研究開発＞

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. ショウガ科植物の分類学的研究
2. 兵庫県産植物の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来 米ノ山・扇ノ山地域における自然利用のあり方」研究代表者。  
部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究—鉢北高原における生物とその生育環境の変化—」研究分担者。

■論文・著書

Takano, A., H. Nagamasu. (2006) A new species, *Etilingera palangkensis* (Zingiberaceae) from Borneo. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, 57, 75-79.

■その他著作

Takano, A., Avelinah Julius, Maryati Mohamed. (2006) Preliminary survey on flexistylous gingers in Borneo. In: Maryati Mohamed, Monica Suleiman, Yoshiaki Hashimoto (eds.) *Biodiversity and conservation research for science and the people*. pp.29-33.

◎高野温子(2006) 速報! フサタヌキモが篠山で発見される。兵庫・水辺ネットワーク会報, 48 号, 4-5.

高野温子(2006) 書評: Pollination biology and ecosystems: Sawarak Study. *種生物学会ニュースレター*, No. 33, 10-11.

◎嶽山洋志・高野温子(2006) ひょうご海外技術研修員のご紹介。ハーモニー, No. 55, 6.

◎高野温子(2006) 親王のお印に選ばれたコウヤマキ。ハーモニー, No. 55, 7.

◎高野温子(2007) 新しい博物館を目指して。ハーモニー, No. 56, 8.

◎高野温子(2007) 兵庫の水辺と細く長いお付き合いを。兵庫・水辺ネットワーク会報, 50 号, 7.

◎小山博滋・黒崎史平・高野温子(2007) キク科ノコギリソウ属, ノブキ属, ウサギギク属, トキンソウ属, イズハハコ属, ハルシヤギク属, マメカミツレ属, アゼトウナ属, キク属, タケダグサ属, ムカシヨモギ属, ツワブキ属, ヤナギタンポポ属, スイラン属, エゾコウゾリナ属, ニガナ属, アキノノゲン属, ヤブタバコ属, メタカラコウ属, コウモリソウ属, フキ属, コウゾリナ属, フクオウソウ属, シュウブソウ属, キオン属, アキノキリンソウ属, ヒメジョオン属, ヤブレガサ属, オニタバコ属。(福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物 8)。人と自然, No. 17: 143-144, 146, 156-157, 160-164, 166, 169-180, 182-184, 187-188.

◎黒崎史平・高野温子(2007) キク科カミツレモドキ属(福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物 8)。人と自然, No. 17: 146.

◎小山博滋・黒崎史平・副島颯子・高野温子(2007) キク科シオン属(福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物 8)。人と自然, No. 17: 148-152.

■研究発表

Avelinah Julius, A. Takano, Monica Suleiman (2006) Studies on Bornean *Plagiostachys* (Zingiberaceae) 1: Revision of Bornean

*Plagiostachys* with description of eight new species. 4<sup>th</sup> International Symposium on the family Zingiberaceae. Singapore.

Avelinah Julius, A. Takano, Monica Suleiman (2006) Studies on Bornean *Plagiostachys* (Zingiberaceae) 2: Phylogenetics of Bornean *Plagiostachys* based on nuclear ribosomal DNA ITS sequence data. 4<sup>th</sup> International Symposium on the family Zingiberaceae. Singapore.

高野温子・布施静香・橋本佳延・坂田宏志・三橋弘宗(2007) 六甲山のブナはどこから来たか? 兵庫県産ブナ(*Fagus crenata*)の遺伝型解析。日本植物分類学会第6回大会, 新潟大学, 新潟市。

■学会役員など

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica, レフェリー  
Plant Systematics and Evolution, レフェリー

■助成を受けた研究

雌レベガ動いて性が変わる: フレキシスタイリーの起源と進化に関する研究。文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(110万円)

■受賞

Best three posters. For: Avelinah Julius, A. Takano, Monica Suleiman (2006) Studies on Bornean *Plagiostachys* (Zingiberaceae) 1: Revision of Bornean *Plagiostachys* with description of eight new species. 4<sup>th</sup> International Symposium on the family Zingiberaceae. Singapore.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 5. 維管束植物。豊岡市, 姫路市。
2006. 6. 維管束植物。姫路市, 新温泉町。
2006. 7. 維管束植物。赤穂市, 篠山市, 姫路市。
2006. 8. 維管束植物。香美町, 篠山市, 新温泉町。
2006. 9. 維管束植物。新温泉町, 姫路市。
2006. 10. 維管束植物。豊岡市, 姫路市, 新温泉町, 香美町, 養父市, 神戸市。
2007. 3. 維管束植物。姫路市。

■整理同担当資料

被子植物。キク科(キク連, シオン連, キオン連, ノコギリソウ連, タンポポ連)

＜事業推進＞

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

- 高野温子・高橋晃・布施静香, 2006. 5, 植物リサーチクラブ① 植物用語の基礎知識 ~花編~。博物館。(22名)
- 高橋晃・高野温子・布施静香, 2006. 5, 植物リサーチクラブ② 但馬海岸の植物。豊岡市竹野町。(全2回, 20名)
- 高橋晃・高野温子・布施静香, 2006. 7, 植物リサーチクラブ③ 植物用語の基礎知識~茎・葉編~。博物館。(32名)
- 高野温子・布施静香, 2006. 8, 教職員セミナー 子供と触れ合う身近な植物。博物館。(34名)
- 高野温子・高橋晃・布施静香, 2006. 10, 植物リサーチクラブ④ 秋の雪彦山。姫路市夢前町。(27名)
- 布施静香・高橋晃・高野温子, 2006. 10, 植物リサーチクラブ⑤ 植物用語の基礎知識 ~果实編~。博物館。(23名)
- 布施静香・高橋晃・高野温子, 2007. 1, 植物リサーチクラブ⑥ 植物標本の調べ方。博物館。(14名)
- 高橋晃・加藤茂弘・高野温子・布施静香・橋本佳延, 2007. 2, オープンセミナー わたしたちの新発見。博物館。(10名)
- 布施静香・高橋晃・高野温子・中西明徳・橋本佳明, 2007. 2, 生物系収蔵庫ツアー。博物館。(40名)

非常勤講師など

2006. 5, 花のデザイン。神戸芸術工科大学。(80名)

■キャラバン事業

展示作成

2006. 7 中播磨地域 地域のみなさんとボランティアの人が作った植物標本。
2006. 9 丹波地域 国領の植物 ナンバンギセル。

セミナー担当

2006. 6 リサーチプロジェクト 姫路のため池の水生植物を探

そう。

#### ■ミニキャラバン事業

2006.5 フローラ88 ひとつはクイズ触って当てよう 水草の3択クイズ (分担者), フローラ88. (56名)

2006.10. 丹波の森フェスティバル ひとつはクイズ 丹波黒大豆の3択クイズ(分担者).

#### ■学校教育支援

##### 学校団体対応等

2006.4, 実体顕微鏡で植物を観察しよう. 朝鮮初中級学校. (39名)

2006.7, DNA抽出実験. 兵庫県立大附属高校. (19名)

2006.8, DNA抽出実験. 県立柏原高校. (28名)

2007.1, 熱帯雨林. 県立有馬高校 人と自然科. (37名)

2007.2, 博物館学実習. 神戸大学. (49名)

##### 講師派遣等

2006.6, エコネットミュージアム勉強会. 国土交通省, 環境省他. 県民会館 (12名)

#### ■研修生等の受入

2006.8-2007.1, Poebie Anwak 兵庫海外研修員(分担者)

##### 卒論生等

2003.11-2006.11, Avelinah Julius (マレーシア国立サバ大学大学院修士課程) Systematic study on the genus *Plagiostachys* (Zingiberaceae) in Borneo

#### ■フェスティバル等

2006.11, ひとつはフェスティバル, 「フィービーさんと遊ぼう ~ケニアの楽器づくり~」 責任者.

## 2. シンクタンク事業

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 7回 100名

#### ■行政等支援

##### 委員会等

2006.4.-2007.3. 環境省版レッドデータブック兵庫県調査. 環境省.

##### 相談・指導助言

来訪者 15件, 22名, 電話31件, メール相談16件, 手紙2件

## 3. 特別プロジェクト

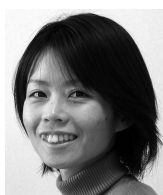
GBIF・科学系博物館ネットワーク推進・プロジェクト  
事務局等

## 布施 静香, Shizuka FUSE

森林多様性研究グループ/企画調整室

研究員

昭和51年奈良県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 博士(理学). 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門企画調整室企画調整グループ

事業推進マネージャー, 事業推進会議進行・事務局, 地域子ども教室 事業事務局・総括. 等

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. 日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地理
2. ヒガンバナ科およびショウジョウバカマ属の分類学的研究
3. 単子葉植物の大規模分子系統
4. 兵庫県産植物の分類学的研究

##### ■共同研究

総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来 氷ノ山・扇ノ山地域における自然利用のあり方」, 研究分担者.  
部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究-ハチ北高原における生物とその生育環境の評価」, 研究分担者.

##### ■その他著作

◎小山博滋・黒崎史平・布施静香(2007) キク科ヌマダイコン属,

ブタクサ属, オケラ属, ヒレアザミ属, ヒヨドリバナ属, キツネアザミ属, トウヒレン属, タムラソウ属, ヤマボクチ属, オナモミ属. (福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物8). 人と自然, No. 17: 144-145, 152-154, 164-166, 169, 179, 181, 185, 187.

◎黒崎史平・布施静香(2007) キク科オオアザミ属. (福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物8). 人と自然, No. 17, 182.

◎福岡忠彦・高橋晃・布施静香(2007) 兵庫県三田市の街路樹. 人と自然, 17, 35-41.

◎福岡忠彦・高橋晃・布施静香(2007) 三田の街路樹. 共生のひろば-人と自然からのメッセージ, 2, 21-24.

布施静香(2006) 今年のフィールドワークから(分担執筆). ハーモニー, 53, 6.

小館誓治・布施静香(2007) ひとつはブック 深田公園での植物観察. ひとつは子ども教室事業推進委員会, 20p.

小館誓治・布施静香(2007) 小さな子どもの生き物教室 子どもの遊び場学びの場-植物編-. ひとつは子ども教室事業推進委員会, 20p.

#### ■研究発表

布施静香(2006) タケシマラン属(ユリ科)の分子系統と分類. 種子植物談話会, 大阪.

布施静香(2006) さく葉標本からDNAを取り出すための留意点, 第5回自然史系博物館における標本情報の発信に関する研究会, 主催: 国立科学博物館・NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 伊丹市立産業・情報センター, 兵庫.

◎福岡忠彦・高橋晃・布施静香(2007) 三田の街路樹. 共生のひろば, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫.

田村実・Conny B. Asmussen・山下純・布施静香・Mark W. Chase(2007) 単子葉植物の *matK* 遺伝子による大規模分子系統樹. 日本植物分類学会第6回大会, 新潟大学, 新潟.

◎高野温子・布施静香・橋本佳延・坂田宏志・三橋弘宗(2007) 六甲山のブナはどこから来たか? 兵庫県産ブナ(*Fagus crenata*)の遺伝型解析. 日本植物分類学会第6回大会, 新潟大学, 新潟.

#### ■学会役員など

日本植物分類学会, 講演会担当委員.

種子植物談話会, 事務局・世話人.

#### ■助成を受けた研究

単子葉植物の大規模分子系統樹の構築と形態・分子データの調和による新分類体系の設立. 文部科学省科学研究費基盤研究C. 研究分担者. (分担金なし/総額160万円)

日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地理. 独立行政法人日本学術振興会二国間交流事業(韓国との共同研究). 研究分担者. (分担金なし/総額100万円)

#### ■海外調査

2006.6 韓国

## 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006.5-2007.3 種子植物. 赤穂市, 香美町, 篠山市, 新温泉町, 宝塚市, 豊岡市, 姫路市, 三木市, 養父市, 京都府, 鳥取県, 長野県, 新潟県, 和歌山県, 韓国.

#### ■受贈担当資料

2007.1 田中光彦コレクション2006年, 25点

#### ■整理同定担当資料

種子植物

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

高橋晃・高野温子・布施静香, 2006.5, 植物リサーチクラブ①植物用語の基礎知識-花編, 博物館. (23名)

高橋晃・高野温子・布施静香, 2006.5, 植物リサーチクラブ②但馬海岸の植物, 但馬海岸. (全2回, 10名)

平松紳一・谷川直也・中瀬勲・布施静香・嶽山洋志, 2006.7, 第8回ボルネオジャングルスクール. マレーシア. (18名)

高野温子・高橋晃・布施静香, 2006.10, 植物リサーチクラブ④秋の雪彦山. 雪彦山. (27名)

布施静香・高橋晃・高野温子, 2006.10, 植物リサーチクラブ⑤

植物用語の基礎知識—果実編. 博物館. (23名)  
 布施静香・長谷川太一, 2006.11, ミュージアムハイスクール:  
 博物館まるごと1日体験オープンミュージアム—植物の戦  
 略・CD ケースを使ったひつつきむし標本の制作. 博物館. (6  
 名)  
 布施静香・高橋晃・高野温子, 2007.1, 植物リサーチクラブ⑥標  
 本の調べ方. 博物館. (28名)  
 高橋晃・高野温子・布施静香・橋本佳延・加藤茂弘, 2007.2, 私  
 たちの新発見—ひとはく研究員海外調査報告会. 博物館. (40  
 名)  
 布施静香・高橋晃・高野温子・中西明徳・橋本佳明, 2007.2, 生  
 物系収蔵庫ツアー. 博物館. (40名)

#### 非常勤講師

2006.5-2006.10 生物学実験 I. 大阪府立大学.  
 2006.9 野外実習. 大阪市立大学.

#### ■キャラバン事業

##### 主担当

2006.8 但馬地域 テーマ「川に棲むもの・山に棲むもの」

##### 展示作成

2006.7-8 丹波地域 丹波の植物セッコク解説パネル.  
 2006.8 但馬地域 オオサンショウウオ解説パネル, タマムシ解  
 説パネル.

##### リサーチプロジェクト

2006.8 但馬地域 ウスバツバメ, ピラカンサ, 松枯れ (運営)

##### セミナー担当

2006.8 展示解説ツアー (講師・企画運営)

#### ■地域研究員養成事業

##### 成果発表

2007.2 共生の広場 「万葉の植物—とっておきの植物画 II」,  
 小豆むつ子 (指導)  
 2007.2 共生の広場 「三田の街路樹」, 福岡忠彦ら (指導, 共  
 著)

#### ■学校教育支援

##### 学校団体対応

2006.4, 収蔵庫説明 (兵庫・地方及び広域計画論の一環). 景観  
 園芸学校. (21名)  
 2006.4, CD ケースを使った種子標本の制作. 大阪府立泉北高校 (19  
 名).  
 2006.5, アヤメの話. 開明中学校 1年生. (218名)  
 2006.5, CD ケースを使った種子標本の制作. 住吉高校. (20名)  
 2006.7, DNA 抽出実験. 姫工大附属高校. (20名)  
 2006.8, DNA 抽出実験. 県立柏原高校. (28名)  
 2006.8, 子どもとふれあう身近な植物. 県内教職員. (34名)  
 2006.9, 博物館の業務. 青山短期大学. (16名)  
 2006.12, DNA 抽出実験. 京都府立福知山高校. (20名)

##### 講師派遣

2006.11, DNA 抽出実験. 講師, クラーク記念国際高等学校 (芦屋  
 キャンパス). (90名)

#### ■研修生等の受入

2006.9 独立行政法人国際協力機構中部国際センター「平成 18 年  
 GIS(地理情報システム)による天然資源・農業生産物の管理研修  
 (JICA GIS 研修コースの研修員). (9名)  
 2006.12, 博物館実習 II 館内業務の説明 (収蔵庫), 神戸学院大学  
 実習生. (9名)

#### ■フェスティバル等

2006.11 ひととはくフェスティバル, ミュージアムワールド (責任  
 者).  
 2006.11 ひととはくフェスティバル, 実行委員会委員.

## 2. シンクタンク事業

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 11回, 74名.

#### ■行政等支援

##### 委員会等 (計1件)

2005.4- , 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員. 環境省.

##### 相談・指導助言

来訪者5件, 6名. 電話・FAX相談14件, メール相談4件.

## ○自然・環境マネジメント研究部

### 江崎 保男, Yasuo EZAKI

流域生態研究グループ/研究開発部門  
 研究部長/研究系次長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究  
 部門 教授

昭和26年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博  
 士課程修了. 理学博士, 日本鳥学会, 応用生態工  
 学会, 日本生態学会, イギリス鳥学会, アメリカ鳥学会等所属.



#### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

##### 2. 研究開発部門

研究次長, 館内研究者の指揮・総括,

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

###### ■特別課題研究 (個人研究)

1. 砂州河川の生物群集構造の研究
2. 鳥類の生息場所保全に関する研究

###### ■共同研究

部門研究「共生の現実と未来」, 研究代表者.

###### ■論文・著書

- ◎中島 拓・江崎保男・中上喜史・大迫義人 (2006) 水田と河川,  
 コウノトリ野生復帰地での餌場の相対的価値—豊岡盆地に生息  
 するサギ類を指標として—. 保全生態学研究 11, 35-42.  
 Ezaki, Y. & Mizota, H. (2006) Wintering of a Peregrine Falcon  
 on an electricity pylon and its food in a suburban area of  
 western Japan. Ornithological Science 5, 211-216.  
 ◎江崎保男 (2006) (編) 武庫川散歩 (人と自然特別号). 兵庫県立  
 人と自然の博物館, 三田, 111pp.  
 ◎江崎保男 (2006) (監修) 兵庫県における鳥類の分布と変遷 (自  
 然環境モノグラフ2号). 兵庫県立人と自然の博物館, 三田, 187pp.

###### ■その他著作

- ◎江崎保男 (2006) 鳥の目でみる武庫川. 武庫川散歩 (江崎保男編),  
 71-82.  
 ◎江崎保男 (2006) どう考える! 2つの野生化 コウノトリと外来  
 生物. Hit Spring183:1-2  
 ◎江崎保男 (2006) 所長就任のご挨拶. Hit Spring 185, 1-2.  
 江崎保男 (2006) 鳥類調査へのスポットセンサス法の導入. リバー  
 フロント 56, 10-12.  
 ◎江崎保男 (2006) 小林コレクション鳥類目録の完成. ハーモニ  
 ー 54, 7.  
 江崎保男 (2007) 日本の四季と里の鳥. 紫明 20, 13-17.

###### ■研究発表

- 中島拓, 江崎保男, 中上善史, 大迫義人 (2006) サギ類から知る,  
 餌場としての水田地帯と河川域の利用価値—コウノトリの野生  
 復帰に先立って—. 第16回景観生態学会徳島大会, 徳島大学,  
 徳島市.  
 江崎保男「土木工学と生態学の壁はとりのぞかれたか?」パネルデ  
 ィスカッション座長, 応用生態工学会, 東京大学, 東京都.  
 渡部聡之・松原始・江崎保男 (2006) 木津川におけるホオジロの生息  
 環境と行動. 河川生態学術研究会全国大会, サイエンスホール,  
 東京都.

###### ■学会役員など

- 日本鳥学会, 副会長  
 日本鳥学会, 評議員  
 日本鳥学会, 基金運営委員長  
 応用生態工学会幹事長  
 日本鳥学会員近畿地区懇談会, 世話人  
 応用生態工学会 10周年記念東京大会実行委員長

###### ■助成を受けた研究

- 砂州河川の生物群集の研究 研究代表者 (財) リバーフロント整  
 備センター (199万円)

## 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

- 2006.4-2007.3 鳥類死体の収集. 県内各地  
 2006.4-2007.3 ハヤブサの餌の残骸収集. 神戸市北区

■整理同定担当資料

鳥類

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

江崎保男, 2006. 6, 「鳥の生態学いろいろ」, 神戸学習プラザ。(全4回, 121名)

江崎保男, 2006. 8 教職員セミナー「生態系のしくみ」, 博物館。(24名)

江崎保男, 2006. 11 特注セミナー(神戸シルバーカレッジ学生)「原生林の鳥類群集」, 博物館。(12名)

江崎保男, 2007. 3 オープンセミナー「深田公園うきうき探検隊とり・ウォッチング」, 博物館。(8名)

館外講演など

江崎保男, 2006. 6「生態系ってなに?一人の生命を支える生態系」, 藤原台専門家・ブチ専門家との交流会, 講師。(30名)

江崎保男, 2006. 8「生態系のしくみー物質循環をささえる食物連鎖」, プロジェクトワイルド一般指導者講習会(有馬富士公園), 講師。(5名)

江崎保男, 2006. 10「湿地と鳥と」尼崎市高齢者生きがい促進協会シニアウオーキング入門教室, 講師。(50名)

江崎保男, 2006. 10「森と鳥と」甲山自然環境センター森林サポーター講座, 講師。(40名)

江崎保男, 2006. 10「川と鳥と」尼崎市高齢者生きがい促進協会シニアウオーキング入門教室, 講師。(50名)

非常勤講師など

2006. 10-2007. 3. 「生物学野外実習」, 神戸大学。

2006. 10-2007. 3. 「生態学」, 淡路景観園芸学校。

2006. 4- 京都市大学生態学研究センター協力研究員

ラジオ・TV出演等

江崎保男, 2006. 8「コウノトリの野生復帰」ひとはく博士のプチセミナー, ハニーFM。

江崎保男, 2006. 8「身近な鳥の外來種」ひとはく博士のプチセミナー, ハニーFM。

■地域研究員養成事業

成果発表

2007. 2, 共生のひろば「ハヤブサの落し物(part2)」, 溝田浩美(指導)

2007. 2, 共生のひろば「兵庫県における鳥類の分布と変遷」, 脇坂英弥(指導)

■研修生等の受入

卒論生等

2006. 4-2007. 3 若園美沙子(兵庫県立大学理学研究科修士号獲得, 「木津川砂州におけるチドリ類の採餌生態と水際動物群集の関係」。

■展示

常設展

2006. 5-6. 「コウノトリとその歴史」作成主担当

企画展

2006. 7. 10-9. 25 「兵庫の外來生物」分担者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 15回, 25名。

■行政等支援

委員会等 (計16件)

2006. 12- コウノトリ保護・増殖(野生化)対策会議, 委員, 兵庫県

2004. 4- 水源地生態研究会議, 委員, ダム水源地環境整備センター

2004. 4- 河川水辺の国勢調査(河川版)スクリーニング委員会, 委員, リバーフロント整備センター

2004. 4- 河川水辺の国勢調査(ダム湖版)スクリーニング委員会, 委員, ダム水源地環境整備センター

2004. 4- 川上ダム自然環境保全委員会, 委員, 水資源開発機構

2004. 4- 川上ダム希少猛禽類保全委員会, 委員長, 水資源開発機構

2004. 4- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会, 委員, 大阪府

2004. 10- 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員, 京都府

2005. 8- 大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会)環境専門委員会, 委員, 文部科学省

2005. 11- 水位低下(いわゆる干し上げ)に関する鳥類の調査検討小委員会, 委員長, 国土交通省

2006. 2- 生態系保全検討委員会, 委員, 兵庫県環境局

2006. 2- 利根川上流生態系保全河道検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター

2006. 2- 渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター

2006. 11- 利根川水系河川整備計画有識者会議, 委員, 国土交通省関東地方整備局

2006. 4- 近畿圏の自然環境の総点検等に関する研究会, 委員, 国土交通省

2007. 1- 近畿ブロックにおけるエコロジカル・ネットワーク懇談会, 委員, 国土交通省

相談・指導助言

来訪者170件, 350名。電話・FAX相談55件, メール相談25件。

2006. 6- 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」

2006. 4- 紀ノ川大堰「鳥類モニタリング」アドバイザー

2006. 4- 財団法人姫路工業大学後援財団評議員

2006. 4. 14 片岡宣彦 ガビチョウ・ソウシチョウ類の比較

2006. 4. 21 太田貴大 アオゲラの地域変異

2006. 6. 27 浦野栄一郎 ヒメイソヒヨの計測

2006. 8. 30 大西紘子 スケッチのための閲覧(フクロウ)

2006. 8. 30 浦 達也 ジシギ類の雌雄差の検出

2006. 8. 31 浦 達也 ジシギ類の雌雄差の検出

2006. 10. 22 岩橋 徹 バードカービングのための閲覧・計測(オオコノハズク)

2006. 10. 29 岩橋 徹 同上(タシギ)

2007. 1. 10 溝田浩美 ハヤブサの餌鳥類の同定

2007. 1. 16 溝田浩美 同上

3. 特別プロジェクト

GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進・プロジェクト

代表

ワイルドライフ・マネジメント・プロジェクト

代表

田中 哲夫, Tetsuo TANAKA

流域生態研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究

部門 助教授。

昭和23年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博士

課程中退。理学博士。日本生態学会, 日本魚類

学会, 魚類自然史研究会, 兵庫陸水生物研究会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ  
セミナーマネージャー

2. 研究開発部門

資料担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究

2. 外來生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究

3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究

4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

■共同研究

1. 部門研究「共生の過去・現在・未来」, 研究分担者。

■その他著作

◎田中哲夫・信本励(2006)「武庫川上流の自然一治水と河川環境は両立するか」。江崎保男(編), 「武庫川散歩」, 81-90, 人と自然の博物館。

田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・川村博史・谷本卓弥・花崎進 (2006) 「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究Ⅴ」, レフュジアビオトープ研究会, 三田, 25pp.  
田中哲夫 (2006) 共生のひろば。ハーモニー, 53, 1-2.

#### ■研究発表

田中哲夫 (2006) 県立人と自然の博物館の地域研究員 (ひとはく地域研究員) と環境学習, こども環境学会, 関西大会, 西宮。  
田中哲夫 萩原秀人・川口勝己・大塚ゆかり・佐藤裕司・永吉照人 (2006) 希少淡水生物のレフュジアビオトープ (一時避難場所) —キリンビール神戸工場の環境への取り組み—, 造園学会, 大阪。

#### ■学会役員など

2006. 4. 生態学会「保全生態学研究」編集委員。  
2006. 6. 生態学会「保全生態学研究」レフェリー  
2007. 1. 野生生物保護学会「野生生物保護」レフェリー  
2007. 2. 野生生物保護学会「野生生物保護」レフェリー

## 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006. 4-2007. 3 淡水魚, 三田市。  
2006. 10 水生動物, 武庫川。  
2007. 2-3 淡水魚, 但馬。

#### ■受贈担当資料

2006. 10. 淡水魚類 (土井氏コレクション), 10 点。  
2006. 12. 水生動物 (丹羽氏コレクション), 100 点。

#### ■整理同担当資料

淡水魚, 水生動物。

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

田中哲夫, 2006. 4-5, 「ため池を探る」, 博物館・三田市香下ため池群。(全4回, 35名)  
田中哲夫, 2006. 5, 「川からみえる兵庫の自然」, 大学連携ひょうご講座「ひょうごの自然・環境 10 話」, 兵庫県立学習プラザ, 神戸市。(38名)  
田中哲夫, 2006. 8, 「ビオトープ池を考える」, 教職員セミナー, 人と自然の博物館, 三田市。(37名)  
田中哲夫, 2006. 9, 「オオクチバスとため池の動物」, 企画展シンポジウム「どうする兵庫の外来生物」, 人と自然の博物館, 三田市 (120名)。  
田中哲夫, 2006. 9, 企画展ギャラリートーク「兵庫の外来生物」, 人と自然の博物館, 三田市 (25名)。  
田中哲夫, 2006. 10, 高校連携セミナー「レッツチャレンジ自然環境調査入門」 「ビオトープ池を調べる」, キリンビール神戸工場, 神戸市。(全2回, 42名)

##### 館外講演

田中哲夫, 2006. 5, 「博物館における教育普及活動の方法」, 博物館職員講習会, 文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター, 東京。(21名)  
田中哲夫, 2006. 7, 「河川の生態系の機能と仕組み」, NPO シニア自然大学マイスターコース講座, 大阪府環境情報センター, 大阪市。(40名)  
田中哲夫, 2006. 7, 「武庫川上流の魚」, 草野子ども会・夏の夕べ, 草野公民館, 三田市。(26名)  
田中哲夫, 2006. 8, 「丹波の川魚」, こども冒険ひろば・NPO 法人いぬいふくし村, いぬい塾, 篠山市。(23名)  
田中哲夫, 2006. 10, 「農村ビオトープを考える」, 農業農村整備技術強化対策事業, 水土里ネット兵庫, 神戸市。(40名)  
田中哲夫, 2006. 11, 「キリンビオトープ池の目標」, 農業農村整備技術強化対策事業, キリンビール神戸工場, 神戸市。(35名)  
田中哲夫, 2006. 11, 「河川環境を皆で考えよう」, 芦屋市民のためのロハス入門, 芦屋市民センター, 芦屋市。(34名)  
田中哲夫, 2006. 11, 「兵庫の川魚」, ホタルの住める環境, 藤田孝夫「兵庫の環境学習会」, 養父市民センター, 養父市。(100名)  
田中哲夫, 2006. 12, 「キリンビオトープ池の試み」, 兵庫環境学校事業, キリンビール神戸工場, 神戸市北区。(20名)  
田中哲夫, 2006. 12, 「河川環境と生物」, 篠山市小学校校長研修会, 篠山市。(17名)

田中哲夫, 2006. 12, 「ひとはく地域研究員と生涯学習」, 兵庫県生涯学習支援ネットワーク交流会議, 神戸クリスタルタワー, 神戸市。(45名)

田中哲夫, 2007. 3. 「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープの意義と今後」, 基調講演・パネラー, 希少生物の保全に向けた環境学習の役割を考えるシンポジウム, 兵庫県, 神戸市。(51名)

#### 非常勤講師

2006. 6. 「流れと生物」, 神戸芸術工科大学, 講師。(70名)  
2006. 10-11. 「生物学野外実習」, 神戸大学。(30名)  
2007. 2. 「進化と生態系」「水辺環境の再生」, 関西学院大学。(50名)

#### ■キャラバン事業

##### 主担当

2006. 10. 阪神北地区「猪名川の今を知る」, 猪名川町生涯学習センター, 猪名川町。  
2007. 2. ~3. 阪神南地区「芦屋の自然と外来生物」, 芦屋市市民センター・公民館, 芦屋市。

##### 展示作成

2006. 8 西播磨地区 外来水生生物  
2006. 10 阪神北地区 猪名川の水生动物 外来哺乳類  
2007. 3 阪神南地区 外来生物  
2007. 3 東播磨地区 外来水生生物

##### セミナー担当

田中哲夫 2006. 7, 「ため池の生物多様性」, 中播磨キャラバン講座, 姫路市立伊勢自然の里・環境学習センター, 姫路市。(10名)  
田中哲夫 2007. 2, 「芦屋の自然と外来生物」, 芦屋キャラバン講座 (芦屋まちかど学講座との合同開催), 芦屋市立公民館, 芦屋市。(37名)

#### ■ミニキャラバン事業

2006. 8, 「ミニキャラバン兵庫の外来生物」 (主担当), 新阪急ホテル納涼夏祭り, 新阪急ホテル, 三田市。

#### ■地域研究員養成事業

##### セミナー

田中哲夫, 2006. 6, 「治水と自然環境」, リバグレス猪名川・ひとはく地域研究員ステップアップセミナー, 猪名川町生涯学習センター, 猪名川町。(37名)  
田中哲夫, 2006. 6, 「猪名川の水生物」, リバグレス猪名川・ひとはく地域研究員ステップアップセミナー, 猪名川町生涯学習センター, 猪名川町。(35名)

##### 成果発表

2007. 2, 共生の広場「生駒市高山のため池群の生物相について」, 琢磨千恵子 (指導)  
2007. 2, 共生の広場「ホームページ水生昆虫写真図鑑」, 森本静子 (指導)

#### ■研修生等の受入

##### 博物館実習

2006. 8. 22-25, 「生態調査と生態資料の管理」, 博物館実習, 滋賀県立大学 (1名), 南九州大学 (1名) 人と自然の博物館, 三田市。

#### ■展示

##### 企画展

2006. 7. 8-2006. 9. 24, 企画展「兵庫の外来生物」 (副担当)。  
2007. 2. 17-2007. 6. 10, 企画展「共生の風景」 (分担者)。

## 2. シンクタンク事業

#### ■受託研究

「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究」, キリンビール神戸工場, 研究代表者 (70万円)。  
「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」, 猪名川町, 研究分担者 (30万円)  
「ひょうごの川自然環境調査における成果とりまとめ」, 兵庫県県土整備部河川計画局河川計画課分任事業, 研究分担者 (2000万円)

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸・生物系収蔵庫等の案内, 5回, 20名。

#### ■行政等支援

##### 委員会等 (計8件)

2006. 4-2007. 3. 大滝ダム運用環境調査委員会, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局 紀ノ川ダム統合管理事務所。

- 2006.4.-2007.3 「ひょうごの川・自然環境調査」とりまとめ、アドバイザー、兵庫県県土整備部、河川計画課。
- 2006.4.-2007.3. 尼崎市環境審議会、委員、尼崎市環境政策課。
- 2006.4.-2007.3. 長谷ダム水辺の生物調査アドバイザー、兵庫県県土整備部、上郡土木事務所。
- 2006.4.-2007.3. 環境影響評価審査会、委員、兵庫県健康生活部環境局。
- 2007.1.-2007.3. 市川河川環境保全対策検討委員会、委員、兵庫県但馬県民局県土整備部、八鹿土木事務所。
- 2007.1.-2007.3. 円山川水系自然再生推進委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所・兵庫県但馬県民局県土整備部豊岡工事事務所。
- 2007.1.-2007.3. 猪名川自然環境委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局 猪名川工事事務所。

#### 相談・指導助言

来訪者 30 件, 100 名。電話・FAX 相談 150 件, メール相談 20 件。

## 三橋 弘宗, Hiromune Mitsuhashi

流域生態研究グループ/生涯学習推進室  
主任研究員

昭和 45 年京都府生 京都大学大学院理学研究科修士課程修了。理学修士。日本生態学会、日本陸水学会、アメリカベントス学会等所属。



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進シンクタンク活動支援グループ室  
グループリーダー (中期目標に係る指標の全体統括)、セミナー倶楽部およびメルマガ配信体制の再検討、地域研究員および連携活動グループ制度の構築、出版物一覧の作成、ハーモニーおよび季刊セミナーガイドの発刊体制の再整備、来館者に対する発券体制の整理、タイプ標準に関する情報発信
2. 研究開発部門  
研究担当、資料担当 (収蔵品データベースの整備、レッドデータブックに関する指標とりまとめ)  
情報システムアドバイザー (館内ネットワーク整備、館内 BBS 管理、セミナー申し込みシステム整備、ひとはく資料データベース整備、展示システム整備、情報システム定例会に計 12 回参加など)

### <研究開発>

1. 調査研究
  - 特別課題研究 (個人研究)
    1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
    2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究
  - 共同研究  
総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来 氷ノ山・扇ノ山地域における自然利用のあり方調査」、研究分担者。  
部門研究「共生の現実と未来」、研究分担者。
  - 論文・著書  
Katano, I., H. Mitsuhashi, Y. Isobe, H. Sato and T. Oishi (2007) Group size of feeding stream case-bearing caddisfly grazers and resource abundance. Basic and Applied Ecology, No. 8, 269-279
  - その他著作  
東山真也・瀧健太郎・杉野伸義・横山正・三橋弘宗・上郡中学校科学部員 (2007) 上郡中学校科学部員による安室川の淡水産紅藻チスジノリ (*Thorea okadae*) を復活させる試み。人と自然, No. 17, 73-78.  
三橋弘宗・鈴木まほろ (2006) 学会でも博物館学 ～どう伝える? 生態学の面白さ～. 月刊ミュゼ June, 20-21.  
三橋弘宗 (2006) 都市公園法: 失われやすい自然を保全してきた大切な仕組みを発展させるために. 公園緑地, 67 (4), 107.  
「日本のカエルの鳴き声図鑑 ～カエルの鳴き声聞いてみよう～」, 兵庫県立人と自然の博物館 (ホームページ製作主担当). <http://hitohaku.jp/education/frog/top.html>  
「身近な川の水生昆虫を調べてみよう」, 兵庫県立人と自然の博物館 (ホームページ製作主担当). <http://info.hitohaku.jp/kawamushi/top.html>

### ■研究発表

- Yo Miyake, Hiromune Mitsuhashi & Tsuyoshi Akiyama (2006) Effects of catchment characteristics on habitat environment and community structure of stream invertebrates. International Conference on Ecological Restoration in East Asia, Osaka, Japan.
- Keigo YAMASHITA, Yosuke KATO, Hiromune MITSUHASHI and Mahito KAMADA (2006) Risk assessment of landslid occurrence in the region of monotonous cedar plantation for setting priority of nature restoration. International Conference on Ecological Restoration in East Asia, Osaka, Japan.
- Estuko HARADA1, Hiroyuki FUKAWA, Makoto OGAWA, Kazuo YOSHIDA, Hiromune MITSUHASHI and Mahito KAMADA (2006) Classifying wetland habitat by predicted occurrence pattern of hygrophyte - damselfly functional group. International Conference on Ecological Restoration in East Asia, Osaka, Japan.
- 恩地利実・三橋弘宗・下野優子・中江環 (2006) 各都道府県のレッドデータブックからみた全国的に重要な生物種および生息環境の選定, ポスター発表, 第 10 回応用生態工学会, 東京大学
- 笹田直樹・武内孝徳・道奥康治・田中哲夫・横山正・君塚芳輝・三橋弘宗・浜野直樹・八尾昌彦 (2006) 効果的な魚道整備位置の選定手法, ポスター発表, 第 10 回応用生態工学会, 東京大学
- 大澤剛士・丹羽英之・三橋弘宗 (2007) 河川の合流点が創出する生息場の多様性, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市
- 田口勇輝・三橋弘宗・夏原由博 (2007) 兵庫県におけるオオサンショウウオの分布と生息適地の推定, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市
- 赤坂宗光・角野康郎・三橋弘宗・青木典司・高村典子 (2007) ため池の生物多様性保全に必要な空間スケールについて, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市
- 三橋弘宗・鈴木まほろ・石田惣 (2006) 自由集「博物館の生態学 3 ～標本のチカラ～」, コーディネーター, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市

### ■学会役員など

- 2006.4- 日本陸水学会, 査読  
2006.4- 日本生態学会, 査読

### ■助成を受けた研究

「水田生物多様性温存地域ホットスポットの広域的探索と農村環境再生ストラテジー-水田生態系の保全再生に必要な農村環境要因は何か? -」. 研究代表者: 日鷹一雅 (愛媛大学農学部). 文部科学省科学研究費基盤研究 (B), 研究分担者 (80 万円/総額 580 万円).

### ■海外調査

2007.1 イギリス 英国の自然史系博物館における展示および運営に関する現状調査

### ■受賞

生態学会ポスター賞優秀賞; 大澤剛士・丹羽英之・三橋弘宗 (2007) 河川の合流点が創出する生息場の多様性, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市  
生態学会ポスター賞優秀賞; 赤坂宗光・角野康郎・三橋弘宗・青木典司・高村典子 (2007) ため池の生物多様性保全に必要な空間スケールについて, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市

### 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006.4-2007.3 河川底生動物. 豊岡市, 猪名川町, 上郡町, 青垣町, 芦屋市など。

#### ■受贈担当資料

魚類、底生動物および陸生昆虫, 「河川環境調査採集標本 (兵庫県県土整備部河川計画課)」, 一式 (約 1000 点)

#### ■整理同定担当資料

昆虫 (水生昆虫, 甲殻類, 両生類, 魚類, 扁形動物, 環形動物)。

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

##### 館主催セミナー

三橋弘宗, 2006.5, 「水辺の生き物探検」, 武庫川草野地区. (10

- 名)  
三橋弘宗, 2006. 6, 「川の水生昆虫観察会(芦屋川編)」, 芦屋市. (22名)  
三橋弘宗, 2006. 7, 「里山の小川と湿地の観察会(有馬富士公園編)」, 三田市有馬富士公園. (21名)  
三橋弘宗, 2006. 8, 教職員セミナー「水生昆虫の調べ方(野外編)」, 神戸市道場地区. (50名)  
三橋弘宗, 2006. 8, 教職員セミナー「水生昆虫の調べ方(野外編)」, 人と自然の博物館. (50名)  
三橋弘宗, 2006. 11, サイエンスショー・ワークショップ「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市. (200名)  
三橋弘宗, 2006. 12, サイエンスショー・ワークショップ「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市. (150名)  
三橋弘宗, 2006. 2, サイエンスショー・ワークショップ「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市. (250名)  
三橋弘宗, 2007. 3, フォーラム「身近な川を知り、よみがえらせる方法」, コーディネーター, 兵庫県三田土木事務所. (94名)

#### 館外講演など

- 三橋弘宗, 2006. 5, バイカモ再生懇談会(丹波市), 講師, 青垣いきものふれあいの里, 丹波市. (30名)  
三橋弘宗, 2006. 5, 自然環境 GIS サミット「地図で調べる兵庫の自然」, 講師, 国土交通省, 東京都. (150名)  
三橋弘宗, 2006. 7, 知ろう、活かそう三田の川「武庫川の生物観察会」, 講師, 県三田土木事務所, 三田市. (40名)  
三橋弘宗, 2006. 7, 河川生態系を再生するためのランドスケープアプローチと博物館の役割, 講師, 河川環境管理財団, 東京都. (50名)  
三橋弘宗, 2006. 7, 武庫川流域協議会「戦略的環境アセスメントについて」, 講師, 兵庫県阪神北県民局, 宝塚市. (100名)  
三橋弘宗, 2007. 2, 河川講習会(県土整備部技術職員研修)「ひょうごの川・自然環境調査からみた生態系評価について」, 講師, 兵庫県県土整備部, 神戸市. (50名・2日間)  
三橋弘宗, 2007. 3, シンポジウム「発信! 発信! 円山川下流域」, コーディネーター, 環境省・豊岡市, 豊岡市. (150名)

#### 非常勤講師など

2006. 4-2007. 3 独立行政法人国立環境研究所(つくば市), 客員研究員.

#### ■キャラバン事業

##### 副担当

2006. 10. 阪神北地区, テーマ「猪名川の今を知る」, 猪名川町生涯学習センター.  
2007. 2-3. 阪神南地区, 「芦屋川の自然と外来生物たち」, 芦屋市市民センター.

##### 展示作成

2006. 7 中播磨地区 河川生態系および水生生物に関する展示物作成.  
2006. 8 但馬地区 オオサンショウウオおよび水生生物に関する展示物作成.  
2006. 10 阪神北地区, 水生生物に関する標本および展示物作成.  
2006. 2-3 阪神南地区, 水生生物に関する標本および展示物作成.

##### セミナー担当

2006. 10-11 阪神北地区, 川虫を観察し封入標本をつくろう(実習)、猪名川町ふるさと館、猪名川町(2回). (講師)  
2007. 3 阪神南地区, 芦屋川の自然環境: 森・川・海のつながり、芦屋市市民センター、芦屋市(2回). (講師)

#### ■ミニキャラバン事業

2006. 6 橿原市昆虫館虫祭り, (主担当), 橿原市昆虫館, 橿原市.

#### ■地域研究員養成事業

##### 成果発表

2007. 2 共生のひろば, 「芦屋川を舞台にした環境学習(芦屋川探検隊!)」, NPO法人さんびいす(協働)  
2007. 2 共生のひろば, 「兵庫県における鳥類の分布と変遷」, 日本野鳥の会兵庫支部(指導・協働)  
2007. 2 共生のひろば 運営統括

#### ■学校教育支援

##### 学校団体対応等

2006. 8 課外学習指導「封入標本をつくろう」, 講師, 朝来市立朝

- 来中学校. (30名)  
2006. 8 教員向け学習会「水生昆虫と川の環境」, 講師. (20名)  
2006. 9 総合学習「封入標本づくり」, 講師, 篠山市立大芋小学校. (20名)  
2006. 9 GIS(地理情報システム)による天然資源・農業生産物に管理に関する技術講習会, 講師, 財団法人日本国際協力センター中部支社(名古屋大学農学国際教育協力研究センター). (10名)  
2006. 10 総合学習「カエルの話」, 講師, 篠山市立今田小学校. (20名)  
2006. 10 総合学習「川のごれと環境」, 姫路市立峰相小学校. (80名)  
2007. 2 総合学習「川について」と封入標本の作製, 講師, 東条町立東条東小学校. (30名)

#### 講師派遣等

2006. 6-12 総合学習「博物館学」, 講師, 県立御影高校, 神戸市. (全3回, 64名)  
2006. 7 総合学習「大芋川の水生物観察」, 講師, 篠山市立大芋小学校, 篠山市. (20名)  
2006. 7 総合学習「バイカモ移植・観察会」, 講師, 絹山地区, 丹波市立北小学校, 丹波市. (90名)  
2006. 7 河原探検, 講師, 青垣いきものふれあいの里, 丹波市. (80名)  
2006. 8 加東市学校教員向け学習会「水生昆虫と川の環境」, 東条東小学校, 講師. (20名)  
2006. 12 水環境の大切さ, 講師, 兵庫県いなみ野学園, 兵庫県高年齢生きがい創造協会, 稲美町. (80名)  
2006. 12 水辺環境について, 講師, 加古川市生涯学習大学, 加古川市民センター, 加古川市. (40名)  
2007. 2 河川講習会(県土整備部技術職員研修)「GIS実習」, まちづくり技術センター, 神戸市. (全2回, 計50名)

#### ■研修生等の受入

##### 卒論生等

2006. 4-2007. 3 田口勇輝(大阪府立大学大学院博士課程1年), オオサンショウウオの生息地評価.  
2006. 4-2007. 3 出口詩乃(神戸大学発達科学部4年生, 希少草本の生息場所解析).

#### ■フェスティバル等

2006. 10 ひとくフェスティバル実行委員会

#### ■展示

##### 常設展

2006. 10. 「コウノトリとその歴史」(分担者: 構成・グラフィックス・標本)

##### 企画展

2006. 2. 17-6. 10, 企画展「共生の風景」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■受託研究

- 「立体地図を用いた西播磨地域の景観写真検索システムの開発に関する研究」. 西播磨県民局上郡土地改良事務所, 研究代表者(220万円)  
「「知ろう、活かそう、三田の川」プロジェクト推進における情報発信ツールの開発および市民向け講座の実施に関する委託業務」, 阪神北県民局三田土木事務所, 研究代表者(92万円)  
「ひょうごの川自然環境調査における成果とりまとめ」, 兵庫県県土整備部河川計画局河川計画課分任事業, 研究代表者(2000万円)

#### ■自然環境情報調査

- 兵庫県におけるオオサンショウウオおよび小型サンショウウオの分布調査, (兵庫自然保護協会)

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 液浸蔵庫等の案内, 8回, 24名.

#### ■行政等支援

##### 委員会等(計38件)

2006. 4- 加古川(佐治川)「幸世水辺の楽校」検討委員会, 委員, 丹波県民局柏原土木事務所(計2回)  
2006. 4- 安室川自然再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県西播磨県民局上郡土木事務所(計4回).  
2006. 4- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 国土交通省・兵庫県但馬県民局豊岡土木事務所(計4回).  
2006. 4- 岸田川水系河川整備計画懇談会, 委員, 兵庫県但馬県民



- 局浜坂土木事務所 (計1回)
2006. 4- 全国科学系博物館情報ネットワーク推進検討委員会, 委員, 国立科学博物館 (文部科学省生涯学習局) (計2回)
2006. 4- 生態系保全対策検討委員会 (特定外来種法に関する対策), 兵庫県健康生活部環境局 (計2回)
2006. 4- 中国支社管内自然環境対策検討委員会, 委員, 社団法人道路緑化保全協会 (計2回)
2006. 4- 豊岡市戸島湿地公園基本構想・計画策定委員会, 委員長, 豊岡市 (4回)
2006. 7- 武庫川上流ルネッサンス懇談会, 委員, 兵庫県三田土木事務所 (4回)
2006. 7- 有馬富士公園湿地活用検討委員会, 座長, 兵庫県三田土木事務所 (6回)
2006. 10- 「田んぼの生き物調査」手引書作成委員会, 委員, 兵庫県但馬県民局豊岡土地改良事務所 (計3回)
2005. 10- 自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会, 事務局 (運営担当), NPO 法人西日本自然系博物館ネットワーク (計3回)
2007. 2- 明石川水系河川整備計画懇談会, 委員, 兵庫県神戸県民局神戸土木事務所 (計1回)

#### 相談・指導助言

来訪者 97件, 148名. 電話・FAX相談35件, メール相談95件.

#### ■学会開催等支援

2007. 3. 18 「身近な川を知り、よみがえらせる方法」, 兵庫県三田土木事務所との共催, 兵庫県立人と自然の博物館, 大セミナー室, 主担当. (100名)
2007. 3. 22 第54回大会日本生態学会「博物館の生態学～標本のチカラ～」, コーディネーター, 愛媛大学, 松山市. (95名)
2006. 4- 人と自然, 査読

### 3. 特別プロジェクト

GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進・プロジェクト  
研究会3回を運営

## 大谷 剛, Takeshi OHTANI

動物共生研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究  
部門 教授

昭和22年福島県生 北海道大学大学院理学研究科

博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本昆虫学会,

日本生態学会, 日本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会, 兵庫県生物学会, 日本直翅類学会等所属.



#### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ  
大学・各種学校教育支援担当, ミニセミナー等の実施

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

###### ■特別課題研究 (個人研究)

- ミツバチ類の収穫ダンスに関する基礎的研究
- 1 個体追跡法に基づく動物の行動研究
- 動物の歩行肢に関する考察

###### ■共同研究

部門研究「共生の現実と未来」, 研究分担者.

###### ■その他著作

- 大谷 剛・八木 剛 (2005) プチ図鑑・兵庫の身近な秋の鳴く虫. 兵庫県立人と自然の博物館, 20pp.
- 溝田浩美・大谷 剛 (2006) 残し餌から推測するアオバズの食卓. 「共生のひろばー人と自然からのメッセージ」, 1号, 56-60.
- 嶽山洋志・上南木昭春・大谷 剛 (2006) 学校ビオトープを中心としたミクロな緑地ネットワークの調査手法. 平成18年度日本造園学会分科会講演集, 92.
- 大谷 剛 (2006) 昆虫の生命力, 人間の生命力. 季刊ひょうご経済 91, 26-27.
- 大谷 剛 (2006) 雑学コーナー「昆虫」ニホンミツバチ *Apis cerana japonica*. 私たちの自然, No. 520, 16.

大谷 剛 (映像監修2006) アサヒ DVD ブック「栗林慧の昆虫ワンダーランド」, 朝日新聞社, 32pp.

大谷 剛 (2006) セイヨウミツバチを火のごとく攻撃するオオスズメバチ. ハーモニー, No. 55, 1-2.

#### ■研究発表

- 大谷 剛 (2006) 雄バチは雌バチに擬態している. 日本昆虫学会近畿支部2006年度大会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.
- 大谷 剛 (2007) ミツバチの水収集蜂の収穫ダンス. 日本生態学会近畿地区例会・総会, 神戸大学発達科学部, 神戸市.

#### ■学会役員など

兵庫県生物学会, 編集委員.

#### ■助成を受けた研究

ミツバチの尻振りダンスは擬似飛行ではないだろうか. 文部科学省科学研究費萌芽研究, 研究代表者 (110万円).

### 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006. 4-2007. 3 ゲンジボタル幼虫上陸観察. 神戸市北区道場町.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

- 大谷 剛, 2006. 5, 「家族で体験! はちみつしぼり (1)」, 博物館. (40名)
- 大谷 剛, 2006. 6~2006. 9, 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」, 博物館. (全3回, 69名)
- 大谷 剛, 2006. 6, 「家族で体験! はちみつしぼり (2)」, 博物館. (38名)
- 大谷 剛・中西明徳・沢田佳久・菊池由美子, 2006. 7~2006. 8, 「昆虫標本づくり実演コーナー2006」, 博物館. (全18回, 406名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 「家族で完成! 昆虫標本 (全2回)」, 博物館. (全2回, 51名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 「昆虫は標本づくりから」 (教職員セミナー), 博物館. (25名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 「ハチに関する誤解を解く」 (教職員セミナー), 博物館. (25名)
- 大谷 剛, 2006. 8~2006. 10, 「上級鳴く虫インストラクター養成講座」, 有馬富士公園・博物館. (全4回, 42名)
- 大谷 剛, 2006. 10, 「親子で楽しむ鳴く虫講座」, 博物館. (16名)
- 大谷 剛, 2006. 11, 「ハチについての大誤解~正しい知識をあなたに~」, 博物館. (21名)
- 大谷 剛, 2006. 12-2007. 2, 「昆虫のトリビア①②③」, 博物館. (全3回, 106名)
- 大谷 剛, 2007. 3, 「ホタル幼虫の上陸観察」, 博物館・神戸市北区道場町. (26名)
- 大谷 剛, 2007. 3, 「昆虫の春夏秋冬<声>」, 博物館. (12名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 夏休みコープ虹つ子「人と自然の博物館で」昆虫採集と標本の作り方を学びましょう!!」, コープこうべ生活文化センター, 博物館小セミナー室. (20名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 「体験! はちみつしぼり」, 賀陽学習教室 (京都・新佐吉秋), 博物館ジーンファーム網室. (8名)
- 大谷 剛, 2006. 11, 「ハチ, カメムシ, ケムシに関する話」, 県立学校事務職員協会神戸支部管理研究班, 博物館実習室. (17名)
- 大谷 剛, 2006. 12, 「昆虫の知識トリビア」 (リコー親子自然教室 in 兵庫ひとくはく), 博物館大セミナー室. (78名)

###### 館外講演など

- 大谷 剛, 2006. 5, お父さんとお母さんの勉強会「小さい昆虫の秘められた力」, 講師, 頌栄保育園. (40名)
- 大谷 剛, 2006. 6, ひょうごの自然・環境10話「兵庫の春から秋へと鳴き継ぐ昆虫たち」, 兵庫県立大ひょうご講座. (30名)
- 大谷 剛, 2006. 6, スタッフ研修「昆虫標本の作り方」, 講師, NPO 法人「さんぽくらぶ」, 道場町農村環境改善センター. (14名)
- 大谷 剛, 2006. 7, たかつき子ども自然体験学校第1期第4回「昆虫標本づくり~親子参加プログラム~」, NPO 法人たかつき, 大阪府衛生会地域交流支援センター. (39名)
- 大谷 剛・足立 勲・勝又千寿代, 2006. 8, 「ワクワク昆虫採集

と楽しい昆虫のお話」, 国領地区子ども会連絡協議会, 丹波市立進修小学校改善センター会議室。(69名)

大谷 剛・勝又千寿代・西浦睦子・鈴木久代, 2006.8. 親子であつまれ自然あそび塾「昆虫をさがして標本をつくろう」, NPO 法人社会還元センターグループわ, 神戸市しあわせの村。(85名)

大谷 剛, 2006.9, 「昆虫の世界—なぜ大きくなれないの?」, NPO 法人はるなか, 福島県立博物館講堂。(115名)

八木 剛・大谷 剛, 2006.9, 「秋の夜、虫の声を聞き分けよう」, 兵庫県立ささやまの森公園研修室「森の道場」。(28名)

大谷 剛, 2006.9, 「一庫公園の鳴く虫」, ひとくらクラブ, 兵庫県立一庫公園ネイチャーセンター大会議室。(30名)

大谷 剛, 2006.11, ウォーキング講習会「道端の昆虫(1)ハチ類」, 尼崎市高齢者生きがい促進協会, 尼崎市立老人福祉センター講義室。(47名)

大谷 剛, 2006.12, ウォーキング講習会「道端の昆虫(2)甲虫・チョウ・ハエ・カメムシ類」, 尼崎市高齢者生きがい促進協会, 尼崎市立老人福祉センター講義室。(43名)

大谷 剛, 2007.2, ゆめさがし隊「将来こんな仕事をやってみよう」, 神戸市立有野児童館2階集会室。(47名)

大谷 剛, 2007.3, 展示交流員養成講座「里山の昆虫(2)」, NPO 法人キッピーフレンズ, 兵庫県立人と自然の博物館大セミナー室。(23名)

#### 非常勤講師

2006.5, 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学。

2006.6, 昆虫野外観察, 神戸市シルバーカレッジ。

#### ラジオ・TV出演等

2006.12, 「ミツバチの冬籠り、他の虫の越冬」, ハニーFM。

2007.1, 「ハチが刺すということ、雄バチは刺さない」, ハニーFM。

#### ■キャラバン事業

##### 主担当

2006.4.29-30 阪神北地区(有馬富士公園) テーマ「あなたのハチ知識—8つの間違い」

##### セミナー担当

2006.4 阪神北地区(有馬富士公園), 春の昆虫観察会(講師)

2006.10 阪神北地域(猪名川生涯学習センター) 猪名川町白金で聞く鳴く虫たち(講師)

2006.10 秋の昆虫観察会(講師), 阪神北地区(有馬富士公園)

#### ■ミニキャラバン事業

2006.10.21-10.22, 「ハチに似た虫たち—ハチ擬態の世界」(責任者), 有馬富士フェスティバル2006秋実行委員会, 有馬富士公園。

#### ■地域研究員養成事業

##### セミナー

2006.7 さよう子どもアートスクール「昆虫採集と虫のお面づくり」, 佐用町生涯学習課(講師・指導)。(32名)

2007.3 ホタルプロジェクト第1回公開講座「蛍の幼虫上陸の話」と大池川の観察, NPO 法人キッピーフレンズ(講師・指導)。(12名)

##### 成果発表

2006.2 共生の広場「アオバズク一家をとりまく虫たち」, 溝田浩美(指導・協働)

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006.5.30-6.2, 富士中学校2名, 長坂中学校1名。

##### 学校団体対応

2006.5, 自然学校のための展示解説、神戸市立道場小学校5年生。(27名)

2006.8, 講義「昆虫行動学」柏原高校ベーシックサイエンスコース1年。(28名)

2006.4-2007.3 ミニセミナー「トリビアの泉風昆虫の知識」小学校14校。(1482名)

##### 講師派遣

2006.5, 自然学校での夜間採集・昆虫採集・標本づくり, 講師, 神戸市立道場小学校5年生。(27名)

2006.10, トリビアの泉風鳴く虫の知識, 講師, 神戸市立井吹西小学校3年生。(236名)

##### 遠隔授業

2006.11-2006.12, 「テレビ会議システムを活用した遠隔授業」, ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校小学部33クラス。(全4回, 79名)

2007.3, 「テレビ会議システムを活用した遠隔授業」, 高砂市立荒井小学校3年生3クラス。(全3回, 117名)

#### ■研修生等の受入

##### そのほか

2006.4.1-2006.3.31, 溝田浩美(ひとはく地域研究員), テーマ:アオバズクの残し餌に関連する夜間採集、および標本作成・同定。

2007.2.6, 井上牧子, 神戸女学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻, 論文題目:「地中性捕食寄生者としてのツチバチ類のホスト探索行動に関する研究」(博士論文最終試験副査)

#### ■展示

##### 常設展

2006.4-2007.3 「ハチに優しい眼差しを！」(企画・監修), (株)エアロビデオ(制作)

##### 企画展

2006.7.8-9.24, 企画展「兵庫の外来生物」(分担者)。

2006.10.21-2007.1.21, 企画展「虫の風林火山」(分担者)。

##### ミニ企画等

2006.5.1-7.17, ひとはく連携企画展「あなたのハチ知識—8つの間違い」(責任者), 三田市立有馬富士自然学習センター。

2006.6.14-7.15, ひとはくサロン内展示「昆虫標本づくりプロセス展示(2006年トライやる成果)」(責任者), 兵庫県立人と自然の博物館。

2006.9.15-9.24, NPO 法人はるなか「世界の甲虫と福島の昆虫展」(分担者), 福島県立博物館。

2006.10.23-12.3, ひとはく連携企画展「ハチに似た虫たち—ハチ擬態の世界」(責任者), 三田市立有馬富士自然学習センター。

2006.12.2-2007.1.21, ひとはくサロン内展示「刺すハチ、刺さないハチ」(責任者), 兵庫県立人と自然の博物館。

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

企業研修「リコー親子自然教室 in 兵庫ひとはく」, 株式会社リコー。研究分担者(20万円)

##### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2回, 15名。

##### ■行政等支援

##### 相談・指導助言

来訪者4件, 5名。電話・FAX相談15件, メール相談16件。

##### ■学会開催等支援

2006.12 日本昆虫学会近畿支部2006年度大会・日本鱗翅学会第133例会(会場係)。参加者67名。

## 三谷 雅純, Masazumi MITANI

動物共生研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究

部門 助教授

昭和29年香川県生。京都大学大学院動物学研究科

博士後期課程修了。理学博士。日本霊長類学会,

International Primatological Society, 日本生態学会, 日本アフリカ

学会, 日本熱帯生態学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所属。



#### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室 スクールパートナー推進グループ

スクールパートナー事業マネージャー, 博物館テキスト『子ども自然教室』のユニバーサル化の検討, スクールパートナー推進室行事の記録

#### <研究開発>

1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. 身障者/身障児の社会教育のあり方

2. 霊長類の生態学的研究

3. GISを利用した哺乳類空間分布の研究

##### ■論文・著書

◎三谷雅純(2007) 博物館テキスト『子ども自然教室』のユニバーサル化の課題。「だれもが楽しめるユニバーサル・ミュージアム

ムー“つくる”と“ひらく”の現場から」, 国立民族博物館 (監修), 広瀬浩二郎 (編), 読書工房, 東京都, 184.

#### ■研究発表

三谷雅純・渡邊邦夫・Gurmaya, J.K.・Noviar, E.・河合雅雄 (2006) シルバールトンの採食にみられた行動変異と植物薬用の可能性. 日本霊長類学会, 大阪大学, 吹田市.

◎三谷雅純 (2006) GIS を利用した野生動物の潜在分布や拡散経路の推定—本当はどんな分布を示すのか? どう分布を広げるはずか? 第15回ニホンザルの現況研究会, 京都大学霊長類研究所, 大山市.

◎三谷雅純 (2006) 博物館テキスト『子ども自然教室』のユニバーサル化の課題. 国立民族学博物館公開シンポジウム「ユニバーサル・ミュージアムを考える国際シンポジウム〜“つくる”努力と“ひらく”情熱を求めて〜」, 国立民族学博物館, 吹田市.

#### ■学会役員など

Mammal Study, reviewer

霊長類研究, 査読者

PRIMATES, reviewer

#### ■助成を受けた研究

2006.11-2007.10 ユニバーサル化をめざした視覚障害児のための理科テキストの開発. 日産科学振興財団 理科/環境教育助成, 研究代表者 (30万円).

## 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006.4-2007.3 博物館のユニバーサル化に関する資料の収集

## <事業推進>

### 1. 生涯学習支援事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

三谷雅純, 2006.8, 夏期教職員セミナー「体の不自由な子どもたちの野外活動入門」, 博物館. (16名)

三谷雅純, 2006.10, 「熱帯林とゴリラのはなし」, 博物館. (9名)

三谷雅純, 2006.12, 「いっしょに学ぼう、ユニバーサルなこと」, 博物館. (7名)

##### 館外講演

三谷雅純, 2006.10, 「ユニバーサル・ミュージアムを話題にして」, 小規模作業所トークゆうゆう. (9名)

##### 非常勤講師

2006.6, 「自然とデザイン 哺乳類と果実」, 神戸芸術工科大学.

#### ■地域研究員養成事業

##### 成果発表

2007.2, 共生の広場「人とクマ、共存に向けた環境教育」, 東中国クマ集会 (指導・協働)

#### ■学校教育支援

##### 学校団体対応等

2006.7, 兵庫県立大学付属高校. (27名)

2006.9, 高砂市立北浜小学校. (55名)

2006.12, 京都府立福知山高校. (32名)

#### ■フェスティバル等

2006.11 ひととはくフェスティバル, 記録担当.

2006.11-2007.2 ひととはくサイエンスショー (全3回), 記録担当.

### 2. シンクタンク事業

#### ■行政等支援

##### 委員会等 (計2件)

2006.4-2007.3 Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).

2006.4-2007.3 Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).

##### 相談・指導助言

来訪者5件, 10名. 電話相談5件, メール30件, 手紙5件.

2006.4- 失語症者の発話機能補填について

2006.4- 障害児の自然活動について

2006.11-大学博物館の展示のあり方と障害者について

## 坂田 宏志, Hiroshi SAKATA

動物共生研究グループ

主任研究員

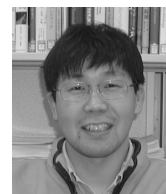
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態部門

助教授

農林水産部森林動物共生室調査研究係 係長 兼

務

昭和43年鳥取県生. 京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了. 博士 (農学). 生態学会, 哺乳類学会, 個体群生態学会等所属.



## <研究開発>

### 1. 調査研究

#### ■特別課題研究 (個人研究)

1. 生物種間の相互作用と共存に関する研究

2. 野生動物の保護と管理に関する研究

#### ■共同研究

総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来〜人口減少社会における自然環境の変遷と生物多様性保全に向けての提言に向けて〜」, 研究分担者.

部門研究「共生の現実と未来」, 研究分担者.

#### ■論文・著書

◎宇野裕之・横山真弓・坂田宏志 (2007) ニホンジカ個体群の保全管理の現状と課題. 哺乳類科学, 47(1), 25-38.

◎横山真弓・坂田宏志 (2007) 兵庫県におけるシカ保護管理計画の現状と今後の展望. 哺乳類科学, 47(1), 73-79.

◎坂田宏志・鮫島弘光 (2007) 兵庫県におけるイノシシの個体数と狩猟の管理. 哺乳類科学, 47(1), 157-159.

◎濱崎伸一郎・岸本真弓・坂田宏志 (2007) ニホンジカの個体数管理にむけた密度指標 (区画法, 糞塊密度, 目撃効率) の評価. 哺乳類科学, 47, 65-71.

#### ■研究発表

◎石川圭介・横山真弓・坂田宏志 (2006) 害獣追い払い犬の訓練コストと適性個体選抜テストの可能性, 日本動物行動学会, 岡山大学, 岡山市

◎坂田宏志 (2006) イノシシ個体数と狩猟の管理, 日本哺乳類学会 京都大会, 京都大学, 京都市

◎鮫島弘光・坂田宏志・横山真弓 (2006) 兵庫県におけるニホンジカの相対密度推定の手法について, 日本哺乳類学会 京都大会, 京都大学, 京都市

◎高畑麻衣子・横山真弓・鮫島弘光・木下裕美子・坂田宏志・常田邦彦 (2006) イノシシの農耕地出没パターンと狩猟による追い払い効果の検証, 日本哺乳類学会 京都大会, 京都大学, 京都市

◎木下裕美子・横山真弓・坂田宏志・高畑麻衣子 (2006) 兵庫県におけるアライグマの繁殖状況と食性の分析, 日本哺乳類学会 京都大会, 京都大学, 京都市

◎YOKOYAMA, M., SAKATA, H., FUJIKI, D., TAKAHATA, M and KATAYAMA, A. (2006) Efforts to verify the effect of Japanese black bear release with aversive conditioning in Hyogo Prefecture. 17th International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町.

◎YOKOYAMA, M., SAKATA, H. (2006) Human-bear conflicts and challenges to reduce the problems in Hyogo Prefecture. 17th International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町.

#### ■学会役員など

2004.9- 日本哺乳類学会, ニホンジカ保護管理作業部会.

2005.1- 2007.3 日本哺乳類学会, 京都大会実行委員

2006.1- 日本生態学会, 大会企画委員.

2006.4- 2007.3 哺乳類科学誌 査読

2006.4- 2007.3 野生生物保護誌 査読

#### ■助成を受けた研究

地域的な堅果類の豊凶と野生動物の生息状況ならびに獣害発生ダイナミクスの解析. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (130万円).

### 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006.4- 2007.3 兵庫県内における人との軋轢の大きい哺乳類の標本や痕跡、被害状況に関する資料の収集

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

- 橋本佳延・坂田宏志・外山万由・ステイーブ・ブラウン, 2006. 12, 「徹底解説! 外来生物~動物・植物の現状・そして社会的課題に迫る~, 博物館. (35名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 特注セミナー「獣害の現状と対策」, 博物館. (37名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 特注セミナー「野生動物について」, 博物館. (28名)
- 坂田宏志, 2006. 12, 特注セミナー「六甲山イノシシについて」, 博物館. (10名)
- 坂田宏志, 2006. 12, 特注セミナー「野生動物対策」, 博物館. (10名)

##### 館外講演

- 坂田宏志, 2006. 4, 「アライグマの生態と防除・捕獲の方法について」, 講師, 兵庫県三木農業改良普及センター, 山田錦の館 研修室. (45名)
- 坂田宏志, 2006. 6, 「昆虫の生態について」, 講師, シニア自然大学, 森ノ宮. (40名)
- 坂田宏志, 2006. 7, 「移入生物フォーラム~外来種が私たちに与える影響」, 講師, 島根県中山間地研究センター, 島根県民会館. (100名)
- 坂田宏志, 2006. 7, 「鳥獣被害対策事業説明会についての講師」, 講師, 大阪府泉州農と緑の総合事務所, 泉南府民センター. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 8, 「アライグマの生態と防除・捕獲の方法について」, 講師, 兵庫県加西農業改良普及センター, 兵庫県加西農業改良普及センター. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「野生動物にかかる社会的な問題とその解決に向けて」講師, 嬉野台生涯教育センター, 嬉野台生涯教育センター. (100名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「平成18年度高等学校実習助手(理科・家庭科)スキルアップ研修講座」講師, 県立教育研修所, 人と自然の博物館. (40名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「ヌートリア・アライグマの生態と被害の動向」講師, 近畿地域野生鳥獣対策連絡協議会, 農林水産省近畿農政局. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「アライグマの生息と被害の実態と対策上の課題」講師, 鳥取県農林水産部, ケーブルビジョン東ほうき. (50名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「野生動物に関して」講師, 大阪自然環境保全協会, アピオ大阪. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「アライグマの生態と防除・捕獲の方法について」講師, 兵庫県三田農業改良普及センター, 人と自然の博物館. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 10, 「野生動物対策について」講師, J A兵庫六甲本庄支店, J A兵庫六甲本庄支店. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 10, 「野生動物と人との関わり」講師, 兵庫県高等学校教育研究会生物部会, 人と自然の博物館. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 10, 「人と自然が共生できる農業を目指して」講師, 兵庫県高等学校教育研究会農水産部会, 人と自然の博物館. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 「犬を活用した獣害対策について」, 農林水産省, 農林水産省農林水産研修所食料消費技術研修館. (50名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 「獣害の現状と対策」, 兵庫県農地整備課, 人と自然の博物館. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 「自然保護官等研修(野生生物特設) 外来生物対策」, 環境省, 環境調査研修所. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 12, 「西播磨エコプレイヤーV. 野生動物から見た人間の世界」, 西播磨県民局, 兵庫県西播磨総合庁舎. (20名)
- 坂田宏志, 2007. 2, 「野生動物の生態と対策 イノシシ・アライグマ・ヌートリア・シカ」, J A兵庫六甲宝塚西谷支店, J A兵庫六甲宝塚西谷支店. (50名)
- 坂田宏志, 2007. 3, 「兵庫県の野生動物対策のシステムについて」, 島根県中山間地域研究センター, 島根県中山間地域研究センター. (120名)

#### ■キャラバン事業

##### 展示作成

哺乳類に関する展示(複数のキャラバンで活用)

#### ■学校教育支援

##### 学校団体対応

2006. 6, 明石市立林小学校. (111名)
2006. 10, 県立篠山鳳鳴高等学校. (29名)
2007. 2, 県立佐用高等学校 農業科学科. (39名)

#### ■展示

##### 企画展

2006. 7. 28-2006. 9. 24, 企画展「兵庫の外来種生物」(分担者).

### 2. シンクタンク事業

#### ■受託研究

- 「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」. 自然環境研究センター. 研究代表者(357万円)
- 「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開発」. 森林総合研究所. 研究代表者(475.1万円)
- 「ヌートリアの分布と被害の拡大過程の解析」. 森林総合研究所. 研究代表者(460万円)

#### ■自然環境情報調査

- 「兵庫県下の野生動物の生息状況に関連するブナ科堅果類の豊凶と下層植生の状況に関する広域基盤データの収集」. (委託先: 里山鳥獣研究所).
- 自然環境モノグラフ作成「ひょうごの大・中型野生動物の生息状況と人との軋轢の現状」. (委託先: 里山鳥獣研究所).

#### ■行政等支援

##### 委員会等(計12件)

2006. 4-1. 近畿地方アライグマ防除モデル事業調査検討委員会, 委員, 環境省近畿地方事務所
2006. 4-1. 鳥獣保護小委員会人材育成ワーキンググループ, 委員, 環境省環境省近畿地方事務所.
2006. 4-1. 鳥獣対策専門家育成検討委員会, 委員, 農林水産省.
2006. 4-1. 神戸イノシシ対策会議, 委員, 神戸県民局.
2006. 5. 参議院環境委員会(鳥獣保護法改正に関わる質疑), 参考人, 参議院.
2006. 9. 生物多様性国家戦略の見直しに関する懇談会, ゲストスピーカー, 環境省.
2006. 森林動物専門員研修, コーディネート・講師など, 兵庫県森林動物共生室
2006. 野生動物育成成林事業に関するアドバイザー, アドバイザー, 兵庫県豊かな森づくり室
2006. 兵庫県環境審議会鳥獣部会. 委員, 兵庫県.
2006. ワイルドライフマネジメント運営協議会, 事務局, 兵庫県.
2006. 平成18年度特定鳥獣保護管理計画技術マニュアル(ニホンザル編)改訂委員会. 委員, 環境省.
2006. アライグマ全国分布調査検討会, 委員, 環境省.

##### 相談・指導助言

- 来訪者30件, 50名. 電話・FAX相談100件, メール相談100件.
- 取材対応 神戸新聞, 朝日新聞, 朝日小学生新聞, 読売新聞, 日経新聞, 産経新聞, 毎日新聞, NHK総合, NHK教育, 朝日放送, 毎日放送, テレビ大阪, テレビ朝日, 読売テレビ, 日本テレビなど

### 3. 特別プロジェクト

#### ワイルドライフ・マネジメント・プロジェクト

事務局運営, 調査研究, 連絡調整など

## 横山 真弓 Mayumi YOKOYAMA

動物共生研究グループ

主任研究員

農林水産部森林動物共生室 調査研究担当 兼務

昭和42年東京都生まれ。東京農工大学農学研究科修士課程修了。獣医学博士(北海道大学)。

日本哺乳類学会、日本生態学会、野生生物保護学会所属



### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. ニホンジカ・ツキノワグマの栄養生態学的研究
2. 野生動物個体群の生物学的モニタリングに関する研究

##### ■共同研究

部門研究「共生の現実と未来」, 研究分担者。

##### ■論文・著書

- ◎宇野裕之・横山真弓・坂田宏志(2007) ニホンジカ個体群の保全管理の現状と課題。哺乳類科学, 47(1), 25-38.
- ◎横山真弓・坂田宏志(2007) 兵庫県におけるシカ保護管理計画の現状と今後の展望。哺乳類科学, 47(1), 73-79.

##### ■その他著作

- ◎横山真弓(2006) 絶滅危惧種ツキノワグマはなぜ人里へ出没するのか?。エコソフィア 17号, 23-29, 昭和堂。

##### ■研究発表

- ◎横山真弓(2006) ニホンジカの栄養戦略はどう違うのか、ミニシンポジウム「ニホンジカの種内変異〜見方・考え方〜」日本哺乳類学会京都大会, 京都大学, 京都府。
- ◎鮫島弘光・坂田宏志・横山真弓(2006) 兵庫県におけるニホンジカの相対密度推定の手法について、ミニシンポジウム「ニホンジカの保護管理に関わるモニタリング」日本哺乳類学会京都大会, 京都大学, 京都府。
- ◎高畑麻衣子・横山真弓・鮫島弘光・木下裕美子・坂田宏志・常田邦彦(2006) イノシシの農耕地出没パターンと狩猟による追い払い効果の検証〜GPS テレメトリーの被害対策への応用〜, 日本哺乳類学会京都大会, 京都大学, 京都府。
- ◎木下裕美子・横山真弓・坂田宏志・高畑麻衣子(2006) 兵庫県におけるアライグマの繁殖状況と食性の分析, 日本哺乳類学会京都大会, 京都大学, 京都府。
- ◎石川圭介・横山真弓・坂田宏志(2006) 害獣追い払い犬の訓練コストと適性個体選抜テストの可能性, 日本動物行動学会, 岡山市, 岡山市。
- ◎YOKOYAMA, M., SAKATA, H., FUJIKI, D., TAKAHATA, M and KATAYAMA, A. (2006) Efforts to verify the effect of Japanese black bear release with aversive conditioning in Hyogo Prefecture. 17<sup>th</sup> International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町。
- ◎YOKOYAMA, M., SAKATA, H. (2006) Human-bear conflicts and challenges to reduce the problems in Hyogo Prefecture. 17<sup>th</sup> International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町。

##### ■学会役員など

日本哺乳類学会保護管理部会シカ作業部会事務局。

日本哺乳類学会和文誌「哺乳類科学」レフェリー。

##### ■助成を受けた研究

文部科学省科学研究費補助金 若手 A「絶滅危惧種ツキノワグマはなぜ人里へ出没するのか?—生理学的なアプローチからの出没要因の解明—」, 研究代表者 (640 万円)

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

- 2005. 4-2006. 3 ニホンジカの捕獲個体の標本収集, 豊岡市, 丹波市, 篠山市, 三田市, 西脇市。
- 2005. 4-2006. 3 ツキノワグマの捕獲個体の標本収集, 丹波市, 篠山市, 西脇市。
- 2005. 4-2006. 3 ニホンイノシシ捕獲個体の標本収集, 篠山市, 加美町。
- 2005. 4-2006. 3 ニホンイノシシ捕獲個体の標本収集, 篠山市, 神戸市, 吉川町, 西宮市。

##### ■整理同定担当資料

哺乳類, 哺乳類痕跡, 生態映像資料

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

###### 館外講演など

- 横山真弓, 2006. 11, 川西市農業祭, アライグマの生態と被害防除, 川西市農業祭, 講師, 西宮市。(30名)
- 横山真弓, 2007. 2, 姫路市農業祭, アライグマの被害を防ぐための基礎知識, 講師, 姫路市。(60名)
- 横山真弓, 2007. 2, JBN 緊急ワークショップ「絶滅危惧個体群における学習放獣の事例とその効果について」東京大学, 東京都。(100名)
- 横山真弓, 2007. 2, JBN 緊急シンポジウム「学習放獣と森林動物専門員によるツキノワグマ対策」東京大学, 東京都。(400名)
- 横山真弓, 2007. 2, 森と水の環境大学「シカの生態と森林被害について」, 宍粟市, 国見の森。(20名)
- 横山真弓, 2007. 3, 滋賀県獣害対策研修「ニホンジカの有効活用について」, 滋賀県東近江地域振興局。(20名)

##### ■キャラバン事業

###### 展示制作

兵庫県に生息する哺乳類解説パネル, 在来哺乳類と外来生物の剥製製作

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開発」小課題責任者 森林総研(農水省高度化事業) 森林総合研究所。研究分担者(475.1万円)

「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」, 環境省, 自然環境研究センター。研究分担者(357万円)

##### ■行政等支援

###### 委員会等(計5件)

- 2006. 11. 兵庫県鳥獣保護担当者会議, 事務局, 兵庫県農林水産部。
- 2006. 10-。森林野生動物管理官(仮称)候補者養成研修, 講師, 兵庫県農林水産部。
- 2006. 10-。兵庫県ワイルドドライブ・マネジメント運営協議会個体数調整部会, 事務局, 研究結果報告, 事務局, 兵庫県農林水産部。
- 2006. 10-。兵庫県ワイルドドライブ・マネジメント運営協議会絶滅防止部会, 研究結果報告, 事務局, 兵庫県農林水産部。
- 2006. 10-。兵庫県環境審議会鳥獣部会, 事務局, 兵庫県。

###### 相談・指導助言

来訪者 20件, 30名。電話・FAX相談 25件, メール相談 30件。

#### 3. 特別プロジェクト

##### ワイルドドライブ・マネジメント プロジェクト

事務局運営, 調査研究, 連絡調整など

## 藤木 大介, Daisuke FUJIKI

動物共生研究グループ

技術職員(臨時的任用)

昭和49年大阪府生。京都大学大学院農学研究科博士

後期課程修了。博士(農学)。日本生態学会, 日

本森林学会、森林立地学会等所属。



### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. シカの採食が森林植生に及ぼす影響の研究
2. 野生動物と植物の相互作用に関する研究

##### ■論文・著書

- ◎藤木大介・鈴木牧・後藤成子・横山真弓・坂田宏志(2006) ニホンジカ(Cervus nippon)の採食下にある旧新炭林の樹木群集の構造について。保全生態学研究, 11, 21-34.

◎Daisuke FUJIKI and Kihachiro KIKUZAWA (2006) Stem turnover strategy of multiple-stemmed woody plants. Ecological Research, 21, 380-386.

#### ■研究発表

◎YOKOYAMA, M・SAKATA, H・FUJIKI, D・TAKAHATA, M・KATAYAMA, A. (2006) Efforts to verify the effect of Japanese black bear release with aversive conditioning in Hyogo Prefecture. 17<sup>th</sup> International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町.

#### ■助成を受けた研究

地域的な堅果類の豊凶と野生動物の生息状況ならびに獣害発生ダイナミクスの解析. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C), 研究分担者 (分担金なし/130万円).

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 館外講演など

2006.8 平成18年度林業普及指導員保護Ⅱ研修「兵庫県におけるシカによる森林衰退の現状と課題」, 講師, 兵庫県農林水産部森林動物共生室, 人と自然の博物館 (30名)

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」. 自然環境研究センター. 研究分担者 (357万円)

「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開発」. 森林総合研究所. 研究分担者 (475.1万円)

##### ■行政等支援

###### 委員会等 (計1件)

2006. 野生動物育成林業に関するアドバイザー, アドバイザー, 兵庫県豊かな森づくり室

###### 相談・指導助言

来訪者5件, 10名. 電話・FAX相談10件, メール相談10件.

#### 3. 特別プロジェクト

##### ワイルドライフ・マネジメント・プロジェクト

事務局運営, 調査研究, 連絡調整など

の連携システムに関する研究」, 研究分担者.

#### ■論文・著書

◎藤本真里・中瀬勲(2006)「兵庫県立有馬富士公園における住民参加型公園運営の課題と展望」, ランドスケープ研究, 69(5), 757-762.

◎中瀬勲(2006)「公園緑地行政への期待」, 新都市60(9), 18-20.

◎中村良夫・進士五十八・中瀬勲他(2007)「美しい景観・まちづくりに役立つ景観55事例」, (社)ランドスケープコンサルタンツ協会美しい景観事例集編集委員会編, 環境コミュニケーションズ.

◎辻秀之・田村和也・服部保・中瀬勲・一ノ瀬友博・橋俊光・林健児・土江廣幸(2006)「尼崎の森中央緑地における生態的森林創出の試み」, 造園技術報告集2007, (社)日本造園学会, 20-23.

◎中瀬勲(2007)「自然とのふれあいをとおして」, 兵庫教育, No. 673, 6-11.

#### ■その他著作

中瀬勲(2006)「地域や施設をステップアップさせる元気ビジョン」, 丹波の森, No. 32, 2006.4, (財)兵庫丹波の森協会, 3.

辻秀之・田村和也・服部保・中瀬勲・一ノ瀬友博・橋俊光・林健児・土江廣幸(2006)「尼崎の森中央緑地における生態的森林創出の試み」, 平成18年度日本造園学会分科会講演集, p99

中瀬勲(2006)「風景開眼」, 兵庫教育, No. 664, p71.

中瀬勲(2006)「地域住民が楽しめて主役となって活躍する公園は、地域を元気にします」. 公園文化第7号, (財)公園緑地管理財団, 4-5.

中瀬勲(2006)「都市公園とともに歩んだ造園学」, 日刊建設通信新聞2006年5月23日.

中瀬勲(2006)「その人ならではの活躍を期待して」, 「丹波OB大学大学院」2005年のまとめの巻頭言, (財)丹波の森協会, 丹波の森公苑.

中村良夫・中瀬勲(2006)「対談・公園は人々のために-公園の主役は住民-」. ひょうご公園フォーラム in ありまふじ報告書, 25-30, 兵庫県三田土木事務所.

中瀬勲(2006)「利用者が主役の里山公園」. 公園緑地, Vol.67, 1, (社)日本公園緑地協会, p.88.

中瀬勲(2006)「環境学習とボルネオジャングルスクール」. 広報日造協「樹林」, 2006年8月10日, (社)日本造園建設業協会.

中瀬勲(2006)「ボルネオジャングル体験スクール」, 『論』, 神戸新聞(2006年8月28日)

中村良夫・進士五十八・中瀬勲・藤吉信之・大塚守康(2006)「座談会:美しい景観・まちづくりに関するランドスケープアーキテクトの役割」. ランドスケープコンサルタンツ協会.

Isao NAKASE(2006)「Expectations for the 9th International Landscape Architectural Symposium among Japan, China and Korea」. Journal of Landscape Architecture in Asia Vol.2, JILA, CSLA, KILA.

中瀬勲(2006)「第9回日韓国際ランドスケープ専門家会議への期待」. Journal of Landscape Architecture in Asia Vol.2, JILA, CSLA, KILA.

中瀬勲(2006)「gallerize~寄る灯り, 拡がる灯り」の作品評. 「日本建築学会創立120周年記念近畿支部主催事業『美しくまちをつくる, むらをつくる』設計協議『SCENARIO TAMBA』.

中瀬勲(2006)「団塊の宿場町一滞在型自然体験のまちづくり」の作品評. 「日本建築学会創立120周年記念近畿支部主催事業『美しくまちをつくる, むらをつくる』設計協議『SCENARIO TAMBA』.

中瀬勲(2006)「会長声明」. ランドスケープ研究70(2), 99-100.

中瀬勲(2006)「淡路夢舞台の自然再生」. 監修, (財)淡路花博記念事業協会・(財)公園緑地管理財団明石海峡公園管理センター, 22.

中瀬勲(2006)「地域力を高めよう」. 丹波の森No. 33, 2006.9, (財)兵庫丹波の森協会, 3.

中瀬勲(2006)「自然再生フォーラム in 淡路夢舞台」. 神戸新聞2006年12月15日朝刊.

中瀬勲(2007)「なぜ, いま景観なのか」. 三田市政ニュース, 三田市.

中瀬勲(2007)「美しい風景づくり」. グリーエージ2007/1, 20-21.

中瀬勲(2007)「年頭の辞」. 環境緑化新聞正月号.

中瀬勲(2007)「はじめに」. 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし第6集, (財)兵庫丹波の森協会編.

中瀬勲(2007)「発足30周年を記念して」. 丹波文化団体協議会発足30周年記念誌, 丹波文化団体協議会.

## ○自然・環境マネジメント研究部

### 中瀬 勲, Isao NAKASE

副館長

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/事業推進部門

事業推進部長・主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授.

昭和23年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了. 農学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター等所属.



#### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

##### 1. 事業推進部

博物館全事業とりまとめ

##### 2. 研究開発部門

総合共同研究調整担当

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

###### ■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究

2. ランドスケープ計画・設計論

###### ■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究代表者.

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のため

中瀬勲(2007)「子どもを变身させよう」. エコキッズ活動報告書, (財)兵庫丹波の森協会, 2.  
 中瀬勲(2007)「地域づくりへの協働」. 丹波の森, No. 34, 2007. 4, (財)兵庫丹波の森協会, 3.  
 中瀬勲(2007)「6年間ありがとう」. 阪神南地域ビジョン委員会通信メッセージ, 阪神南ビジョン委員会.  
 中瀬勲(2007)「地域の元気を創出」. 平成 18 年度; めくもり第 24 号, 丹波 OB 大学自治会, 20-21.  
 中瀬勲(2007)「公園と住民参加」. 造園修景とうかい, 2007-20・21 号, (財)日本造園修景協会東海支部, 29-47.  
 中瀬勲(2007)「地域力の向上を願って」. 「丹波 OB 大学大学院」2006 年のまとめ, (財)兵庫丹波の森協会.  
 中瀬勲(2007)「淡路かがやき未来塾にエール」. 島づくり同行紙, (財)淡路 21 世紀協会.  
 ◎嶽山洋志・中瀬勲(2006)「公園内での持続的経済活動とその支援方策に関する研究」. 平成 17 年度公園緑地研究所調査研究報告(社)日本公園緑地協会公園緑地研究所, 97-104.  
 嶽山洋志・山下義弘・平井茜・石塚周子・中野由梨・中瀬勲(2006)携帯電話を利用した公園マネジメントについて～兵庫県立有馬富士公園での先行的実践からの考察～. 第 4 回公園管理運営フォーラム発表資料集, p75-80.

## ■学会役員など

### 学会

1995. 6- (社)日本造園学会, 評議員.  
 1995. 6- (社)日本造園学会, 校閲委員.  
 2000. 1- (社)日本造園学会, ランドスケープマネジメント研究委員会, 企画責任者.  
 2000. 1- (社)日本造園学会, 景観計画・デザイン研究委員会, 委員.  
 2004. 5-2006. 4 (社)日本造園学会, 関西支部監事.  
 2005. 5-2007. 4 (社)日本造園学会, 理事, 学会長.  
 1996- (社)日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文審査部会, 委員.  
 2001. 10- 人間・植物関係学会, 理事, 副会長.  
 1995. 6- (社)環境情報科学センター, 評議員.  
 1995. 7- (社)環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員会, 委員.  
 1995. 9- 兵庫県政学会, 評議員.  
 2005. 11-2007. 10 (社)日本農学会, 評議員.

### NPO など

2000- 任意団体「花みどり市民ネットワーク」代表  
 2001- NPO「六甲山と市民のネットワーク」顧問  
 2001- NPO「里と森のゼロエミッション倶楽部」顧問  
 2003- NPO「尼崎男女共同参画ネットワーク」理事  
 2003- NPO「農都共生ネットこうべ」顧問  
 2003- NPO「西日本自然史系博物館ネットワーク」副理事長  
 2003- 任意団体「国領区まちづくり活性化委員会」アドバイザー  
 2004- 任意団体「六甲楽学会」代表  
 2004- 任意団体「朝来自然塾」相談役  
 2005- 任意団体「高槻市民環境会議」相談役.  
 2005- NPO「地域再生研究センター」理事

## ■助成を受けた研究

対話型科学技術社会に求められる教師教育プログラムの開発と評価, 日本学術振興会科学研究費・基盤研究(A), 研究分担者, (分担金なし/総額 3934. 5 万円)

## ■受賞

平成 18 年度兵庫県科学賞

## 2. 資料収集・整理

### ■資料収集

但馬, 丹波における古写真の収集

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

中瀬勲, 2006. 8-10, 「造園・景観学講座」, 神戸学習プラザ. (全 10 回, 260 名)  
 中瀬勲他, 2006. 7, 「ボルネオジャングルスクール」, ボルネオ島,

(26 名)

#### 館外講演

中瀬勲, 2006. 4, 「丹波の森公園の新展開フォーラム」, コーディネーター, 丹波の森公園開園 10 周年・(財)兵庫丹波の森協会発足記念行事, 丹波市. (500 人)  
 中瀬勲, 2006. 5, 「県民参画型の総合的な生涯学習の推進」, 講師, 第 6 回環境情報科学センター特別賞受賞講演, 東京都. (30 人)  
 中瀬勲, 2006. 6, 「環境学習・教育の推進による持続可能な社会の実現」, 講師, 地球と共生・ひょうごの集い 2006, 兵庫県, 神戸市. (300 人)  
 中瀬勲, 2006. 6, 「人・地域・自然と共生できるまちづくりを目指して」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ, 神戸市. (400 人)  
 中瀬勲, 2006. 6, 「講話」, ボルネオジャングル体験スクール講話, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市. (17 人)  
 中瀬勲, 2006. 6, 「造園と市民参加」, 講師, (財)日本造園修景協会東海支部緑化講演会, 名古屋市. (180 人)  
 中瀬勲, 2006. 6, 「花と緑の環境づくりと私達の役割」, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 三田市 (兵庫県立人と自然の博物館). (55 人)  
 中瀬勲, 2006. 6, 「環境保全活動を活性化するネットワークとは」, 講師, きんき環境館パートナーシップフォーラム 2006 in 大阪, きんき環境館, 大阪. (120 人)  
 中瀬勲, 2006. 7, 「県民の参画と協働からはじまる地域づくり活動」, 講師, 平成 18 年度こころ豊かな美しい兵庫推進会議総会, 神戸市. (80 人)  
 中瀬勲, 2006. 7, 「市民が主役の花とみどりのまちづくり」, 講師, 平成 18 年度緑化リーダー第 1 回講習会, 大阪市ゆとりとみどり振興局, 大阪市. (200 人)  
 中瀬勲, 2006. 7, 「矢口高雄先生と朝来市町井上英俊の川談義」, コーディネーター, 朝来芸術の森美術館, 朝来市. (120 人)  
 中瀬勲, 2006. 7, 「丹波の原風景」, 講師, 丹波の森大学, 丹波市. (100 人)  
 中瀬勲, 2006. 8, 「緑空間のユニバーサル・デザイン」, 講師, 兵庫県ユニバーサル社会推進フォーラム, 明石市. (30 人)  
 中瀬勲, 2006. 9, 「花と緑のまちづくり」, 講師, 姫路市環境ボランティア講習会, 三田市 (人と自然の博物館). (30 人)  
 中瀬勲, 2006. 9, 「コウノトリ放鳥 1 周年記念, コウノトリと共生する地域づくりフォーラム」, コーディネーター, 豊岡市. (500 人)  
 中瀬勲, 2006. 9, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, 講師, 洲本市. (16 人)  
 中瀬勲, 2006. 10, 「熱環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16 人)  
 中瀬勲, 2006. 10, 「市民生活と環境問題」, 講師, 宝塚市民環境大学「環境学習リーダー入門講座」, 宝塚市. (15 人)  
 中瀬勲, 2006. 10, 「兵庫自治学会第 5 分科会」, コーディネーター, 神戸市. (50 人)  
 中瀬勲, 2006. 10, 「日本建築学会創立 120 周年記念近畿支部主催事業『美しくまちをつくる, 暮らしをつくる』設計協議『SCENARIO TAMB』記念シンポジウム, コメンテーター, 丹波市. (75 人)  
 中瀬勲, 2006. 10, 「触って, 感動して, 学ぶ環境教育の推進に向けて」, コーディネーター, 平成 18 年度環境教育実践発表大会, 兵庫県教育委員会, 神戸. (500 人)  
 中瀬勲, 2006. 10, 「自然と暮らす”しぜん”に生きる」, 丹波の森自然派フォーラムパネラー, 第 18 回兵庫のまつり触れあいの祭典, 丹波市. (100 人)  
 中瀬勲, 2006. 10, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16 人)  
 中瀬勲, 2006. 11, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16 人)  
 中瀬勲, 2006. 11, 「フラワータウンは今～孫に引き継ぐニュータウン～」, 講師, フラワータウンまちづくり交流祭 2006, 三田市. (200 人)  
 中瀬勲, 2006. 11, 「都市公園がおもしろい」, 講師, 都市公園法施行 50 周年記念事業, シンポジウム「新時代の都市公園づくり」, 東京都立川市. (100 人)  
 中瀬勲, 2006. 11, 「川づくりサミット in 高槻」, コメンテーター, 高槻市・芥川倶楽部, 高槻市. (100 人)  
 中瀬勲, 2006. 11, 「地域見本市, 地域ってこんなところ, お父さん」, コーディネーター, 阪神北地域ビジョン委員会・兵庫県

阪神北泉民局, 川西市. (250人)

中瀬勲, 2006.11, 「自然再生フォーラム in 淡路夢舞台行政と住民の参画と協働による自然再生」, コーディネーター, (財) 淡路花博記念事業協会, 淡路市. (350人)

中瀬勲, 2006.11, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16人)

中瀬勲, 2006.11, 「これからの公園づくりと管理運営」, 講師, 第40回公園緑地講習会, (社) 日本公園緑地協会, 東京都. (150人)

中瀬勲, 2006.12, 「造園学1, 2」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 神戸市. (35人)

中瀬勲, 2006.12, 「21世紀のランドスケープ」, 講師, 人博と猪名川町連携セミナー, 猪名川町生涯学習カレッジ, 猪名川町. (200人)

中瀬勲, 2006.12, 「こどもと地域の環境会議」, 総合コーディネーター, 阪神北泉民局, 川西市. (200人)

中瀬勲, 2006.12, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16人)

中瀬勲, 2006.12, 「造園学3, 4」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 神戸市. (35人)

中瀬勲, 2006.12, 「都市における緑の創造」, 講師, 21世紀文明研究セミナー: 平和の技術・地球環境, (財) ひょうご震災記念21世紀研究機構, 神戸市. (40人)

中瀬勲, 2007.1, 「緑からのまちづくり」, 講師, 人博と猪名川町連携セミナー, 猪名川町生涯学習カレッジ, 猪名川町. (32人)

中瀬勲, 2007.1, 「ため池フォーラム in 兵庫」, コーディネーター, ため池フォーラム in ひょうご実行委員会, 明石市. (600人)

中瀬勲, 2007.1, 「これからの時代の公園づくり」, 講師, 森の冒険公園プロジェクト, 独立行政法人万博記念機構, サントリー次世代研究所, 吹田市. (50人)

中瀬勲, 2007.1, 「自然を保護する?」, 講師, 北播磨自然指導員育成講座, 小野市. (38人)

中瀬勲, 2007.2, 「リレートーク, 地域活動の知恵袋」, 講師, 平成18年度阪神南地域夢会議, 尼崎市. (200人)

中瀬勲, 2007.2, 「私達のまちづくりに向けて」, 講師, 三田JC例会, 三田市. (40人)

中瀬勲, 2007.2, 「ふるさとの風景づくりフォーラム」, コーディネーター, 西播磨県民局, 相生市. (300人)

中瀬勲, 2007.3, 「美しい日本の創造」, 講師, コメンテーター, ジャパンフラワーフェスティバル in かがわシンポジウム, 高松市. (120人)

中瀬勲, 2007.3, 「保護者, 地域住民とともに進める学校づくり」, 講師, 平成18年度第2回丹波地区学校経営(校長)研究協議会, 丹波市. (60人)

中瀬勲, 2007.3, 「循環型の地域づくりをめざして」, 講師, コーディネーター, みんなの夢ビジョン in 北播磨, 多可町. (360人)

中瀬勲, 2007.3 「環境経済戦略の目指すもの」, 講師, コーディネーター, 環境経済戦略ビジネスモデル検討報告会, コウノトリ環境経済コンソーシアム, 豊岡市. (80人)

中瀬勲, 2007.3 「生活環境と限界集落について」, 話題提供, 第6回長期ビジョン推進委員会, 兵庫県県民政策部, 神戸市. (40人)

#### 非常勤講師

中瀬勲, 2006.10-2007.3 緑地計画, 兵庫県立大学環境人間学部.

中瀬勲, 2006.10-2007.3 兵庫・地方及び広域計画論, 兵庫県立淡路景観園芸学校.

中瀬勲, 2006.10-2007.3 ランドスケープ・デザイン論, 名古屋工業大学.

#### ラジオ・TV出演等

中瀬勲, 2006.11, 「日曜さわやかトーク収録, 知事との対談」, ゲスト, サンTV12月10日22:00放映.

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006.6.6-6.9, 藍中学校. (2名)

2006.11.8, 神戸市立北神戸中学校. (5名), 池田市立渋谷中学校. (1名)

#### ■研修生等の受入

##### 博物館実習

2006.8.21-8.25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名.

#### ■フェスティバル等

2006.11 ひとはくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名

#### ■展示

##### 企画展

2007.2.17-2007.6.10, 企画展「共生の風景」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」, 猪名川町. 研究分担者(30万円)

#### ■行政等支援

##### 委員会等 (計110件)

1993.3- (財)丹波の森協会, 理事.

1994.10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.

1996.4- (財)丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.

1996.7- 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財)丹波の森公苑.

1997.8- 阪神シニアカレッジ運営委員会, 委員, 兵庫県.

1997.8- 「なぎさ海道」推進会議, 代表委員, (財)大阪湾ベイエリア開発推進機構.

1997.8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省)建設省.

1997.10- 兵庫県都市計画地方審議会, 委員, 兵庫県県土整備部(まちづくり部).

1998.8- 環境アドバイザー, (財)ひょうご環境創造協会.

1999.4- (財)都市緑化技術開発機構, 研究顧問.

1999.6- (財)姫路市緑化協会, 理事.

1999.8- まちづくり専門家バンクへの登録(第43号), 財団法人兵庫県都市整備協会, ひょうごまちづくりセンター.

1999.9- まちづくり広域活動助成に関する選定委員会, 委員長, 財団法人兵庫県都市整備協会, ひょうごまちづくりセンター.

2000.5- NPO法人森のゼロエミッションサポート倶楽部, 運営委員.

2000.6- 里山保全アドバイザー, (社)大阪自然環境保全協会.

2001.5- (財)兵庫県高齢者生きがい創造協会, 理事.

2001.8- 関電公害防止協議会委員長, 兵庫県, 姫路市, 関西電力株式会社.

2001.9- 丹波地域ビジョン委員会専門委員, 兵庫県丹波県民局.

2002.3- (財)日本グラウンドワーク協会, 評議員.

2002.3- ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財)丹波の森協会.

2002.5- 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.

2002.7- 長期ビジョン推進委員会, 副委員長, 兵庫県企画管理部(県民政策部).

2002.7- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.

2002.12- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部(県民政策部).

2003.2- コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財)都市緑化基金.

2003.6- (社)日本公園緑地協会, 研究顧問.

2003.8- 兵庫県ワイルドライフ・マネジメント計画・運営協議会, 副委員長, 兵庫県農林水産部.

2003.8- いなみ野ため池ミュージアム推進委員会, 委員長, 兵庫県東播磨県民局.

2003.10- 国営明石海峡公園神戸地区マネジメント検討委員会準備会, 委員長, 国土交通省.

2003.10- 被災地空き地活用パイロット事業審査会, 委員, 兵庫県阪神・淡路大震災復興本部.

2003.10- 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.

2004.6- (財)日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財)日本グラウンドワーク協会.

2004.7- 近畿圏における自然環境の総点検に関する研究会, 委員, 国土交通省.

2004.7- 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.

2004.7- グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.



- 2004.12- 国営事業環境配慮アドバイザーグループ, アドバイザー, 近畿農政局.
- 2005.1- 加古川市環境審議会委員, 加古川市.
- 2005.1- 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会, 委員長, 兵庫県阪神南泉民局.
- 2005.2-2007.3 防災公園検討委員会, 委員, (財) 日本公園緑地協会.
- 2005.4-2007.3 近畿地方整備局景観アドバイザー, 近畿地方整備局.
- 2005.4-2007.3 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北泉民局.
- 2005.5- ひょうご環境学校事業, アドバイザー, 兵庫県健康生活部.
- 2005.5- 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 神戸市.
- 2005.6-2007.2 イキイキサイエンス推進委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
- 2005.6-2007.3 (財) 淡路花博記念事業協会評議員, (財) 淡路花博記念事業協会
- 2005.6-2007.6 公園緑地折下功労賞選考委員会, 委員, (財) 都市計画協会.
- 2005.7-2007.7 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会, 臨時委員, 財務省.
- 2005.7- 大問寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.
- 2005.7- 長期ビジョン推進委員会公募委員審査委員会, 委員, 兵庫県県民政策部.
- 2005.8- 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長, (財) 丹波の森協会.
- 2005.8- 丹波 OB 大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑.
- 2005.8- たんば共創の森, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑.
- 2005.9-2007.3 野生動物保護管理運営協議会, 委員, 兵庫県農林水産部.
- 2005.9- 平成 17 年度ひょうごガーデンマイスター認定委員会, 委員, (社) 兵庫みどり公社.
- 2005.11 平成 17 年度阪神南ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 兵庫県阪神南泉民局.
- 2005.11- 登録ランドスケープアーキテクト (RLA) 資格認定試験検定委員会, 委員, RLA 資格制度総合管理委員会.
- 2005.11- 豊岡市総合計画審議会, 副委員長, 豊岡市.
- 2005.11- 新さわかみみどり創造プラン推進委員会, 委員長, 兵庫県県土整備部.
- 2005.12- 六甲山系グリーンベルト整備事業景観アセスメント手法検討会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所.
- 2006.2- 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速道路株式会社.
- 2006.2- 三田市新環境基本計画検討委員会, 委員長, 三田市.
- 2006.2- 特定外来生物対策委員長会議, 委員, 兵庫県健康生活部.
- 2006.3- (財) 大阪市文化財協会, 理事.
- 2006.4-2007.3 (社) 日本公園緑地協会調査研究委員会, 委員.
- 2006.4-2007.3 (社) 日本公園緑地協会国際委員会, 委員.
- 2006.4-2007.3 (社) 日本公園緑地協会国際委員会調査部会, 委員.
- 2006.4-2007.3 (社) 日本公園緑地協会佐藤国際交流賞部会, 委員.
- 2006.4-2007.3 (社) 日本公園緑地協会北村賞委員会, 委員.
- 2006.4-2009.3 (財) 公園緑地管理財団, 研究顧問.
- 2006.4-2007.3 西播磨花の郷選定委員会, 委員, 兵庫県西播磨泉民局.
- 2006.4- (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 参与.
- 2006.4- (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究企画委員会, 委員.
- 2006.4- 都市公園法施行 50 周年記念事業実行委員会, 委員長代理, (財) 日本公園緑地協会.
- 2006.4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 兵庫県阪神南泉民局.
- 2006.4- 登録候補物件調査委員会 (兵庫県登録文化財登録事業), 委員, 兵庫県教育委員会.
- 2006.4- 三田市環境基本計画検討委員会, 委員長, 三田市.
- 2006.5- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯, 実行委員長, 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会.
- 2006.5- 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』, 塾長, (財) 兵庫丹波の森協会.
- 2006.5- 平成 18 年度環境づくり実践活動者育成講座開催事業審査会, 委員長, 兵庫県阪神北泉民局.
- 2006.5- 森林・野生動物保護管理センター (仮称) に関わる増部門検討委員会, 委員, 兵庫県立大学.
- 2006.5- 政策提言サポートシステム共同研究研修, 講師, 大阪府総務部.
- 2006.5- 兵庫県立丹波並木道中央公園森の円卓会議, 会長, 兵庫県丹波泉民局.
- 2006.6- (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構安全安心社会研究所研究員選考委員会, 委員, (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構.
- 2006.6- 兵庫県高大等連携推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
- 2006.6- コウノトリ自然博物館 (仮称) 構想検討委員会, 委員長, 兵庫県県民政策部.
- 2006.6 三田市総合計画審議会, 会長, 三田市.
- 2006.6 美しくまちをつくる, むらをつくる, 提案競技「SCENARIO-TANBA」審査委員会, 委員, (社) 日本建築学会近畿支部.
- 2006.7 環境教育副読本編集委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
- 2006.7 近畿農政局農村景観・自然環境保全再生パイロット事業審査委員会, 委員, 農林水産省近畿農政局.
- 2006.7 兵庫県立国見の丘公園運営協議会, 会長, (財) 宍粟森林王国協会.
- 2006.7 平成 19 年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究所博士前期課程 (A 日程) の試験において専門科目 (専門 I) の出題委員及び採点委員, 兵庫県立大学.
- 2006.8 兵庫楽農生活センター運営協議会, 顧問, (財) 兵庫みどり公社.
- 2006.8- 淡路花博記念事業協会設立 5 周年記念誌「淡路」夢舞台の自然再生」の発刊にかかる監修委員, (財) 淡路花博記念事業協会.
- 2006.9 平成 18 年度醸成事業, 審査委員, 特定非営利法人しみん基金・こうべ.
- 2006.9- (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 安全・安心研究所, 上級研究員.
- 2006.9-2009.3 多自然居住地域における安全・安心に関する研究会, 会長, (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 安全・安心研究所.
- 2006.10- 内ヶ池整備に関する検討委員会, 委員長, 大阪府, 高槻市.
- 2006.10-2009.3 丹波地域における集落活性化戦略調査委員会, 委員長, (財) 兵庫丹波の森協会.
- 2006.10- ひょうごごっこグリーンガーデン研究会, 会長, 兵庫県健康生活部.
- 2006.11- CSR ネットワーク委員会, 委員長, 兵庫県産業労働部.
- 2006.11- 三田市都市景観研究会, 会長, 三田市.
- 2006.12- 瀬戸内海国立公園西播磨地域管理計画検討会, 会長, 環境省.
- 2007.1- 近畿ブロックにおけるエコロジカル・ネットワーク懇談会, 座長, 国土交通省.
- 2007.1- 丹波年輪の里運営協議会, 委員, 兵庫県立年輪の里.
- 2007.1- たんば風景街道実行委員会, 委員長, (財) 兵庫丹波の森協会.
- 2007.1- 環境体験支援委員会, 副委員長, 兵庫県教育委員会.
- 2007.1- ”神戸三田” 国際公園都市・カルチャータウン地区センター事業提案協議審査委員会, 委員長, 兵庫県企業庁.
- 2007.2- 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターひとと未来館展示検討委員会, 副委員長, (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構.
- 2007.3- ジャパンフラワーフェスティバル in かがわコンテスト審査委員会, 委員, ジャパンフラワーフェスティバル in かがわ実行委員会.
- 2007.3- 屋内テニスマ場運営検討懇談会, 座長, (財) 兵庫県園芸・公園協会.
- 2007.3- 近畿圏広域地方計画学識者会議, 委員, 国土交通省.

相談・指導助言

来訪者 50 件, 100 名.

3. 特別プロジェクト

市町との協力協定推進・推進プロジェクト

藤本 真里, Mari FUJIMOTO

コミュニティデザイン (多自然居住) 研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 助手.

昭和 36 年兵庫県生. 大阪市立大学生生活科学部卒.

日本造園学会, 日本都市計画学会, 社会経済システム学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

- 1. 事業推進部 生涯学習推進室生涯学習支援グループ  
フェスティバルマネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1. 住民参画型の公園運営に関する研究
- 2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究代表者.

■その他著作

藤本真里 (2006) 戦後・国レベルの住宅政策から地域の課題を踏まえた神戸のまちづくりへ (前編). 月刊きんもくせい, 06 年 4 月号, 阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク, 2-3.

藤本真里 (2006) 戦後・国レベルの住宅政策から地域の課題を踏まえた神戸のまちづくりへ (後編). 月刊きんもくせい, 06 年 5 月号, 阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク, 3.

藤本真里 (2006) ひとくはくフェスティバル転換期. エルタン, 第 58 号 2006 年 12 月 23 日, NPO 法入会と自然の会, 1.

藤本真里・小坂真也・外山万由 (2006) 実践編「みんなで何でもできる有馬富士公園をつくる. ありまふじ公園読本, 有馬富士運営・計画協議会, 38-59, 80.

■学会役員など

日本建築学会創立 120 周年記念近畿支部「美しくまちをつくる, むらをつくる」実行委員会ワーキンググループ, 委員.

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2006. 7 国見の森公園における地域資源写真収集. 災害市.
- 2007. 1 篠山市後川中集落における地域資源写真収集. 篠山市.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里, 2005. 11, 「有馬富士公園における運営の特徴と課題」, 講師および企画, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市. (20 名)

館外講演

藤本真里, 2006. 6, 「市民による公園マネジメントの実践事例とそのプログラム企画」, 講師, 平成 18 年度 景観園芸専門講座, 兵庫県立淡路景観園芸学校, 三田市. (20 名)

藤本真里, 2006. 12, 姫路市民活動フォーラムパネルディスカッション, パネラー, 姫路市, 姫路市. (180 人)

藤本真里, 2006. 11, 芦屋のまちづくり, 講師, クラーク記念国際高等学校芦屋キャンパス, 芦屋市. (120 人)

藤本真里, 2006. 11, 「景観からのまちづくり」, 講師, 宝塚市民環境大学 環境学習リーダー入門講座, 宝塚市. (10 人)

藤本真里, 2006. 8, 9, 「緑豊かなふるさと川づくりワークショップ」, コメンテーター, 兵庫県西播磨県民局. (100 人)

藤本真里, 2006. 9, 「男女共同参画社会を語る」, 座談会, 社団法

人大阪大学工業会.

ラジオ・TV出演等

藤本真里, 2006. 12, 「美しい猪名川を次世代へ」, 対談 (JCOM宝塚川西放映), 猪名川町.

藤本真里, 2006. 12, 「輝き三田へ引き継ごう 三田の豊かな自然・環境」, インタビュー (JCOM宝塚川西放映), 三田市.

■キャラバン事業

主担当

2006. 8. 19~8. 31, 太古からのおくりもの・海の怪物展 (淡路)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 6. 6 -6. 9, 藍中学校. (2 名)

2006. 11. 8, 神戸市立北神戸中学校. (5 名), 池田市立渋谷中学校. (1 名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006. 8. 21-8. 25, 京都府立大学 1 名, 龍谷大学 1 名

■フェスティバル等

2006. 11. 5, ひとくはくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200 名 (分担者)

■展示

企画展

2007. 2. 17-2007. 6. 10, 企画展「共生の風景」(副責任者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」. 猪名川町. 研究代表者 (30 万円)

■行政等支援

委員会等 (計 19 件)

2001. 4-2006. 7 有馬富士公園運営・計画協議会コーディネーション部会, 部会長, 兵庫県阪神北県民局.

2006. 7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

2006. 2- 三田市新環境基本計画検討委員会, 委員, 三田市.

2006. 4-2007. 3 まちづくりアドバイザー, 豊中市.

1998. 4- 豊中市まちづくり専門家会議, 委員, 豊中市.

2002. 11-2009. 3 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県西播磨県民局.

2006. 12-2009. 3 CSR 活動ネットワーク委員会, 委員, 兵庫県産業労働部.

2006. 10-2007. 3 平成 18 年度地域に根ざした教材開発事業検討委員会, 委員, 兵庫県教育委員会阪神北教育事務所.

2006. 9-2007. 3. 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2006. 6-2007. 3. 平成 18 年度地域づくり活動支援会議, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

2006. 7- 姫路市市民活動推進懇話会, 委員, 姫路市.

2002. 10- 農業農村環境配慮検討委員会, 委員, 兵庫県.

2001. 8- 阪神北地域ビジョン委員会. 専門委員, 阪神北県民局.

2000. 11- 千種川圏域清流づくり委員会, アドバイザー, 西播磨県民局.

1998. 11- さとやまづくり推進協議会ワーキング会議, 委員, 中播磨県民局.

2005. 4- 篠山チルドレンズミュージアム運営委員会, 委員長, 篠山市.

2002. 10- 神戸市まちづくり専門委員会, 委員, 神戸市.

2005. 6-2009. 5 三木市都市計画審議会, 委員, 三木市.

2003. 4- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.

相談・指導助言

電話・FAX 相談 120 件, メール相談 80 件.

## 赤澤 宏樹, Hiroki AKAZAWA

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画  
研究部門 講師

昭和45年大阪府生 大阪府立大学大学院農学研究  
科修士課程修了。農学博士。日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情  
報科学センター, 人間・植物関係学会等所属。



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティング及びマネジメント部門企画調整室ネクスト担当グループ  
ネクスト・プロジェクト担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する基礎的研究
2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

##### ■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための  
連携システムに関する研究」, 研究分担者。

##### ■その他著作

赤澤宏樹(2006) 緑からはじめるコミュニティづくり。平成18年  
度三田市民大学報告書, 21-29, 三田市・三田市教育委員会・湊  
川短期大学。

赤澤宏樹(2007) 普通の風景に潜む人と自然の共生。ハーモニー,  
(56), 1-2。

##### ■学会役員など

日本造園学会, 代議員。

日本造園学会, 総務委員会幹事。

日本造園学会, 平成18・19年度造園作品選集刊行委員。

日本造園学会, 論文校閲委員。

日本造園学会, 平成19年度全国大会運営委員会, 委員

日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委員会 委員  
人間・植物関係学会, 監査

##### ■助成を受けた研究

近隣コミュニティの緑化活動および支援制度による規範的緑地計  
画に関する研究～米国コミュニティガーデン活動を事例として  
～。文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(50万円)

##### ■海外調査

2006.10 アメリカ・ニューヨーク市およびサンフランシスコ市

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2006.10 アメリカのコミュニティ・ガーデン。

2006.6-2007.2 兵庫県下における古写真(阪神南地域, 中播磨地  
域など)。

##### ■受贈担当資料

2007.3 高山超陽画白水害画。20点。

##### ■整理同定担当資料

古写真

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

赤澤宏樹, 2007.1, 「ニューヨークの公園とコミュニティガーデ  
ン」, クラーク記念国際高等学校芦屋キャンパス。(全4回, 120  
人)

赤澤宏樹, 2007.2, 「企画展ギャラリートーク」, 人と自然の博物  
館。(36名)

赤澤宏樹, 2007.3, 「企画展ギャラリートーク」, 人と自然の博物  
館。(16名)

赤澤宏樹・客野尚志, 2007.3, 「自分のカメラを作って写真を撮  
ろう」, 人と自然の博物館。(29名)

##### 館外講演

赤澤宏樹, 2006.5, 「これからのビジョンとマネジメント」, 万博  
記念公園将来ビジョンの検討にかかわる職員研修, 講師, 独立行

政法人万博記念機構。(20名)

赤澤宏樹, 2006.6, 「ニューヨークのコミュニティガーデン～市  
民が勝ち取った緑～」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, 尼  
崎中小企業センター。(40名)

赤澤宏樹, 2006.6, 「緑のパブリックをつくる住民参加～空間の  
獲得から場所性の獲得まで～」, 講師, 関西学院大学。(160名)

赤澤宏樹, 2006.6, 「フランスのエコミュゼ」, 但馬コウノトリ博  
物館構想勉強会, 人と自然の博物館。(8名)

赤澤宏樹, 2006.6, 「大都市における風致地区の意義と深江のま  
ちづくり」, 講師, 深江まちづくり協議会, 深江公民館。(40名)

赤澤宏樹, 2006.9, 「緑からはじめるコミュニティづくり」, 平成  
18年度三田市民大学, 講師, 湊川短期大学。(119名)

赤澤宏樹, 2006.12, 「福島区の緑のまちづくりについて」, 福島  
区コミュニティスクール, 講師, 福島区民センター。(25名)

藤本真里・赤澤宏樹, 2007.1, 「淡路かのやき未来塾」, 講師, 洲  
本市。(10名)

赤澤宏樹, 2007.2, 「まちづくりのプランニング」, リバグレス猪  
名川, 講師, 猪名川公民館。(30名)

##### 非常勤講師

2006.4-2006.9 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学。

2006.4-2006.9 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学。

2006.4-2006.9 「農業と社会」, 奈良県立大学。

2006.9 「共生博物館」, 兵庫県立大学

2006.8 「博物館事前実習」, 神戸大学。

##### ■学校教育支援

###### トライやるウィーク

2006.6.6-6.9, 藍中学校。(2名)

2006.11.8, 神戸市立北神戸中学校。(5名), 池田市立渋谷中学校  
(1名)

##### ■研修生等の受入

###### 博物館実習

2006.8.21-8.25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名

##### ■フェスティバル等

2006.11.5, ひとくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づく  
り, 200名(責任者)

##### ■展示

###### 企画展

2007.2.17-2007.6.10, 企画展「共生の風景」(責任者)。

###### ミニ企画等

2007.2.17-2007.6.10, 3F ギャラリー展示「昔はこうして暮らし  
てた」(責任者)。

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

「国営明石海峡公園神戸地区管理運営計画他検討業務」, 日本公園  
緑地協会, 研究代表者(30万円)。

##### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 3回, 12名。

##### ■行政等支援

###### 委員会等 (計14件)

2000.10- ひょうごエコ市民ネットワーク, 理事。

2005.10- 兵庫県立西武庫公園管理運営協議会, 委員, 兵庫県阪  
神南県民局。

2003.10- 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 兵庫県阪神  
南県民局。

2003.8- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー,  
兵庫県県土整備部。

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備  
部。

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会鉄工団地小部会,  
アドバイザー, 兵庫県県土整備部。

2004.12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市。

2005.1- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネージメントプラン  
検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局。

2005.4- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネージメントプラン  
検討委員会アクションリサーチ部会, 部会長, 国土交通省近畿  
地方整備局。

2006.8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪  
神南県民局。

2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽勉強会, コーディネーター, 兵

兵庫県神戸市南東区民局。

2005. 4- 国営明石海峡公園フレンズ, 会長, 国営明石海峡公園事務所。

2006. 8- 西宮市都市景観アドバイザーグループ, 委員, 西宮市。

2006. 8- 芦屋市史編纂委員会専門部会, 委員, 芦屋市教育委員会。

#### 相談・指導助言

来訪者 40 件, 65 名。電話・FAX 相談 40 件, メール相談 90 件。

## 嶽山 洋志, Hiroshi TAKEYAMA

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進室

### 研究員

1976 年大阪府生。大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了。日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター, こども環境学会 所属。



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部生涯学習推進室

シンクタンク活動グループ アウトリーチ・交流コンテンツ開発担当, ひょうご海外技術研修員の受入, 三田市立自然学習センターとの事業調整, 館報編集

#### 2. 研究開発部門

研究部研究担当, 紀要編集委員

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域の担い手創出に関する研究
2. こどもの遊び場に関する研究
3. 学校ビオトープのランドスケープエコロジーに関する研究

##### ■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究分担者。

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者。

##### ■論文・著書

嶽山洋志・山下義弘(2006) GPS 搭載携帯電話, WEB-GIS, BBS の統合化による地域情報の収集・発信・交流に関する研究—小学生を対象とした共同学習を事例として。環境情報科学論文集 20, p315-320。

##### ■その他著作

嶽山洋志(2006) 一本歯の下駄—砂浜という環境への適応。こども環境学研究, Vol2.No1, 表紙裏。

嶽山洋志(2006) 自然への入口を多様に。こども環境学研究, p20-22。

◎嶽山洋志・中瀬勲(2006) 公園内での持続的経済活動とその支援方策に関する研究。平成 17 年度公園緑地研究所調査研究報告, p97-104。

嶽山洋志・上甫木昭春・大谷剛(2006) 学校ビオトープを中心としたミクロな緑地ネットワークの調査手法。平成 18 年度日本造園学会全国大会分科会講演集, p92。

◎嶽山洋志(2006) 都市公園における商行為に関する研究。平成 18 年度兵庫自治学会研究発表要旨集, p52-53。

SANDA SUMMER STAGE 2006 実行委員会事務局(2006) SANDA SUMMER STAGE 2006 Project Book. pp16。

◎嶽山洋志・高野温子(2006) ひょうご科学技術研修員のご紹介。ハーモニー55, p6

◎嶽山洋志(2006) 武庫川にみられる曖昧性。武庫川散歩, 人と自然特別号 2, p103-111

山下義弘・嶽山洋志(2006) 自然環境シミュレーター「ビオトープをつくろう!」。日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2006 年秋号, 付録 2。

◎野上加代・嶽山洋志(2006) プレイパークの人材マネジメント手法について—ガキッコクラブの取り組みから—。環境情報科学大阪ポスターセッション発表要旨集, p100-101。

嶽山洋志(2006) 携帯電話を利用した共同学習, アジア諸国の職業教育における mLearning の可能性, p17-19。

嶽山洋志・山下義弘・平井茜・石塚周子・中野由梨・中瀬勲(2007) 携帯電話を利用した公園マネジメントについて—兵庫県立有馬富士公園での先行的実践からの考察—。第 4 回公園管理運営フォーラム発表資料集, p75-80。

荻野泰男・嶽山洋志他(2007) 丹波国領博。進修火の鳥会, pp20。

### ■研究発表

嶽山洋志(2006) 博物館における「インタープリター」の役割とは。こども環境学会, 兵庫県。

嶽山洋志・上甫木昭春・大谷剛(2006) 学校ビオトープを中心としたミクロな緑地ネットワークの調査手法。日本造園学会全国大会分科会ポスター発表, 大阪府。

◎野上加代・嶽山洋志(2006) プレイパークの人材マネジメント手法について—ガキッコクラブの取り組みから—。環境情報科学センターポスター発表, 大阪府。

◎嶽山洋志(2006) 都市公園における商行為に関する研究。平成 18 年度兵庫自治学会研究発表大会, 兵庫県。

◎野上加代・梶元千史・延原早織・嶽山洋志(2006) ガキッコクラブの取り組み。阪神北フォーラムポスター発表, 兵庫県。

◎嶽山洋志(2006) ガキッコクラブの取り組み。市民と大学の環境フォーラムポスター発表, 兵庫県。

嶽山洋志・山下義弘(2006) GPS 搭載携帯電話, WEB-GIS, BBS の統合化による地域情報の収集・発信・交流に関する研究—小学生を対象とした共同学習を事例として。第 20 回環境研究発表会, 東京都。

嶽山洋志(2006) 携帯電話を利用した公園マネジメントについて—兵庫県立有馬富士公園での先行的実践からの考察—。第 4 回公園管理運営フォーラム, 東京都。

嶽山洋志(2007) 人と自然の博物館における学びの循環システムについて。平成 18 年度国内科学館職員研修パネル発表会, 東京都。

### ■学会役員など

こども環境学会 2006 年度こども環境学会大会実行委員幹事  
環境情報科学センター 査読委員

### ■受賞

論文賞, こども環境学会。

### 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2006. 4-2007. 2 丹波・但馬地域における古写真と映像

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

嶽山洋志, 2006. 7-8, 「プレイパークトレーニング講座—技術編(5 回)」, 人と自然の博物館。(22 名)

嶽山洋志, 2006. 7, 「ボルネオジャングル体験スクール」, ボルネオ島。(26 名)

嶽山洋志, 2006. 10, 「公園の模型をつくろう!」, 人と自然の博物館。(10 名)

嶽山洋志, 2006. 11, 「サイエンスショー: 公園の模型をつくろう!」, 人と自然の博物館。(10 名)

嶽山洋志, 2006. 12, 「サイエンスショー: 公園の模型をつくろう!」, 人と自然の博物館。(15 名)

松原尚志・フィービー・アワー・アウィティ・嶽山洋志, 2007. 1, 「化石工房新春スペシャル: フィービーさんと化石のレプリカをつくろう!」, 人と自然の博物館。(46 名)

嶽山洋志, 2007. 2, 「サイエンスショー: 公園の模型をつくろう!」, 人と自然の博物館。(13 名)

##### 館外講演

嶽山洋志, 2006. 10, 「環境教育実践発表大会」, 通訳, 兵庫県教育委員会, 神戸。(450 名)

嶽山洋志, 2006. 10, 「有馬富士セミナー: ガキッコクラブの取り組み」, 有馬富士公園。(9 名)

嶽山洋志, 2006. 10, 「有馬富士セミナー: 企画立案の方法」, 有馬富士公園。(9 名)

嶽山洋志, 2006. 11, 「自然環境シミュレーター“ビオトープをつくろう!”」, 講師, シミュレーション&ゲーミング学会, 京都府。(16 名)

嶽山洋志, 2006. 11, 「有馬富士セミナー: アイスブレイクの方法」, 人と自然の博物館。(18 名)

#### 非常勤講師

2006. 4. 1-2006. 9. 30 「兵庫・地方及び広域計画論」, 淡路景観園芸学校.

2006. 4. 1-2006. 9. 30 「科学入門」, 湊川短期大学.

#### ■キャラバン事業

##### 主担当

2006. 7-8 丹波地域 テーマ「丹波国領博」.

##### リサーチプロジェクト

2006. 7-8 丹波地域 国領地区の古写真の収集(実施・企画運営).

#### ■ミニキャラバン事業

2006. 6, 丹波の森フェスティバル(責任者), 丹波の森フェスティバル実行委員会, 丹波の森公苑.

#### ■地域研究員養成事業

##### 成果発表

2007. 2 共生の広場 「遊び場のコミュニティデザイン〜ガキッコラブの取り組みから〜」, ガキッコラブ.(指導・協働)

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006. 6. 6 -6. 9, 藍中学校.(2名)

2006. 11. 8, 神戸市立北神戸中学校.(5名), 池田市立渋谷中学校.(1名)

##### 学校団体対応

2006. 6, 龍野市町づくり塾こどもの遊育セミナー.(8名)

2006. 11, CITE サロン.(10名)

2006. 12, 神戸学院大学.(10名)

#### ■研修生等の受入

##### 博物館実習

2006. 8. 21-8. 25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名.

##### その他

2006. 8. 1-2007. 2. 1, フィービー・アワー・アウティティ(キスム博物館ミュージアムティーチャー), ケニアと日本の博物館における環境学習の比較研究.

#### ■フェスティバル等

2006. 4 ふかたん, 6名

2006. 11 ひとつはくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名

#### ■展示

##### 企画展

2007. 2. 17-2007. 6. 10, 企画展「共生の風景」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 3回, 22名.

#### ■行政等支援

##### 委員会等 (計4件)

2006. 7- 三田市農業基本計画策定懇話会, 委員, 三田市農業振興課.

2006. 7- 安心安全研究会, 研究協力, 安全・安心社会研究所.

2005. 4- 有馬富士公園公開セミナーのあり方検討会実施作業部会, メンバー, 兵庫県三田土木事務所.

2007. 1- 「丹波風景街道フォーラム」分科会, コーディネーター, 財団法人丹波の森協会.

##### 相談・指導助言

来訪者50件, 100名. メール相談1件.

#### ■学会開催等支援

2006. 4 子ども環境学会関西大会実行委員幹事

2007. 2 ガキッコラブ総会開催

## <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

### 1. マーケティング及びマネジメント部門 企画調整室

企画調整室長 ネット担当グループリーダー

## <研究開発>

### 1. 調査研究

#### ■特別課題研究(個人研究)

1. 歴史的緑の研究

2. 環境文化の研究

#### ■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者.

#### ■論文・著書

田原直樹(2007) ライフストーリーでつづる国際ボランティアの歩き方, (株)国際協力出版会.

#### ■その他著作

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月1日).

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月8日).

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月15日).

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月22日).

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月29日).

#### ■学会役員など

日本造園学会, 国際委員・校閲委員.

環境情報科学センター, 校閲委員.

日本都市計画学会, 校閲委員.

日本都市計画学会関西支部, 幹事・国際交流委員.

日本建築学会, 校閲委員.

日本土木学会, 校閲委員.

#### ■海外調査

2006. 8 台湾

### 2. 資料収集・整理

#### ■資料収集

2002. 5-11 名所写真, 神戸市など.

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

田原直樹, 2006. 4, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪市梅田界隈を歩く」, 大阪市.(15名)

田原直樹, 2006. 5, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪市四天王寺界隈を歩く」, 大阪市.(15名)

田原直樹, 2006. 6, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪市長柄・都島界隈を歩く」, 大阪市.(15名)

田原直樹, 2006. 6, 「都市の歩き方・まち歩きのための資料解説講座 名所図会の見方」, 博物館.(15名)

田原直樹, 2006. 9, 「都市の歩き方・名所探訪編 兵庫県芦屋界隈を歩く」, 芦屋市.(15名)

田原直樹, 2006. 10, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪府茨木・摂津富田界隈を歩く」, 茨木市・摂津市.(15名)

田原直樹, 2006. 10, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪府高槻界隈を歩く」, 高槻市.(15名)

田原直樹, 2006. 11, 「都市の歩き方・名所探訪編 兵庫県新神戸・三宮界隈を歩く」, 神戸市.(15名)

##### 館外講演

田原直樹, 2006. 5, 「絵図から見る景観の変化」, 兵庫県立大学社会人専門プロフェッショナルコース, 講師, 兵庫県立大学セミナー室.(20名)

田原直樹, 2006. 5, 「街並み探訪」, コープこうべ, 講師, 大阪市.(15名)

田原直樹, 2006. 6, 「インドネシア, ジャワの都市と庶民の暮らし」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 尼崎市商工会館.(100名)

田原直樹, 2006. 7, 「地域づくりの事例」, 講師, ふるさとひょうご創生塾, 神戸生活創造センター.(20名)

田原直樹, 2006. 10, 「子どもアートスクール」, 講師, 佐用町生涯学習課, さよう文化情報センター.(15名)

田原直樹, 2007. 2, 「摂津名所図会にみる2000年の変遷1」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 宝塚シニアカレッジ学習室.(150名)

田原直樹, 2007. 2, 「名所図会にみる江戸期から現在までの植生の変化」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習

## 田原 直樹, Naoki TAHARA

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

／企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画

研究部門 教授.

昭和28年福岡県生. 大阪大学大学院工学研究科

修士課程修了. 工学博士. 日本都市計画学会, 日本造園学会等所属.



大学校。(100名)  
 田原直樹, 2007.2, 中播磨地域ビジョンフォーラム, コーディネーター, 中播磨地域ビジョン委員会, 姫路労働会館。(150名)  
 田原直樹, 2007.2, 「摂津名所図会にみる2000年の変遷1」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 宝塚シニアカレッジ学習室。(145名)  
 田原直樹, 2007.2, 「摂津名所図会にみる2000年の変遷2」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 宝塚シニアカレッジ学習室。(160名)  
 田原直樹, 2007.2, 「都市の歴史を通してみた人と自然」, 講師, 丹波市小中学校教頭会研修会, 柏原公民館。(30名)  
 田原直樹, 2007.2, 「環境と共生するまちづくり」, 講師, いなみ野学園地域活動指導者養成講座, いなみ野学園。(50名)  
 田原直樹, 2007.2, 「都市の緑と人とのかかわり」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習大学校。(100名)  
 田原直樹, 2007.2, 「兵庫県立人と自然の博物館の評価について」, 講師, 兵庫県博物館協会研究会, 兵庫県立人と自然の博物館。(30名)  
 田原直樹, 2007.2, 「ひととく連携活動グループによる地域ネットワークの形成」, 講師, 国立科学博物館国際シンポジウム, 国立科学博物館。(150名)  
 田原直樹, 2007.3, 「将来構想による挑戦」, 講師, 西日本自然史系博物館ネットワークフォーラム, 西宮浜公民館。(100名)  
 田原直樹, 2007.3, 「市民参加のまちづくりを進めるために」, 講師, いなみ野学園大学院講座, いなみ野学園。(100名)

#### 非常勤講師

2006.10-2007.3. 「都市設計論及び演習」, 兵庫県立大学。  
 2006.10-2007.3. 「地域計画演習」, 兵庫県立淡路景観園芸学校。  
 2006.4-2007.3. 大学院研究指導, 兵庫県いなみ野学園。

#### ■地域研究員養成事業

##### 成果発表

2007.2 共生の広場 「地域子ども研究員の活動について」, さよう子どもアートスクール(指導・協働)

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006.6.6-6.9, 藍中学校(2名)  
 2006.11.8, 神戸市立北神戸中学校(5名), 池田市立渋谷中学校(1名)

#### ■研修生等の受入

##### 博物館実習

2006.8.21-8.25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名。

#### ■フェスティバル等

2006.11 ひととくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名  
 2006.12, 深田公園うきうき探検隊, 博物館。(10名)

#### ■展示

##### 企画展

2007.2.17-2007.6.10, 企画展「共生の風景」(分担者)。

## 2. シンクタンク事業

#### ■自然環境情報調査

「地域資源のレフェュージアとしての公園調査」. 神戸市・芦屋市(委託先:大阪府立大学大学院)。

#### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5回, 25名。

#### ■行政等支援

##### 委員会等 (計16件)

2006.4-1. 揖保川流域委員会 委員, 国土交通省近畿地方整備局。  
 2006.4-1. 兵庫県土地収用事業認定審議会, 委員, 兵庫県。  
 2006.4-1. 中播磨地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県中播磨県民局。  
 2006.8-1. 中播磨臨海部再生ビジョン有識者懇談会, 委員長, 兵庫県中播磨県民局。  
 2007.1-3. 中播磨地域ビジョン委員審査会, 委員, 兵庫県中播磨県民局。  
 2006.4-1. SSH運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会。  
 2006.4-1. 姫路市都市計画審議会, 委員, 姫路市。  
 2006.4-1. 姫路市景観審議会, 委員, 姫路市。  
 2006.9-10. 姫路市景観選考委員会, 委員, 姫路市。  
 2006.9-1. 加東市総合計画審議会, 会長, 加東市。  
 2006.9-1. 三田市環境保全審議会, 会長, 三田市。  
 2006.4-1. ベンチマーク策定委員会, 委員, 日本博物館協会。

2006.4-1. 有馬富士公園運営・計画委員会, 委員, 兵庫県公園協会。  
 2006.4-1. 丹波OB大学運営委員会, 委員, (財)丹波の森協会。  
 2006.4-1. 宝塚ブランド(発掘・創出)特別委員会, 委員, 宝塚市商工会議所。  
 2006.4-1. 宝塚ブランド(発掘・創出)特別委員会作業部会, 部長, 宝塚市商工会議所。

#### 相談・指導助言

来訪者5件, 15名。電話・FAX相談5件, メール相談5件。

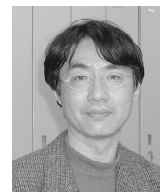
## 宮崎 ひろ志, Hiroshi MIYAZAKI

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ  
/企画調整室

#### 研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画  
研究部門 講師。

昭和34年兵庫県生。神戸大学工学部環境計画学科  
卒業。博士(工学)。日本建築学会, 日本リモートセンシング学会, 空  
気調和・衛生工学会所属。



#### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティングおよびマネジメント部門企画調整室ネクスト担当グループ  
展示・施設整備担当, 基本構想策定補助, パブリックコメントとりま  
とめ, 事業戦略検討会議事務局

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

###### ■特別課題研究(個人研究)

1. 都市ヒートアイランドの研究  
2. 環境共生居住に関する研究

###### ■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための  
連携システムに関する研究」, 研究分担者。  
総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に  
関する研究」, 研究分担者。

###### ■論文・著書

Tanaka, Moriyama, Miyazaki & Sasagawa (2006) "Detailed analysis  
of summer radiative temperature in Osaka central area using  
airborne thermal image and GIS". First Workshop of the EARSeL  
Special Interest Group on Urban Remote Sensing "Challenges  
and Solutions", 1-10.

###### ■その他著書

◎客野尚志・宮崎ひろ志(2006) 方向別の土地利用が気温形成に与  
える影響。日本建築学会学術梗概講演集, D-1分冊, 461-462。  
 ◎宮崎ひろ志・客野尚志(2006) 土地被覆評価を目的とした衛星に  
よる狭帯域アルベド推定。日本建築学会学術梗概講演集, D-1分  
冊, 485-486。  
 ◎客野尚志・宮崎ひろ志(2007) 都市の気候環境地図(クリマアト  
ラス)の作成にむけて。環境情報科学, 35(3), 68-69。

###### ■研究発表

客野尚志・宮崎ひろ志(2006) 「方向別の土地利用が気温形成に与  
える影響 正規化植生指標の分布に着目して」。日本建築学会,  
横浜市, 日本建築学会大会梗概集D-1分冊, 461-462。  
 宮崎ひろ志・客野尚志(2006) 「土地被覆評価を目的とした衛星に  
よる狭帯域アルベド推定」。日本建築学会, 横浜市, 日本建築学  
会大会梗概集D-1分冊, 485-486。

###### ■学会役員など

日本建築学会環境工学委員会都市環境・都市設計運営委員会都市  
環境気候図小委員会, 委員

###### ■海外調査

2006.3 イギリス, コーンウォール

#### <事業推進>

##### 1. 生涯学習事業

###### ■セミナー

###### 館主催セミナー

宮崎ひろ志, 2006.8, 「人工衛星から見た世界」, 大セミナー室。

(36名)

宮崎ひろ志, 2006. 8, 「教室で実践する温暖化対策」, 大セミナー室. (20名)

宮崎ひろ志, 2006. 10, 「人と自然の共生を考える (■都市の環境問題)」, 兵庫県神戸学習センター. (33名)

宮崎ひろ志, 2007. 2, 「都市だけが熱くなる 市民がいまできること」, 県立神戸生活創造センター. (30名)

#### 館外講演

宮崎ひろ志, 2006. 7, 「高齢者大学: 都市環境を考える」, 講師, 西はりま文化会館, 西はりま文化会館. (100名)

宮崎ひろ志, 2006. 7. 8, 「大学連携ひょうご講座: 暑くなる兵庫の都市-ヒートアイランド現象からみた都市-」, 講師, 兵庫県立大学, 県立神戸学習プラザ. (40名)

宮崎ひろ志, 2006. 7, 「光と生活」, 講師, 西宮市宮水学園, 西宮市宮水学園. (75名)

宮崎ひろ志, 2006. 9. 2, 「日本造園学会: 環境シンポジウム」, パネリスト, 日本造園学会, 大阪府立大学. (215名)

宮崎ひろ志, 2006. 10, 「淡路かがやき未来塾」, 講師, 淡路かがやき未来塾, 洲本市. (9名)

宮崎ひろ志, 2006. 10, 「都市整備公団: 郊外と自然のふれあい, 北六甲の自然」, 講師, 都市整備公団, 大阪市. (200名)

宮崎ひろ志, 2006. 11, 「丹波の森大学 OB: エコエネ健康生活」, 講師, 丹波の森公苑, 丹波の森公苑. (40名)

宮崎ひろ志, 2007. 1, 「丹波の森大学 OB: 宇宙から見た丹波の環境」, 講師, 丹波の森公苑, 丹波の森公苑. (40名)

宮崎ひろ志, 2007. 1, 「阪神シニアカレッジ: 海賊と宇宙」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 宝塚市ソリオ 2. (150名)

#### 非常勤講師

2006. 6-2006. 7 「人と自然の共生」, 兵庫県立大学.

2006. 7-2006. 7 「自然とデザイン 都市のデザイン」, 神戸芸術工科大学.

#### ■キャラバン事業

##### 副担当

2006. 10 神戸地区 テーマ「六甲山」

2006. 6. 5 神戸地区 野外展示「六甲山開祖の碑復活ライトアップ」, 六甲山自然観察センター

##### リサーチプロジェクト

2005. 3-2006. 4 サクラ開花日調査 (実施・企画運営)

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006. 6. 6 -6. 9, 藍中学校. (2名)

2006. 11. 8, 神戸市立北神戸中学校. (5名), 池田市立渋谷中学校. (1名)

##### 学校団体対応

2006. 5 「環境学習実感クイズ」, 尼崎市立立花南小学校. (97名)

2006. 7 「人工衛星から見た世界」, 兵庫県立大学付属高等学校. (40名)

2006. 8 「暑さ寒さと環境問題」西宮市理科担当小中学校教員研修会. (28名)

2006. 8 「ソーラーッキング」西宮市小学校 生活科部会. (48名)

2006. 10 「環境のはなし」神戸市立榎野台小学校 4年生. (99名)

2006. 10 「環境学習実感クイズ」神戸市立西脇中学校, ホロンピアホール. (182名)

2006. 10 「環境学習実感クイズ」神崎中学校. (79名)

2006. 11 「環境学習実感クイズ」天王寺川中学校, 大セミナー室. (302名)

2007. 3 「環境学習実感クイズ」神戸市立御影中学校, ホロンピアホール. (181名)

#### 講師派遣

2006. 10 「研究者のしごと」, 三木高等学校特色化支援事業, 三木市. (8名)

2006. 11 「宝塚の環境 100年」宝塚市環境リーダー養成講座, 中山寺. (40名)

2006. 11 市民と大学の環境フォーラム, 神戸大学発達科学部. (120名)

2007. 2 神戸市立筑紫が丘小学校, 3年生. (200名)

2007. 2 「都市の環境問題」, 講師, クラーク記念高等学校, 芦屋市. (30名)

#### ■研修生等の受入

##### 博物館実習

2006. 8. 21-8. 25, 京都府立大学 1名, 龍谷大学 1名.

##### 卒論生等

2002. 4. 1-2002. 3. 31, 本庄裕香 (兵庫県立大学環境人間学部), 「都市建築計画のための冬季ヒートアイランド基礎的研究-サクラ開花日による気温分布推定-」.

#### ■フェスティバル等

2006. 11 ひとくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名

#### ■展示

##### 企画展

2007. 2. 17-2007. 6. 10, 企画展「共生の風景」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

#### ■受託研究

「六甲山を舞台とした市民団体活動に関する調査研究」, 研究分担者, 兵庫県神戸県民局 (200万円)

#### ■行政等支援

##### 委員会等 (計5件)

2005. 10- 丹波市都市計画審議会, 委員・委員長, 丹波市

2005. 4- 兵庫県立尼崎小田高等学校スーパーサイエンスハイスクール委員会, 委員, 兵庫県立尼崎小田高等学校

2006. 2- 神戸市環境教育研究会, 委員, 神戸市

2005. 3- グラスパーキング評価検討委員会, 委員, 兵庫県

2006. 9- 丹波市住宅マスタープラン検討委員会, 委員・委員長, 丹波市

## 客野 尚志, Takashi KYAKUNO

都市再生研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和46年京都府生. 大阪大学大学院工学研究科博

士後期課程修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日本都市計画学会等所属.



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門生涯学習推進室シンクタンク活動グループ

出版・発信コンテンツ開発担当, メルマガシステム更新, ネクストコンテンツ開発担当, 共生の広場開催補助など

#### 2. 研究開発部門

「館報 2005」研究開発部門担当分とりまとめ

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. 都市の土地利用変化とその環境に対する影響の評価に関する研究

2. 数値モデルによる人工衛星データの環境解析技術の開発

##### ■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者.

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究分担者.

##### ■その他著作

◎客野尚志・宮崎ひろ志(2006) 方向別の土地利用が気温形成に与える影響. 日本建築学会学術梗概講演集, D-1 分冊, 461-462.

◎宮崎ひろ志・客野尚志(2006) 土地被覆評価を目的とした衛星による狭帯域アルベド推定. 日本建築学会学術梗概講演集, D-1 分冊, 485-486.

◎客野尚志・宮崎ひろ志(2007) 都市の気候環境地図(クリマアトラス)の作成にむけて. 環境情報科学 35(3), 68-69.

##### ■研究発表

◎客野尚志(2005) 方向別の土地利用が気温形成に与える影響. 日本建築学会, 神奈川大学, 横浜市.

◎客野尚志・宮崎ひろ志(2007) 都市の気候環境地図(クリマアトラス)の作成にむけて. 環境情報科学ポスターセッション, 大阪府立大学, 堺市.

## ■学会役員など

日本建築学会, 環境工学委員会空間利用データ小委員会・委員.  
日本都市計画学会, 査読部会.  
日本造園学会, 校閲委員.  
日本土木学会環境システム研究, 査読委員.

## ■助成を受けた研究

フラクタルと自己相関による都市の空間解析とそれに基づく環境評価システムの構築. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(80万円).

## 2. 資料収集・整理

### ■資料収集

2006.7 姫路北部の景観写真など  
2005.7-9 都市環境計画に資する各地の気温  
2007.12 但馬地域の景観写真など

## <事業推進>

### 1. 生涯学習事業

#### ■セミナー

##### 館主催セミナー

客野尚志, 2006.5, 「数字とキーワードでみる地球環境問題2006」, 博物館. (7名)  
客野尚志・宮崎ひろ志・長谷川太一, 2006.6, 「レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 身近な環境を調査しよう～都市環境を調べる～」, 博物館. (全2回, 18名)  
客野尚志・宮崎ひろ志・長谷川太一, 2006.6, 「レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 都市環境を調査する」, 博物館. (18名)  
客野尚志, 2006.8, 「地球温暖化とヒートアイランドの現在」, 博物館. (90名)  
客野尚志・長谷川太一, 2006.8, 「太陽の力を測ろう」, 博物館. (50名)  
客野尚志, 2006.8, 「博物館まごごと一日体験オープンミュージアム ～ヒートアイランド問題を考える・手作り百葉箱づくり～」, 博物館. (8名)  
客野尚志, 三橋弘宗, 布施静香, 黒田有寿茂, 2006.9, 「Utilization of GIS for environmental management」 JICA研修生, 博物館. (9名)  
客野尚志, 2006.12, 「景色の温度を測ろう?」, クラーク記念国際高校―芦屋キャンパス, (100名)  
客野尚志, 2007.2, 「20世紀の地球温暖化と将来予測」, 神戸生活創造センター. (35名)

##### 館外講演

客野尚志, 2006.6 「この暑さどうなってるの - ヒートアイランド問題を考える-」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚ソリオ. (155名)  
客野尚志, 2006.8 「暑くなる都市 - ヒートアイランドの現在-」, 豊中市教育委員会環境教育研修会, 講師, 豊中市教育センター. (40名)  
客野尚志, 2006.10 「地球温暖化と身近な環境」, 淡路21世紀未来塾, 講師, 洲本市文化体育館. (20名)  
客野尚志, 2006.11 「身近な環境を測ろう」, 宝塚市民大学「環境リーダー入門講座」, 講師, 宝塚市環境局, 宝塚ソリオ. (50名)  
客野尚志, 2006.11 「私達の生活と地球温暖化」, 講師, 兵庫広域防災センター「ひょうご防災リーダー養成講座」, 兵庫広域防災センター. (50名)

##### ラジオ・TV出演等

客野尚志, 2006.6, 「都市のヒートアイランド問題」 「都市の水」, ひとはく博士のラジオプチセミナー, 三田ハニーFM.

## ■キャラバン事業

### 主担当

2006.7-8 中播磨地区(姫路市)「自然環境と生物多様性」

### 副担当

2006.7 学校キャラバン(姫路市立余部小学校)「自然環境と生物多様性」

### 展示作成

2006.7-8 中播磨地区(姫路市) 生物多様性に関する解説パネル  
2007.2-3 阪神南地区(芦屋市) 芦屋川と芦屋の緑地に関する

### る解説パネル

### リサーチプロジェクト

2006.6 阪神北地域 ため池の水生植物(企画運営)

### セミナー担当

客野尚志, 2006.7, 「太陽の力を測ろう!」, 姫路市伊勢自然の里・環境学習センター. (全2回, 50名)  
客野尚志, 2007.3, 「ヒートアイランドの解決に都市の緑と水が果たす役割」. (24名)  
客野尚志, 2006.7, 「環境の温度を測ってみよう」, 姫路市立余部小学校. (全2回, 100名)

## ■ミニキャラバン事業

2006.5 みんなくフェスティバル(分担者), 国立民俗学博物館.  
2006.6, 丹波の森フェスティバル(分担者), 丹波の森フェスティバル実行委員会, 丹波の森公苑

## ■学校教育支援

### トライやるウィーク

2006.6.6-6.9, 藍中学校(2名)  
2006.11.8, 神戸市立北神戸中学校(5名), 池田市立渋谷中学校(1名)

### 学校団体対応

2006.4 大阪府立泉北高校. (34名)  
2006.4 大阪府立桃山高校. (87名)  
2006.5 大阪府立住吉高等学校. (32名)  
2006.6 兵庫県立西脇工業高校. (42名)  
2006.6 兵庫県立有馬高校. (12名)  
2006.7 芦屋市立山手小学校. (24名)  
2006.7 和歌山県立向陽高校. (75名)  
2006.9 和歌山県立海南高校. (42名)  
2006.10 茨木市立大池小学校. (129名)  
2006.10 たつの市立御津中学校. (124名)  
2006.10 小林聖心女子学院小学校. (89名)  
2006.11 クラーク記念国際高校三田キャンパス. (25名)  
2006.12 大阪府立北野高校. (34名)

### 講師派遣

2007.10 「地球温暖化について」, 狭間が丘小PTA, 三田市立狭間が丘小学校. (40名)  
2007.2 「広域ヒートアイランド調査結果速報」, JST 理数大好きモデル事業, 神戸教育センター. (40名)

## ■研修生等の受入

### 博物館実習

2006.8.21-8.25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名.

## ■フェスティバル等

2006.11 ひとはくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名

## ■展示

### 企画展

2007.2.17-2007.6.10, 企画展「共生の風景」(分担者).

## 2. シンクタンク事業

### ■受託研究

「立体地図を用いた西播磨地域の景観写真検索システムの開発に関する研究」. 西播磨県民局上郡土地改良事務所, 研究分担者(220万円)

### ■行政等支援

#### 委員会等 (計4件)

2007.4- 多自然居住地域における安心・安全に関する研究会, 研究力者・事務局, (財)ひょうご21世紀震災記念機構安心安全研究所.  
2007.8 丹波集落活性化戦略調査委員会ワーキング部会, 部会長, (財)丹波の森協会.  
2007.11 環境教育副読本編集委員会, アドバイザー, 義務教育課.  
2007.1-3 丹波風景街道シンポジウム, 東部デンカンシヨ街道部会コーディネーター, (財)丹波の森協会

#### 相談・指導助言 2件

## 3. 特別プロジェクト

### 丹波恐竜化石発掘調査プロジェクト

事務局, 図面および調整会議議事録の作成など



## ○自然・環境再生研究部

### 服部 保, Tamotsu HATTORI

植生創出研究グループ/生涯学習推進室

研究部長/生涯学習推進室長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 教授.

昭和23年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 日本造園学会, 植生学会等所属.



#### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

##### 1. 事業推進部門 生涯学習推進室

生涯学習推進室長

##### 2. 研究開発部門

部門研究調整担当

#### <研究開発>

##### 1. 調査研究

###### ■特別課題研究(個人研究)

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究
2. 森づくりに関する総合的な研究
3. 里山, 草原, 照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

###### ■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究代表者.

###### ■論文・著書

Aoki K., Matsumura T., Hattori, T. and Murakami N. (2006) Chloroplast DNA phylogeography of *Photinia glabra* (Rosaceae) in Japan. *American Journal of Botany*, 93, 1852-1858.

澤田佳宏・服部 保・内田 圭 (2006) 国版および地方版レッドデータブックから見た日本の海岸植物の絶滅危惧の現状—本州・四国・九州における状況. *環境情報科学*, No. 20, 71-76.

服部 保・南山典子・澤田佳宏・黒田有寿茂 (2007) かしわもちとちまきを包む植物に関する植生学的研究. *人と自然*, No. 17, 1-11.

###### ■その他著作

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小舘誓治・鈴木 武 (2006) 武庫川流域に残る2つの湿原. *武庫川散歩*, 53-60.

◎伊藤拓夫・笠松光明・池田香奈子・三宅昭仁・服部 保 (2007) 武庫川上流におけるツクシガヤ個体群の生育環境. *人と自然*, No. 17, 43-51.

◎栃本大介・服部 保・武田義明・澤田佳宏・石田弘明・福井 聡 (2007) 六甲山に生育するブナの分布位置と個体サイズ. *人と自然*, No. 17, 79-84.

田村和也・服部 保 (2007) 鹿児島県栗野岳における照葉樹林の埋土種子相. *人と自然*, No. 17, 137-142.

澤田佳宏・中西弘樹・押田佳子・服部 保 (2007) 日本の海岸植物チェックリスト. *人と自然*, No. 17, 85-101.

◎養田勝則・山口賢一・鈴木敏弘・南 則夫・玉水通則・服部 保 (2007) 洪水による円山川水系の植生動態. *人と自然*, No. 17, 53-65.

青木京子・服部 保 (2006) 植物地理学の立場から緑化植物の地域性を考える. *ランドスケープ研究*, 70 (1), 11-14.

服部 保 (2006) 照葉樹林という用語について. *植生情報*第10号, 9-14.

服部 保 (2006) 里山から都市山へ. *読売新聞* (2006. 4. 25 夕刊).

服部 保 (2006) 昆陽池公園水辺環境再生調査検討会議, 水辺環境再生事業について. 60. *伊丹市環境報告*, 伊丹市市民部環境保全課.

◎服部 保 (2006) 自然. *神戸学*, 神戸新聞総合出版センター, 71-84.

◎服部 保・他監修 (2006) 六甲・まや 101の大疑問. *神戸新聞総合出版センター*, 124p.

服部 保 (2007) 工場緑化と生物多様性—緑化の新しい視点—. *ピオトープ*, 19, 3-5.

服部 保 (2007) 市民の手で里山再生を. *神戸新聞* (2007. 1. 15 朝刊).

◎服部 保 (2007) 兵庫の自然史「氷上回廊」改訂版. 兵庫県立人と自然の博物館, 4p.

辻 秀之・田村和也・服部 保・中瀬 勲・一ノ瀬友博・橋 俊光・

林 健児・土江廣幸 (2007) 尼崎の森中央緑地における生態的森林創出の計画技術. *造園技術報告集* No. 4 : 20-23.

◎服部 保・澤田佳宏・赤松弘治 (2007) “都市山”六甲山の植生管理マニュアル. 神戸農林水産振興事務所・兵庫県立人と自然の博物館, 32p.

##### ■研究発表

服部 保 (2006) かしわもちとちまきの植生学的研究. 植生学会第11回大会, 信州大学松本校舎, 松本市.

橋本佳延・服部 保 (2006) 東北地方におけるタケ類天狗巣病による竹林枯死の現状. 植生学会第11回大会, 信州大学松本校舎, 松本市.

栃本大介・服部 保・岩切康二 (2006) 宮崎県綾町の照葉原生林における着生植物の種多様性. 植生学会第11回大会, 信州大学松本校舎, 松本市.

田村和也・服部 保 (2006) 照葉樹林の埋土種子層. 植生学会第11回大会, 信州大学松本校舎, 松本市.

澤田佳宏・松村俊和・黒田有寿茂・服部 保 (2006) スキー場は草原生植物の避難場所として機能するか? 兵庫県但馬地方におけるスキー場植生の種組成. 植生学会第11回大会, 信州大学松本校舎, 松本市.

黒田有寿茂・澤田佳宏・服部 保 (2006) 斜面工法の異なる植栽林の下層植生における組成および種数の比較. 植生学会第11回大会, 信州大学松本校舎, 松本市.

辻 秀之・田村和也・服部 保・中瀬 勲・一ノ瀬友博・橋 俊光・林 健児・土江廣幸 (2006) 尼崎の森中央緑地における森林創出の試み. *環境情報大阪ポスターセッション*, 大阪府立大学学術交流会館, 堺市.

##### ■学会役員など

植生学会, 運営委員.

##### ■助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対策. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究代表者 (80万円).

兵庫県および国内におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査. 平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究代表者 (130万円).

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B), 研究分担者 (分担金なし/総額832万円).

##### 2. 資料収集・整理

###### ■資料収集

2006. 4-2007. 3 植物および植生景観の映像資料収集. 神戸市, 社町, 宝塚市, たつの市, 伊丹市, 三田市, 川西市, 大阪府, 北海道 (札幌市, 函館市, 釧路市), 長崎県, 高知県, 岩手県, 新潟県, 鹿児島県, 宮崎県, 沖縄県 (本島, 石垣島, 宮古島, 西表島), 和歌山県, 愛媛県.

2006. 4-2007. 3 照葉樹林の映像資料収集. 沖縄県, 鹿児島県, 宮崎県.

###### ■整理同定担当資料

植物および植生景観, 照葉樹林の映像資料.

#### <事業推進>

##### 1. 生涯学習支援事業

###### ■セミナー

###### 館主催セミナー

服部 保, 2006. 6, 「植物の不思議な利用—粽と柏餅と柿葉鮭と朴葉みそと・・・—」, 博物館. (52名)

服部 保, 2006. 10, 「里山植物・講義と観察—ジーンファーム見学もあわせて—」, 博物館. (53名)

服部 保, 2006. 8, 「ジーンファームツアー」, 博物館. (10名)

服部 保, 2006. 4, 「特注セミナー 照葉樹林と文化」, なゆた会, 博物館. (25名)

服部 保, 2006. 4, 「特注セミナー 万葉集から見た日本の自然」, NPO法人ひょうご森の倶楽部, 博物館. (55名)

服部 保, 2006. 5, 「館内依頼講演 絶滅危惧植物」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 人と自然の博物館. (40名)

服部 保, 2006. 6, 「特注セミナー 里山」, 森林インストラクター兵庫支部, 博物館. (25名)

服部 保, 2006. 6, 「館内依頼講演 森づくりの基礎知識」, 講師,

尼崎 21 世紀の森 中央緑地を育てる勉強会, 兵庫県阪神南泉  
民局, 人と自然の博物館. (39 名)  
服部 保, 2006. 7, 「特注セミナー 生物種の絶滅から里山の保  
全へ」, シニア自然大学, 博物館. (54 名)  
服部 保, 2006. 7, 「特注セミナー 里山林の基礎知識」, NPO  
法人ひょうご森の倶楽部, 博物館. (70 名)  
服部 保, 2006. 7, 「特注セミナー 照葉樹林から里山へ」, シ  
ニア自然大学, 博物館. (64 名)  
服部 保, 2006. 7, 「特注セミナー 森林と人間文化」, 兵庫み  
どり公社, 博物館. (20 名)  
服部 保, 2006. 7, 「館内依頼講演 生物種の保全」, 講師, 神戸  
シルバーカレッジ, 人と自然の博物館. (89 名)  
服部 保, 2006. 10, 「里山と湿原の保全」, 宝塚市環境管理課,  
博物館. (35 名)  
服部 保, 2006. 10, 「特注セミナー 日本一の里山」, 武庫川女  
子大学附属高校, 博物館. (41 名)  
服部 保, 2006. 11, 「特注セミナー 日本の森」, シニア自然大  
学, 博物館. (34 名)  
服部 保, 2006. 11, 「特注セミナー 外来種と生物種の保全」,  
国土環境緑化協会, 博物館. (24 名)  
服部 保, 2006. 11, 「館内依頼講演 さとやまを学ぶ」, 講師,  
けやき台小学校 5 年生, 博物館. (107 名)  
服部 保, 2006. 12, 「特注セミナー 川西市黒川の里山林の管  
理について」, 菊炭友の会, 博物館. (15 名)

#### 館外講演

服部 保, 2006. 4, 「講演 生物種の絶滅と生物多様性」, 講師,  
人と植物コース①, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2006. 4, 「講演 森林のはたらき: 照葉樹林と里山林  
の保全」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ. (70 名)  
服部 保, 2006. 4, 「講演 植物種保全への取組み①フジバカマ」,  
講師, 人と植物コース②, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2006. 5, 「講演 植物種保全への取組み②外来種対策」,  
講師, 人と植物コース③, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2006. 5, 「講演 ひょうごの自然・環境十話〜(1)森が  
語る兵庫の自然〜森が動く〜」, 講師, 大学連携ひょうご講座,  
ひょうご大学連携事業推進機構事務局. (50 名)  
服部 保, 2006. 5, 「講演 自然と里山」, 講師, 市民セミナー ス  
ローライフと大人の食育, 宝塚市立中央公民館. (30 名)  
服部 保, 2006. 5, 「講演 猪名川自然林のお話し」, 講師, 猪名  
川自然林サポーター養成講座, 尼崎市. (40 名)  
服部 保, 2006. 6, 「講演 植物群落とは何か」, 講師, 人と植物  
コース⑤, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2006. 6, 「講演 里山林について」, 講師, 北摂情報文  
化懇話会, 神戸新聞社. (50 名)  
服部 保, 2006. 7, 「講演 猪名川流域の里山植生の現状」, 講師,  
猪名川町生涯学習カレッジ リバグレス猪名川. (30 名)  
服部 保, 2006. 7, 「講演 世界の植生②熱帯雨林の自然」, 講師,  
人と植物コース⑦, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2006. 7, 「講演 猪名川河川敷の植生と外来植物」, 講  
師, 猪名川町生涯学習カレッジ リバグレス猪名川. (30 名)  
服部 保, 2006. 7, 「講演 里山林について」, 講師, 篠山市立村  
雲小学校. (10 名)  
服部 保, 2006. 8, 「講演 日本の里山・兵庫の里山」, 講師, 丹  
波の森大学. (70 名)  
服部 保, 2006. 9, 「講演 はげ山から都市山へ」, 講師, 施設ネ  
ットワーク事業「六甲・三田・一庫 環境学習セミナー」, ひ  
ょうご環境創造協会. (40 名)  
服部 保, 2006. 9, 「講演 日本の植生①植生と環境条件」, 講師,  
人と植物コース⑨, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2006. 9, 「講演 神戸学」, 講師, 神戸学セミナー, 神  
戸新聞総合出版センター. (200 名)  
服部 保, 2006. 9, 「講演 日本の植生②照葉樹林」, 講師, 人と  
植物コース⑩, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2006. 9, 「調査実習 猪名川上流域里山勉強会」, 講師,  
兵庫県阪神北泉民局. (33 名)  
服部 保, 2006. 10, 「講演 里山の基礎知識」, 講師, NPO みのお  
山麓保全委員会. (20 名)  
服部 保, 2006. 10, 「調査実習 里山林調査」, 講師, 菊炭友の  
会, 兵庫県阪神南泉民局. (20 名)  
服部 保, 2006. 10, 「講演 日本一の里山」, 講師, 施設ネット

ワーク事業「六甲・三田・一庫 環境学習セミナー」, ひょう  
ご環境創造協会. (30 名)  
服部 保, 2006. 10, 「講演 猪名川上流域の里山と菊炭」, 講師,  
菊炭体験講座, シニア自然大学. (30 名)  
服部 保, 2006. 10, 「講演 河川植生のあり方」, 講師, 河川環  
境管理財団. (20 名)  
服部 保, 2006. 10, 「講演 日本の里山と六甲の都市山」, 講師,  
六甲山系里山フォーラム, 兵庫県神戸泉民局. (50 名)  
服部 保, 2006. 10, 「講演 工場緑化林の種多様化」, 講師, 植  
林フォーラム, NPO 黄河の森緑化ネットワーク. (100 名)  
服部 保, 2006. 10, 「観察会 日本一の里山を学ぶ勉強会」, 講  
師, 兵庫県阪神北泉民局. (30 名)  
服部 保, 2006. 11, 「講演・実習 里山」, 講師, ずっと地球と  
生きる学校プロジェクト, 読売新聞・有野台小学校. (60 名)  
服部 保, 2006. 11, 「講演 生物交流の場 こうべと都市山六甲  
山」, 講師, 実践こうべ学, 兵庫県神戸泉民局. (20 名)  
服部 保, 2006. 11, 「講演 里山を知ろう」, 講師, 森の楽校 in  
school, 北六甲台小学校. (60 名)  
服部 保, 2006. 11, 「講演 日本一の新しい里山」, 講師, 施設  
ネットワーク事業「六甲・三田・一庫 環境学習セミナー」,  
ひょうご環境創造協会. (30 名)  
服部 保, 2006. 11, 「講演 里山の現状とこれからの里山のあり  
方」, 講師, 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会. (30 名)  
服部 保, 2006. 12, 「講演 里山と湿原の植生管理」, 講師, 甲  
山森林サポーター講座, 甲山自然環境センター. (50 名)  
服部 保, 2006. 12, 「講演・実習 照葉人工林」, 講師, アマフ  
ォレストの会, 兵庫県阪神南泉民局. (30 名)  
服部 保, 2006. 12, 「観察会 第 15 回みちカフェ見学会」, 講師,  
国土交通省近畿地方整備局. (20 名)  
服部 保, 2006. 12, 「観察会 昆陽池公園樹林」, 講師, 伊丹の  
自然を守り育てる会森部会. (20 名)  
服部 保, 2007. 1, 「講演 里山の現状と課題」, 講師, 里山入門  
講座, 櫻子の会. (50 名)  
服部 保, 2007. 1, 「講演 里山の保全①雑木林」, 講師, 人と植  
物コース⑥, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2007. 1, 「講演 日本の自然」, 講師, 異文化理解のた  
めの特別講座, 鈴鹿工業高等専門学校. (20 名)  
服部 保, 2007. 1, 「講演 里山の現状とこれからの里山のあり  
方」, 講師, 総合的な学習の時間, 兵庫県立福岡高校. (39 名)  
服部 保, 2007. 1, 「講演 考えよう! いたみの環境」, 講師, 伊  
丹市環境フォーラム, 伊丹市環境保全課. (100 名)  
服部 保, 2007. 1, 「総括会議 六三ー環境学習セミナー」, 講師,  
ひょうご環境創造協会. (20 名)  
服部 保, 2007. 1, 「調査実習 昆陽池公園調査」, 講師, 伊丹の  
自然を守り育てる会森部会. (20 名)  
服部 保, 2007. 2, 「講演 里山の現状と今後の課題」, 講師, 自  
然環境保全分科会準備会, 近畿地方環境事務所. (20 名)  
服部 保, 2007. 2, 「講演 森が語る兵庫の自然」, 講師, 兵庫 J  
C 協同組合研究会, 兵庫県協同組合連絡協議会. (50 名)  
服部 保, 2007. 2, 「講演 次世代へつなぐ森づくりとは〜どう  
するこれからの森の育成活動〜」, 講師, 街中の森づくりセミ  
ナー, 塚千年の森クラブ. (40 名)  
服部 保, 2007. 2, 「講演 植生と文化 万葉集の植物群落」, 講  
師, 人と植物コース⑩, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)  
服部 保, 2007. 3, 「講演 六甲・摩耶学セミナー」, 講師, 神戸  
新聞総合出版センター. (300 名)  
服部 保, 2007. 3, 「実習 園芸植物の植栽」, 講師, 森の楽校,  
国土交通省阪神国道事務所. (30 名)  
服部 保, 2007. 3, 「講演 タマムシのとぶ森づくりとは?」, 講  
師, 猪名川自然林サポータークラブ, 尼崎市. (50 名)  
服部 保, 2007. 3, 「講演 一庫ダム周辺の自然とエドヒガン」,  
講師, 第 3 回明湖周辺エドヒガン植樹会, 一庫ダム管理所.  
(120 名)  
服部 保, 2007. 3, 「講演 六甲山の樹林整備」, 講師, 六甲山の  
緑の歴史と樹林整備手法について, 国土交通省六甲砂防事務所.  
(200 名)  
服部 保, 2007. 3, 「講演 日本の里山について」, 講師, 里地里  
山保全再生モデル事業 地域戦略策定懇談会, 環境省, 人と自  
然の博物館. (50 名)

## 非常勤講師

- 2006.5.15 人と自然の共生(分担講義), 兵庫県立大学.  
2006.9.27,28 共生生物学(分担講義), 兵庫県立大学.  
2007.2.21 環境教育2クラス(分担講義), 関西学院大学.

## ■学校教育支援

### 学校団体対応等

- 2006.10, 武庫川女子大学附属高校1年生.(41名)  
2006.11, 三田市立けやき台小学校5年生.(107名)  
2006.11, 西宮市立北六甲台小学校3年生.(60名)  
2006.11, 神戸市立有野台小学校5,6年生.(60名)  
2007.1, 兵庫県立福崎高等学校2年生.(39名)  
2007.1, 国立鈴鹿工業高等専門学校5年生.(20名)

## ■展示

### ミニ企画展等

- 2006.4.29-5.7, 臨時展示「かしわもちとちまき」(責任者).

## 2. シンクタンク事業

### ■受託研究

- 「平成18年度オグラコホネ等管理業務委託」. 兵庫県丹波県民局.  
研究代表者(250万円)  
「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」. 三田市.  
研究代表者(100万円)  
「造成工事等の植生に関する研究」. 猪名川上流広域ごみ処理施設  
組合. 研究代表者(190万円)  
「平成18年度生態系総合管理基盤情報整備里地里山検討業務」環  
境省. 研究代表者(98.5万円)  
「阪神北地域の里山林に関する調査」. 兵庫県阪神北県民局. 研究  
代表者(189万円)  
「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」. 兵  
庫県神戸県民局. 研究代表者(250万円)  
「尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局.  
研究代表者(110万円)  
「武庫川ダム貴重植物の育成管理業務」. 財団法人ひょうご環境創  
造協会. 研究代表者(40万円)

### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 10回, 50名.

### ■行政等支援

#### 委員会等 (計52件)

- 1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査, アドバイザー, 国土  
交通省近畿地方整備局.  
1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査, アドバイザー, (独)水  
資源機構.  
1994.5-2007.3 猪名川総合開発事業余野川ダム環境調査検討委  
員会, 委員, 国土交通省猪名川総合開発工事事務所.  
1995.8- 自然環境アドバイザー, アドバイザー, 国土交通省近  
畿地方整備局.  
1996.5- 宝塚市環境審議会, 委員, 宝塚市.  
1996.7- 兵庫県緑化推進協会運営協議会, 委員, (社)兵庫県緑  
化推進協会.  
1996.10- 宝塚市文化財審議会, 委員, 宝塚市.  
1997.9- 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県県民生活部.  
1999.4- 岬町多奈川地区多目的公園計画に係わる土砂採取事業  
環境監視データ解析検討委員会, 委員, (財)関西空港調査会.  
1998.8- 環境アドバイザー, アドバイザー, (財)ひょうご環境  
創造協会.  
2000.10- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北  
県民局.  
2001.2- 宝塚市環境影響評価専門委員会, 委員, 宝塚市.  
2001.9- 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる近畿ブロッ  
ク調査会議, 委員, 環境省.  
2002.1- 林田川水環境緊急改善推進協議会, 専門委員, 国土交  
通省姫路河川国道事務所.  
2002.2- 中山荘園古墳整備委員会, 委員, 宝塚市.  
2002.3- ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財)丹波の森協  
会.  
2002.7- 玄武洞公園整備事業検討会, 委員, 豊岡市.  
2002.12- 兵庫県環境審議会, 特別委員, 兵庫県.  
2003.1- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県但  
馬県民局.  
2003.3-2007.3 円山川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方

## 整備局.

- 2003.3- ゆめさきの森公園運営協議会, 委員, ゆめさきの森公  
園運営協議会.  
2003.3- 一庫ダム水源地域ビジョン策定協議会委員会, 委員,  
(独)水資源機構.  
2003.9- 里山再生推進モデル事業検討委員会, 委員長, 近畿中  
国森林管理局.  
2003.12- 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会, 調査委員,  
文部科学省.  
2004.1- 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省猪名川河川  
事務所.  
2004.3- 神戸地区稀少植物等の保全対策検討会, 委員, 日本緑  
化センター.  
2004.11- 国営明石海峡公園 公園事業座談会, 委員, (社)日  
本公園緑地協会.  
2004.11- 北摂地域里地里山保全再生モデル事業懇談会, 専門委  
員, (財)自然環境研究センター.  
2004.12-2007.3 六甲山自然保護センター運営協議会, 会長, 兵  
庫県神戸県民局.  
2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員長, 兵庫県  
阪神南県民局.  
2005.4- 中山荘園古墳整備委員会, 委員, 宝塚市教育委員会.  
2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業, 景観アドバイザー,  
国土交通省六甲砂防事務所.  
2005.4-2007.3 近畿地方整備局景観アドバイザー, アドバイザ  
ー, 国土交通省近畿地方整備局.  
2005.5- 宝塚西谷地区湿原群研究協議会, 委員長, 兵庫県阪神  
北県民局.  
2005.6-2007.6 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会,  
委員, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.  
2005.6- 慶野松原保存管理計画策定委員会, 委員長, 南あわじ  
市.  
2005.7- 近畿地方整備局事業評価監視委員会, 委員, 国土交通  
省近畿地方整備局.  
2005.9- 里山管理ガイドライン市民懇話会, 座長, NPO山麓委員  
会.  
2005.12- 六甲山系グリーンベルト整備事業景観アセスメント  
手法検討会, 委員, 国土交通省六甲砂防事務所.  
2006.2- 生態系保全対策検討委員会, 委員, 兵庫県自然環境保  
全課.  
2006.4- 三田市新環境基本計画検討委員会, 委員, 三田市.  
2006.6-2008.6 琵琶湖・淀川流域圏再生推進会議, 委員, 国土  
交通省近畿地方整備局.  
2006.6-2007.3 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」, アド  
バイザー, 兵庫県西播磨県民局.  
2006.7-2007.3 六甲山系里山研究会, 委員, 兵庫県神戸県民局.  
2006.7-2009.3 昆陽池再生推進委員会, 委員長, 伊丹市.  
2006.7- 史跡篠山城跡南堀に自生するハスの調査, アドバイザ  
ー, 篠山市教育委員会.  
2006.7- 緑の国土軸形成に向けた実践対策調査に関する協力,  
アドバイザー, 日本海沿岸地帯振興連盟.  
2006.8-2007.3 郷土の広葉樹種苗安定供給体制整備検討委員会,  
委員, 兵庫県農林水産部.  
2006.8- 平成18年度里山まつり実行委員会, アドバイザー, 兵  
庫県宝塚農林振興事務所.  
2006.11-2008.3 吹上海岸(吹上浜)環境再生検討委員会, 委員,  
兵庫県淡路県民局.  
2006.11-2007.3 里山ふれあい森づくり及び里山林等整備事業,  
アドバイザー, (社)兵庫みどり公社.  
2007.1- 野生動物育成林整備にかかる指導・助言, アドバイザ  
ー, 兵庫県農林水産部.

### 相談・指導助言

来訪者175件, 電話・FAX相談100件, メール相談60件.

## 石田 弘明, Hiroaki ISHIDA

植生創出研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源  
研究部門 講師.

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科  
修士課程修了. 農学博士(東京農工大学). 日本生  
態学会, 植生学会, 植物地理・分類学会, 造園学会所属.



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

#### 2. 研究開発部門

2006年2月1日から2007年1月31日にかけて, マレーシア国立サバ  
大学との国際交流事業の一環としてサバ大学に滞在し, JICAの「ボ  
ルネオ島生物多様性・生態系保全プログラム」への協力を行った.

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. 照葉樹林, ブナ林, 里山林の生物多様性と其の保全・復元に關  
する研究
2. 絶滅危惧植物の保全に関する研究

##### ■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための生態学的基盤研究」, 研究  
分担者.

##### ■その他著作

石田弘明(2006)小面積が孤立照葉樹林の種多様性に及ぼす影響  
—異なる空間スケールの種多様性と樹林面積の関係. 植生情報,  
10, 30-34.

石田弘明(2006)森をまもるための研究. ハーモニー, 53, 7.

Hiroaki Ishida, Hibiki Takahira-Ishida, Idris Mohd. Said and  
Rimi Repin (eds.) (2006) Manual for Permanent Research Plot  
in Crocker Range Park. BBEC Publication No. 63, pp. 53,  
Universiti Malaysia Sabah/JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

◎栃本大介・服部 保・武田義明・澤田佳宏・石田弘明・福井 聡  
(2007)六甲山に生育するブナの分布位置と個体サイズ. 人と自  
然, 17, 79-84.

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小館誓治・鈴木 武  
(2006)武庫川流域に残る2つの湿原. 武庫川散歩, 53-60.

##### ■研究発表

Idris Mohd. Said, Rimi Repin and Hiroaki Ishida (2006) Permanent  
Research Plot Project in Sabah. Crocker Range Park Permanent  
Research Plot Seminar, Universiti Malaysia Sabah, Kota  
Kinabalu.

石田弘明(2007)照葉樹林の種多様性評価に必要な視点. 第54回  
日本生態学会大会, 愛媛大学, 松山市.

##### ■学会役員など

植生学会, 庶務幹事.

植生学会, 表彰委員.

論文査読, 日本緑化工学会(9月).

##### ■助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対  
策. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)研究分担者  
(分担金なし/総額80万円).

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比し  
て—. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B), 研究分担  
者(分担金なし/総額832万円).

兵庫県および国内におけるタケ類天狗栗病の蔓延による竹林の荒  
廃に関する緊急調査. 平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助  
成金, 研究分担者(分担金なし/総額130万円).

##### ■受賞

奨励賞, 植生学会.

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2007.2-2007.3 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集. 三  
田市, 川西市, 篠山市, 鹿児島県.

##### ■整理同定担当資料

植物・植生映像資料.

種子標本.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

##### 館主催セミナー

石田弘明, 2006.7, 「ボルネオジャングル体験スクール」, マレー  
シア. (18名)

##### 館外講演

Hiroaki Ishida, 2006.6, Study trip to Lambir Hills National  
Park, Sarawak to gain knowledge on the permanent research  
plot project. BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.  
(8 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.6, Characteristics of vegetation in  
Crocker Range Park. Lecture, Soil survey workshop. BBEC  
Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (12 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.7, First workshop for establishment of  
permanent research plot at Mt. Alab. BBEC Programme, JICA,  
Kota Kinabalu, Malaysia. (15 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.7, Ecological methods for forest  
research. Lecture, EMCB Course, BBEC Programme, JICA, Kota  
Kinabalu, Malaysia. (20 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.7, Methods of data analysis of tree  
census. Lecture, EMCB Course, BBEC Programme, JICA, Kota  
Kinabalu, Malaysia. (20 persons)

Akira Takahashi and Hiroaki Ishida, 2006.8, Workshop for  
monitoring and maintenance of permanent research plot in  
Crocker Range Park. (16 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.8, Second workshop for establishment  
of permanent research plot at Mt. Alab. BBEC Programme, JICA,  
Kota Kinabalu, Malaysia. (13 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.10, Workshop for establishment of  
permanent research plot at Ulu Senangang. BBEC Programme,  
JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (18 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.11, Crocker Range Park Permanent  
Research Plot Seminar. BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu,  
Malaysia. (80 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.12, Workshop for establishment of  
permanent research plot at Ulu Kimanis. BBEC Programme,  
JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (17 persons)

Hiroaki Ishida, 2007.1, A proposal on activities following  
BBEC Programme Phase 1. Lecture, Steering committee of the  
Crocker Range Park Permanent Research Plot Project, BBEC  
Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (8 persons)

石田弘明, 2007.3, 「BBECプログラムの活動とその成果」, 講  
師, 国際協力公開シンポジウム(ボルネオ島での生物多様性保  
全の経験と今後必要な取り組み), JICA, JICA 国際協力総合研  
修所. (110名)

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」. 三田市.  
研究分担者(100万円)

##### ■行政等支援

##### 相談・指導助言

メール相談4件.

#### 3. 特別プロジェクト

##### サバ・プロジェクト

JICA 国際協力事業「ボルネオ島生物多様性・生態系保全プログラム」  
の保全生物学専門家として, マレーシア国立サバ大学熱帯生物  
学・保全研究所に1年間滞在(2006.2.1から2007.1.31).

## 小館 誓治, Seiji KODATE

植生創出研究グループ/生涯学習推進室  
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源  
研究部門 助手.

昭和37年福岡県立 神戸大学大学院自然科学研究  
科博士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 森林  
立地学会, 植生学会, 日本ペドロロジー学会等所属.



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ  
リーダー, 学校等との連携に関するプログラムの開発

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

##### ■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態  
学的研究」, 研究分担者.

##### ■その他著作

- ◎小館誓治・福井 聡・武田義明(2006) 再度山永久植生保存地  
における植生遷移と土壌理化学性(第7回)。「再度山永久植生保存  
地調査報告書(第7回)」, 神戸市建設局公園砂防部報告書, 68-89.
- ◎小館誓治(2006) 武庫川上流域における「あるアカマツ林」での  
出来事. 江崎保男(編)。「武庫川散歩」, 61-68.
- 小館誓治(2006) 博物館情報 兵庫県立人と自然の博物館. 国立科  
学博物館ニュース 第446号:30.
- ◎武田義明・大野百合子・山田聖士・福井 聡・小館誓治(2006)  
再度山永久植生保存区における植物群落の遷移に関する研究 VI,  
「再度山永久植生保存地調査報告書(第7回)」, 神戸市建設局公  
園砂防部報告書, 3-67.
- ◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小館誓治・鈴木 武  
(2006) 武庫川流域に残る2つの湿原. 江崎保男(編)「武庫川  
散歩」, 53-60.
- 小館誓治・布施静香(2007) ひとつはくブック 深田公園での植物観  
察. ひとつはく子ども教室事業推進委員会, 20p.
- 小館誓治・布施静香(2007) 小さな子どもの生き物教室 子どもの  
遊び場学びの場—植物編—. ひとつはく子ども教室事業推進委員会,  
20p.

##### ■研究発表

福井 聡・武田義明・小館誓治・高橋敬三(2006) 神戸市再度山永  
久植生保存地におけるマツ林の遷移. 植生学会第11回大会, 信  
州大学松本キャンパス, 松本市.

##### ■学会役員など

植生学会, 庶務幹事および表彰委員代行.

##### ■助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対  
策. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者  
(分担金なし/総額80万円).

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2006.4-2007.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収集. 三  
田市, 神戸市など.

##### ■整理同定担当資料

土壌断面映像資料.

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

- 小館誓治, 2006.5, 「植物観察 ~植物・植生の調べ方(初級)  
~」, 博物館・深田公園. (22名)
- 小館誓治, 2006.5, 「六甲山「森の植物」観察会(春)」, 六甲山.  
(21名)
- 小館誓治, 2006.6, 「草本群落の調べ方 ~植物・植生の調べ方  
(中級)~」, 博物館・深田公園. (18名)

小館誓治, 2006.6-12, レッツ・チャレンジ自然環境調査入門「身  
近な環境を調査しよう ~里山を調べる~(全2回)」, 祥雲館  
高等学校. (全2回, 79名)

小館誓治, 2006.9-10, 「森林植生の調べ方 ~植物・植生の調べ  
方(上級)~」, 有馬富士公園・有馬富士自然学習センター. (全  
2回, 25名)

小館誓治, 2006.11, 「六甲山「森の植物」観察会(秋)」, 六甲山.  
(32名)

##### 館外講演

小館誓治, 2006.7, 「人間の活動と植生の変遷」, 丹波の森リー  
講義, 講師, 丹波の森公苑. (33名)

##### ■キャラバン事業

###### 主担当

2007.3 北播磨地区「ひとつはくキャラバン in 小野」

##### ■ミニキャラバン事業

2006.4 有馬富士フェスティバル・ひとつはくミニキャラバン 自  
然観察会講師(植物). (24名)

2006.10 有馬富士フェスティバル・ひとつはくミニキャラバン  
自然観察会講師(植物). (6名)

##### ■地域研究員養成事業

###### セミナー

2007.2 北播磨地域 指導員の役割について(北播磨市民活動支  
援センター, 講師)

##### ■学校教育支援

###### 学校団体対応

2006.4 神戸中華同文学校5・6年生. (162名)

2006.5 北摂第一幼稚園年長組. (70名)

2006.5 県立宝塚北高等学校1年生. (20名)

2006.5 大阪府立住吉高等学校1年生. (31名)

2006.6 北摂第一幼稚園年長組. (77名)

2006.7 神戸大学農学部植物資源学科3年生. (28名)

2006.7 芦屋市立山手小学校5年生. (37名)

2006.8 兵庫教育大学 初任者. (11名)

2006.8 西宮市教委理科研修. (22名)

2006.8 京都市立嘉楽中学校2・3年生. (10名)

2006.9 宝塚市立宝梅中学校1年生. (30名)

2006.11 北摂第一幼稚園年長組. (75名)

2006.12 県立有馬高校1年生. (37名)

2007.2 北摂第一幼稚園年長組. (81名)

###### 講師派遣

2006.5 「里山を知る前に木を知る」, 県立祥雲館高等学校1年生.  
(320名)

2006.5 「里山実習『里山景観をみる』」, 県立祥雲館高等学校1年  
生. (320名)

2006.10 「校庭の樹木図鑑づくり」, 神戸市中学校研究会理科部会.  
(26名)

2007.2 神戸市立糺台小学校5年生. (76名)

2007.2 西宮市立山口小学校4年生. (90名)

##### ■研修生等の受入

###### 博物館実習

2007.8.21-8.25 神戸芸術工科大学 学部学生1名.

##### ■フェスティバル等

2006.11 ひとつはくフェスティバル, 「ひとつはく採れ取れビンゴ(植  
物)」(責任者).

2006.11 深田公園探検隊「ドングリともみじ」, 深田公園・人と自  
然の博物館. (12名)

#### 2. シンクタンク事業

##### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム案内, 4回, 82名.

生物系収蔵庫等案内, 2回, 25名.

##### ■行政等支援

###### 相談・指導助言

電話・FAX相談10件.

## 橋本 佳延, Yoshinobu HASHIMOTO

植生創出研究グループ/企画調整室  
研究員

昭和51年愛知県生 神戸大学大学院総合人間科学  
研究科修士課程修了。学術修士。日本生態学会、植  
生学会、環境教育学会、造園学会等所属。



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティングおよびマネジメント部門企画調整室企画調整グループ  
マーケティングマネージャー、月例報告会運営、事業推進会議書記、  
中期目標とりまとめ、館報編集
2. 研究開発部門  
資料担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. 国内の竹林におけるタケ類天狗巣病の蔓延状況に関する研究
2. 里山の生物多様性保全に関する研究
3. 外来植物の生態に関する研究

##### ■共同研究

総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来」、  
研究分担者。  
部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態  
学的研究」、研究分担者。

##### ■其他著作

- ◎橋本佳延・赤松弘治・丹羽英之(2007)兵庫県の主要水系にお  
ける外来植物の分布。人と自然, No. 17, 117-135.
- ◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小籠誓治・鈴木 武  
(2006)武庫川流域に残る2つの湿原。武庫川散歩, 53-60.

##### ■研究発表

橋本佳延・服部 保(2006)東北地方におけるタケ類天狗巣病によ  
る竹林枯死の現状。植生学会第11回大会, 信州大学, 松本市。  
橋本佳延(2007)外来樹木の侵入と分布拡大による問題。第54回日  
本生態学会, 愛媛大学, 松山市。  
高野温子・布施静香・橋本佳延・坂田宏志・三橋弘宗(2007)六甲  
山のブナはどこから来たか?兵庫県産ブナ(*Fagus crenata*)の遺  
伝型解析。日本植物分類学会第6回大会。新潟大学, 新潟市。  
橋本佳延(2007)外来樹木の侵入と分布拡大による問題。第54回日  
本生態学会愛媛大会 自由集会「外来植物の侵入実態と生態系に  
及ぼす影響～外来植物対策をめぐる課題～」, 松山市

##### ■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比し  
て—。文部科学省科学研究費基盤研究(B) 海外学術調査, 研究  
分担者(分担金なし/総額832万円)。  
兵庫県および国内におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林の荒  
廃に関する緊急調査。平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助  
成金, 研究分担者(分担金なし/総額130万円)。

##### ■海外調査

- 2006.8 中華人民共和国・福建省
- 2006.12 中華人民共和国・雲南省

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2006.4-2007.3 里山における植物および植生景観の映像資料収集  
(芦屋市, 三田市, 川西市神戸市, 新温泉町, 宮城県, 長野県,  
静岡県, 大阪府, 岡山県, 広島県, 島根県, 愛媛県, 香川県, 高  
知県, 徳島県, 熊本県, 佐賀県, 鹿児島県, 宮崎県)。  
2006.8-2007.2 照葉樹林における植物および植生景観の映像資料  
収集(中華人民共和国福建省・雲南省, 沖縄県西表島)。

##### ■整理同定担当資料

里山・河川映像資料。

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

橋本佳延, 2006.4, 「早春の里山を観察しよう!～日本一の里山、  
北摂地域の春～」, 能勢妙見山。(24名)

橋本佳延, 2006.4, 「春の六甲山ハイキング」, 六甲山。(21  
名)

橋本佳延, 2006.6, 「竹林の現状と問題点」, 博物館。(19名)

三村起一・荒谷邦雄・田中哲夫・坂田宏志・橋本佳延・岩槻邦男,  
2006.9, 企画展関連シンポジウム「どうする!?兵庫の外来生  
物」, 博物館。(168名)

橋本佳延, 2006.11, 「秋の六甲山ハイキング」, 六甲山。(5名)

橋本佳延・坂田宏志・外山万由・スティーブ・ブラウン, 2006.12  
「徹底解説!外来生物～動物・植物の現状・そして社会的課題  
にせまる～」, 博物館。(35名)

高橋 晃・高野温子・布施静香・橋本佳延・三枝春生・加藤茂弘,  
2007.2, 「私たちの新発見～ひとはく研究員海外調査報告会  
～」, 人と自然の博物館。(15名)

##### 館外講演

橋本佳延, 2007.1, 「生物多様性の保全をめざした里山管理」, 阪  
神北摂民局, 講師, 黒川公民館。(24名)

##### 非常勤講師

2007.2.21 環境教育2クラス(分担講義), 「里山保全の手法・  
実践例」, 関西学院大学。(67名)

##### ■キャラバン事業

###### 展示作成

- 2007.3 阪神南地域 「どれが外来植物?」
- 2007.3 北播磨地域 「どれが外来植物?」

##### ■学校教育支援

###### トライやるウィーク

2006.5.30-6.2, 八景中学校2名, 富士中学校1名。

##### ■フェスティバル等

2006.9 深田公園探検隊「お月見の花」(講師)。  
2006.11 ひとはくフェスティバル, 「すごろくで学ぼう!博物館  
のおしごと!」(責任者)。

##### ■展示

###### 企画展

2006.7.8-2006.9.24, 企画展「兵庫の外来生物」(分担者)。

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

企業研修「リコー親子自然教室 in 兵庫ひとはく」。株式会社リコ  
ー。研究代表者(20万円)  
「阪神北地域の里山林に関する調査」。兵庫県阪神北摂民局。研分  
担表者(189万円)  
「造成工事等の植生に関する研究」。猪名川上流広域ごみ処理施設  
組合。研究分担者(190万円)  
「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」。三田市。  
研究分担者(100万円)  
「平成18年度生態系総合管理基盤情報整備里地里山検討業務」環  
境省。研究分担者(98.5万円)  
「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」。兵  
庫県神戸民局。研究分担者(250万円)

##### ■自然環境情報調査

「兵庫県下におけるタケ類天狗巣病の蔓延状況調査」。兵庫県(委  
託先:株式会社里と水辺研究所)。

##### ■行政等支援

###### 委員会等(計1件)

2006.11-2007.3.平成18年度 里山ふれあいの森づくり(ミニ  
里山公園型)アドバイザー, 社団法人兵庫みどり公社。

###### 相談・指導助言

来訪者3件, 3名。電話・FAX相談5件, メール相談3件。

## 鈴木 武 Takeshi SUZUKI

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室  
研究員

兵庫県立大学自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助手。

昭和37年千葉県生まれ。東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学。理学博士。日本植物学会、日本植物分類学会、種生物学会等所属。



### <事業部での配属もしくは研究開発部門での仕事>

#### 1. 事業推進部門 生涯学習推進室

シンクタンク活動支援グループ 情報活用マネージャー、自然環境情報とりまとめ、情報貸出とりまとめ

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究（個人研究）

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究
2. 野生植物の集団構造に関する考察

##### ■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」、研究分担者。

##### ■その他著作

小山博滋・鈴木武（2006）キク科タンポポ属。福岡誠行他（編）：兵庫県産維管束植物8，人と自然，No. 17，185-186。

##### ■研究発表

鈴木武（2006）水生シダ植物オオアカウキクサ類での在来種と外来種の現状。種生物学会第38回シンポジウム，奥琵琶湖マキノパークホテル

大槻涼・篠原渉・鈴木武・村上哲明（2007）無配生殖をするヤブソテツ類の分子分類。日本分類学会第6回大会，新潟市。

##### ■学会役員など

日本植物分類学会，図書幹事。  
兵庫植物同好会，会計。

##### ■助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対策。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C），研究分担者（分担金なし／総額80万円）。

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B），研究分担者（分担金なし／総額832万円）。

##### ■海外調査

2006.8 中華人民共和国・福建省

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2006.4-7 企画展関連資料の収集（ボタンウキクサなど）。明石市，京都府など。

2006.6-2007.3 アカウキクサ属植物の収集。たつの市、南あわじ市、豊岡市など。

##### ■整理同定担当資料

シダ植物

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

鈴木武，2006.4 「芦屋のタンポポを見る」，芦屋市立美術博物館周辺。（17名）

鈴木武，2006.4 「但馬のタンポポを見る1」，竹野スノーケルセンター・ビジターセンター。（20名）

鈴木武，2006.4 「但馬のタンポポを見る2」，上山高原エコミュージアム周辺。（18名）

鈴木武，2006.5 「綾部のタンポポを見る」，綾部市立天文館パオ周辺。（16名）

鈴木武，2006.5 「宮津のタンポポを見る」，宮津市中央公民館周辺。（8名）

鈴木武，2006.5 「宝塚のシダを見る」，宝塚市山本〜最明寺滝。（24名）

鈴木武，2006.6 「宝塚のシダを見る追加版」，宝塚市山本〜最明寺滝。（20名）

鈴木武，2006.9 「雪彦山のシダを見る」，雪彦山周辺。（24名）

鈴木武，2006.10 「甲山のシダを見る」，甲山森林公園。（22名）

鈴木武，2006.11 「甲山のシダを見る追加版」，甲山森林公園。（19名）

##### 館外講演

鈴木武，2006.4，「兵庫県のタンポポ」，三木自然愛好研究会総会，講師，三木市立図書館。（100名）

鈴木武，2006.4，「豊岡藩の押し花」，特別講演会，講師，豊岡市立図書館。（80名）

鈴木武，2006.6，「兵庫県のタンポポ」，ひょうご講座，講師，神戸学習プラザ。（80名）

鈴木武，2006.6，「兵庫県のシダ植物」，阪神シニアカレッジ，講師，宝塚市ソリオ。（80名）

鈴木武，2006.6，「丹波市山南町のシダ植物」，青垣いきものふれあいの郷野外観察会，講師，丹波市山南町。（10名）

鈴木武，2006.11，「丹波の貴重な植物」，丹波の森公苑講座，講師，丹波の森公苑。（60名）

鈴木武，2006.11，「丹波市市島町のシダ植物」，青垣いきものふれあいの郷野外観察会，講師，丹波市市島町。（15名）

鈴木武，2006.12，「六甲山のシダ植物と生き物」，西宮市自然保護協会総会，講師，西宮市中央図書館。（80名）

鈴木武，2006.12，「豊岡藩の押し花」，兵庫県立大学 自然環境科学研究所公開セミナー，講師，コウノトリの郷公園。（80名）

##### 非常勤講師

2006.5 「人と自然の共生」，兵庫県立大学。

##### ■キャラバン事業

###### 主担当

2006.10 神戸地区 テーマ「六甲山の人と自然」

###### 展示作成

2006.5 神戸地区 六甲山のミスズミとギョリキマイマイ

2007.3 北播磨地域 外来オオアカウキクサ類

###### セミナー担当

2007.3 北播磨地域 兵庫県の外来生物（講師）

##### ■地域研究員養成事業

###### セミナー

2006.11 神戸地域 「昭和初期の六甲山を探る」（神戸市灘区六甲山町，講師）。

##### ■学校教育支援

###### トライやるウィーク

2002.5.30，八景中学校2名，富士中学校1名。

###### 学校団体対応

2006.4，宝塚市立すみれが丘小学校4年生。（120名）

2006.9，徳島県立農業大学校。（20名）

###### 講師派遣

2006.5 「但馬のタンポポ」香美町立小代中学校3年生。（10名）

2006.11 「六甲山の生き物」神戸市立六甲アイランド高校2年生。（50人）

2007.1 「環境教育と生き物」加東市東条地区教員研修会。（50人）

##### ■展示

###### 企画展

2006.7.8-9.24，企画展「兵庫の外来生物」（責任者）。

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

「六甲山を舞台とした市民活動に関する調査研究」。神戸県民局，研究代表者（200万円）

##### ■行政等支援

###### 委員会等（計1件）

2006.4-10 六甲有馬摩耶エコフェスタ実行委員会，委員。

###### 相談・指導助言

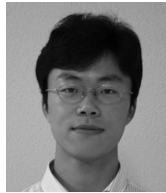
来訪者10件，12名。電話・FAX相談40件，メール相談10件。

## 黒田 有寿茂, Asumo KURODA

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室  
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源  
研究部門 助手

昭和53年愛知県生 広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。日本生態学会、植生学会、日本蘚苔類学会等所属。



### <事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室 シンクタンク活動支援グループ  
ジーンバンク活用担当
2. 研究開発部門  
研究担当

### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究(個人研究)

1. 里山林の生物多様性保全に関する研究
2. 希少植物の種生態に関する研究

##### ■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための生態学的基盤研究」, 研究分担者。

##### ■論文・著書

Kuroda, A., Ikeda, S., Mukai, S. and Toyohara, G. (2006) Successive mapping of secondary pine forests affected by pine wilt disease and subsequent forest management in Miyajima Island, SW Japan. *Phytocoenologia*, 36, 191-212.

Kuroda, A., Mukai, S. and Toyohara, G. (2006) Floristic composition and community structure of dense undergrowth vegetation formed by evergreen perennial ferns, *Dicranopteris linearis* and *Gleichenia japonica*. *Vegetation Science*, 23, 25-36.

Tsubota, H., Kuroda, A., Masuzaki, H., Nakahara, M. and Deguchi, H. (2006) A preliminary study on allelopathic activity of bryophytes under laboratory conditions using the sandwich method. *Journal of the Hattori Botanical Laboratory*, 100, 517-525.

服部 保・南山典子・澤田佳宏・黒田有寿茂 (2007) かしわもちとちまきを包む植物に関する植生学的研究。人と自然, No. 17, 1-11.

##### ■その他著作

黒田有寿茂 (2006) 野生植物の多様性を守る。ハーモニー, 54, 5.

##### ■研究発表

黒田有寿茂・澤田佳宏・服部 保 (2006) 斜面工法の異なる植栽林の下層植生における組成および種数の比較。植生学会第11回大会, 信州大学, 松本市。

澤田佳宏・松村俊和・黒田有寿茂・服部 保 (2006) スキー場は草原植物の避難場所として機能するか?—兵庫県但馬地方におけるスキー場植生の種組成—。植生学会第11回大会, 信州大学, 松本市。

岡本健志・黒田有寿茂・向井誠二・中原美保・坪田博美・出口博則 (2006) コケ植物のアレロパシー活性について。第35回日本蘚苔類学会, 南九州大学, 宮崎県児湯郡高鍋町。

##### ■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(BE), 研究分担者(分担金なし/総額832万円)。

兵庫県および国内におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査。平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究分担者(分担金なし/総額130万円)。

##### ■海外調査

2006.8 中華人民共和国・福建省

2006.12 中華人民共和国・雲南省

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2006.4-2007.3 植物および植生の映像資料収集。三田市, 神戸市, 川西市, 北海道, 高知県, 山梨県, 長野県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県。

##### ■整理同定担当資料

ジーンファーム生育植物

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

###### 館外講演

2006.10, 「講演 クヌギ林伐採後の植生と吉川八幡神社の照葉樹林の比較」, 講師, 施設ネットワーク事業「六甲・三田・一庫環境学習セミナー」(財)ひょうご環境創造協会, (30名)

2006.11, 「実習 里山」, 講師補助, ずっと地球と生きる学校プロジェクト, 読売新聞・有野台小学校5・6年生, (60名)

2006.12, 「講演 絶滅危惧種の保全活動—意義と課題—」, 講師, 兵庫県高等学校教育研究会, 人と自然の博物館, (50名)

##### 非常勤講師

2006.9 共生生物学(分担講義), 兵庫県立大学。

##### ■地域研究員養成事業

###### 成果発表

2007.2 共生のひろば 運営担当

##### ■学校教育支援

###### トライやるウィーク

2006.6.2 八景中学校2名・富士中学校1名。

2006.6.15 啓明学院中学校1名。

###### 学校団体対応

2006.6 神戸大学学生, (9名)

2006.8 姫路飾西高校学生, (15名)

##### ■フェスティバル等

2006.11 ひとつはくフェスティバル, 「ひとつはく採れ取れビンゴ(植物)」(分担者)。

##### ■展示

###### ミニ企画等

2006.4.29-5.7 臨時展示「かしわもちとちまき」(分担者)。

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

「阪神北地域の里山林に関する調査」, 兵庫県阪神北県民局, 研究分担者(189万円)

「造成工事等の植生に関する研究」, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合, 研究分担者(190万円)

「尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」, 兵庫県阪神南県民局, 研究分担者(110万円)

「武庫川ダム貴重植物の育成管理業務」, 財団法人ひょうご環境創造協会, 研究分担者(40万円)

「平成18年度オグラコウホネ等管理業務委託」, 兵庫県丹波県民局, 研究分担者(250万円)

「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」, 三田市, 研究分担者(100万円)

「平成18年度生態系総合管理基盤情報整備里地里山検討業務」, 環境省, 研究分担者(98.5万円)

「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」, 兵庫県神戸県民局, 研究分担者(250万円)

##### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 12回, 146名。

##### ■行政等支援

###### 委員会等(計1件)

2006.11-2007.3 平成18年度里山ふれあい森づくり(ミニ里山公園型), アドバイザー, (社)兵庫みどり公社

###### 相談・指導助言

来訪者2件, 4名。電話・FAX相談5件, メール相談2件。

## 藤井 俊夫, Toshio FUJII

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和39年香川県生。大阪市立大学大学院理学研究科修士課程修了。理学修士。日本生態学会, 日本植物分類学会等所属。





## 澤田 佳宏, Yoshihiro SAWADA

生物多様性保全研究グループ

研究員

昭和 44 年兵庫県生 岐阜大学大学院連合農学研  
究科博士課程修了。博士（農学）。植生学会、日  
本生態学会、漂着物学会等所属。



### <研究開発>

#### 1. 調査研究

##### ■特別課題研究（個人研究）

1. 海岸植生の保全に関する研究
2. 草原植生の多様性と人間活動に関する研究
3. 外来種が山火事跡地の植生回復に及ぼす影響の研究

##### ■共同研究

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者。

##### ■論文・著書

澤田佳宏・服部保・内田圭 (2006) 国版および地方版レッドデータブックから見た日本の海岸植物の絶滅危惧の現状—本州・四国・九州における状況。環境情報科学論文集, No. 20, 71-76.

服部保・南山典子・澤田佳宏・黒田有寿茂 (2007) かしわもちとちまきを包む植物に関する植生学的研究。人と自然, No. 17, 1-11.

##### ■その他著作

澤田佳宏 (2007) 海水に運ばれるタネ, 10-12, 「波打ち際の自然史」, きしわだ自然資料館, 岸和田市。

澤田佳宏・中西弘樹・押田佳子・服部保 (2007) 日本の海岸植物チェックリスト。人と自然, No. 17, 85-101.

栃本大介・服部保・武田義明・澤田佳宏・石田弘明・福井聡 (2007) 六甲山に生育するブナの分布位置と個体サイズ。人と自然, No. 17, 79-84.

##### ■研究発表

澤田佳宏・松村俊和・黒田有寿茂・服部保 (2006) スキー場は草原生植物の避難場所として機能するか—兵庫県但馬地方におけるスキー場植生の種組成。植生学会第 11 回大会, 信州大学, 松本市。

黒田有寿茂・澤田佳宏・服部保 (2006) 斜面工法の異なる植栽林の下層植生における組成および種数の比較。植生学会第 11 回大会, 信州大学, 松本市。

澤田佳宏 (2007) 海浜植物 14 種の埋土 3 年後の発芽能力。第 54 回日本生態学会松山大会, 愛媛大学, 松山市。

澤田佳宏 (2007) 自由集会「外来植物の侵入実態と生態系に及ぼす影響—外来植物対策をめぐる課題—」, 口頭発表, 緑化植物 (牧草) の播種による問題。第 54 回日本生態学会松山大会, 愛媛大学, 松山市。

安立美奈子・稲富素子・八代裕一郎・菅尚子・根岸正弥・西脇愛・志津庸子・澤田佳宏・津田智・大塚俊之・米村正一郎・小泉博 (2007) 日本の 4 つの異なる生態系における土壌呼吸速度と温度依存性。第 54 回日本生態学会松山大会, 愛媛大学, 松山市。

##### ■学会役員など

2006. 8 漂着物学会 査読 1 報

2007. 3 第 54 回日本生態学会松山大会, ポスター賞審査委員。

##### ■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—。平成 18 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 海外学術調査, 研究分担者 (分担金なし/総額 832 万円)。

兵庫県および国内におけるタケ類天狗巢病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査。平成 18 年度 兵庫県立大学特別教育研究助成金。研究分担者 (分担金なし/総額 130 万円)。

##### ■海外調査

2006. 8. 中華人民共和国・福建省

2006. 12. 中華人民共和国・雲南省

#### 2. 資料収集・整理

##### ■資料収集

2006. 4-2007. 3 植物および植生景観の映像資料収集。兵庫県豊岡市・神戸市・三田市・尼崎市・南あわじ市, 北海道, 秋田県, 長野県, 大阪府, 鳥取県, 沖縄県。

##### ■整理同定担当資料

種子標本の整理

### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 館外講演

澤田佳宏, 2006. 10. 「都市山・六甲山の森林管理の考え方」講師, 六甲山系里山フォーラム, 兵庫県神戸県民局。 (50 名)

澤田佳宏, 2006. 11. 「大きく育ったクヌギ林と伐採したてのクヌギ林をくらべてみた」講師, 施設ネットワーク事業「六甲・三田・一庫 環境学習セミナー」, ひょうご環境創造協会。 (30 名)

澤田佳宏, 2006. 11. 1. 「実習 里山」, 講師補助, ずっと地球と生きる学校プロジェクト, 読売新聞・有野台小学校 5・6 年生。 (60 名)

##### ■学校教育支援

###### トライやるウィーク

2006. 5. 31, 八景中学校 2 名, 富士中学校 1 名

###### 学校団体対応

2006. 11. けやき台小学校 5 年生。 (約 35 名)

2007. 2. 神戸大学「博物館学講座」。 (22 名)

##### ■フェスティバル等

2006. 11. ひとくフェスティバル, 「すぐろくで学ぼう! 博物館のおしごと!」 (分担者)。

2006. 5. 深田公園うさぎ探検隊「おやつのはっぱ」・深田公園・人と自然の博物館。 (14 名)

##### ■展示

###### ミニ企画等

2006. 4. 29-5. 7, 臨時展示「かしわもちとちまき」 (分担者)。

#### 2. シンクタンク事業

##### ■受託研究

「阪神北地域の里山林に関する調査」。兵庫県阪神北県民局。研究分担者 (189 万円)

「造成工事等の植生に関する研究」。猪名川上流広域ごみ処理施設組合。研究分担者 (190 万円)

「尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」。兵庫県阪神南県民局。研究分担者 (110 万円)

「平成 18 年度自然環境調査補足業務 (経年変化調査)」。三田市。研究分担者 (100 万円)

「平成 18 年度生態系総合管理基盤情報整備里地里山検討業務」環境組合。研究分担者 (98.5 万円)

「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」。兵庫県神戸県民局。研究分担者 (250 万円)

##### ■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 1 回, 22 名。

##### ■行政等支援

###### 委員会等 (計 4 件)

2006. 6. 兵庫県におけるエコロジカルネットワーク勉強会, アドバイザー, 国交省国土計画局。

2006. 8-2007. 3 六甲山系里山研究会, アドバイザー, 兵庫県神戸県民局神戸農林水産振興事務所。

2006. 12-2007. 3 平成 18 年度里山ふれあい森づくり (ミニ里山公園型), アドバイザー, (社) 兵庫みどり公社。

2007. 3. 吹上海岸 (吹上浜) 環境再生検討委員会, 委員, 兵庫県淡路県民局洲本土改良事務所。

###### 相談・指導助言

来訪者 5 件, 13 名。電話・FAX 相談 4 件, メール相談 1 件。

## ○生涯学習推進室

### 長谷川 太一, Taichi HASEGAWA

生涯学習推進室

スクールパートナー推進グループ

ミュージアム・ティーチャー

昭和16年兵庫県生まれ。大阪府立大学農学部卒業。

元兵庫県立高等学校教員（生物担当）・元高校長



#### <事業推進>

##### 1. 生涯学習事業

###### ■セミナー

###### 館主催セミナー

- 長谷川太一・宮崎ひろ志・客野尚志, 2006. 6-9, 「身近な環境を調査しよう, 都市環境を調べる」, 博物館. (全2回, 33名)
- 長谷川太一, 2006. 7, 「葉脈標本作り スペシャル」, 博物館. (23名)
- 長谷川太一, 2006. 7, 「植物の標本をつくろう」, 博物館. (全2回, 20名)
- 長谷川太一, 2006. 8, 「デジタル植物図鑑に挑戦」, 博物館. (20名)
- 長谷川太一・三枝春生, 2006. 8, 「脊椎動物の骨格の機能と進化」, 博物館. (10名)
- 長谷川太一・客野尚志, 2006. 8, 「ヒートアイランド問題を考える・手作り百葉箱づくり」, 博物館. (5名)
- 長谷川太一, 2006. 8, 「夏休み子ども理科相談室」, 博物館. (1名)
- 長谷川太一・高橋晃・田地川和子・貴島せい子・肥田陽子, 2006. 9-10, 「植物画を描こう」博物館. (全2回, 37名)
- 長谷川太一・布施静香, 2006. 11, 「植物の戦略, CDケースを使ったひつつきむし標本の制作」, 博物館. (10名)
- 長谷川太一, 2006. 11, 「野草を生かそう, 草木染め」, 博物館. (20名)
- 長谷川太一, 2006. 12, 「つる植物を生かそう, リース作り」, 博物館. (20名)

###### 館外講演

- 長谷川太一, 2006. 7-8, 「葉脈の芸術」, 講師, 姫路市立伊勢自然の里環境学習センター. (全2回, 40名)
- 長谷川太一・小館誓治・平松紳一・本田毅, 2006. 10, 「校庭の樹木図鑑」, 講師, 神戸市中学校教育研究会理科部会ブロック実験講習会. (25名)
- 長谷川太一, 2006. 10, 「校庭の樹木図鑑」, 講師, 県立篠山鳳鳴高等学校1年生. (12名)
- 長谷川太一, 2006. 10, 「野外観察(秋の植物)の指導法」, 講師, 豊中市立小中学校理科教育研修. (10名)
- 長谷川太一, 2006. 11, 「葉の構造と葉脈のしおりづくり」, 講師, 尼崎市立浜田小学校4年生. (70名)
- 長谷川太一・高橋晃・田地川和子・貴島せい子・肥田陽子, 2006. 12, 「植物画を描こう」, 講師, NHK 神戸放送局(トアステーション), NHK 共催地球大好きキャンペーン. (24名)
- 長谷川太一, 2007. 1, 「デジタル植物図鑑の利用, 校内樹木図鑑の完成に向けて」県立篠山鳳鳴高等学校編. (1名)
- 長谷川太一, 2007. 2, 「植物色素と草木染め」, 講師, たつの市児童科学館. (20名)

###### ■学校教育支援

###### 学校団体対応

2006. 4, 「哺乳類の歯型と生活様式」・「樹木の観察」, 大阪府立泉北高等学校理系1年生. (25名)
2006. 4, 「けもの歯からの便り」, 追手門小学校5年生. (165名)
2006. 4, 「環境・景色の温度を測る」, 京都府立桃山高等学校自然科学科1年生. (89名)
2006. 5, 「実体顕微鏡の世界(植物・小動物)」, 茨木市立山手台小学校5年生. (47名)
2006. 5, 「けもの歯からの便り」, 姫路市立青山小学校5年生. (140名)
2006. 5, 「けもの歯からの便り」, 川西市立加茂小学校5年生. (98名)
2006. 5, 「野外植物観察」, 深田公園で実習・「植物形態の実体顕

- 微鏡下での観察」, 県立宝塚北高等学校グローバルサイエンス1年生. (42名)
2006. 5, 「葉脈のしおりづくり」, 西宮市立段上西小学校5年生. (99名)
2006. 5, 「葉脈のしおりづくり」, 茨木市立豊川小学校5年生. (52名)
2006. 5, 「葉脈のしおりづくり」, 高槻市大空子ども会. (23名)
2006. 5, 「けもの歯からわかることは」, 伊丹市立神津小学校4年生. (36名)
2006. 5, 「けもの歯医者さん」, 篠山市立古市小学校親子. (71名)
2006. 5, 「生きものつながりと役割り」, 神戸市立広陵中学校1年生. (153名)
2006. 6, 「歯のちがいは生き方のちがひ」, 武庫川女子大附属高等学校1年生. (180名)
2006. 6, 「葉のちがいは個性的」, 武庫川女子大附属高等学校1年生. (150名)
2006. 6, 「生きものと環境」, 武庫川女子大附属高等学校1年生. (150名)
2006. 6, 「ヒートアイランド問題を考える」, 県立有馬高等学校3年生. (10名)
2006. 7, 「実体顕微鏡でみる植物の世界」, 県立西宮北高等学校SCコース1年生. (40名)
2006. 7, 「イノシシくんがごあいさつ」, 北摂第一幼稚園年長組. (78名)
2006. 7, 「哺乳類の歯型と生活様式」, 県立大学附属高等学校1年生. (167名)
2006. 7, 「草木染めをわくわく」, 社会福祉法人「風」三田わくわく村. (12名)
2006. 7, 「骨が語る博物館の面白さ」, 和歌山県立向陽高等学校2年生. (85名)
2006. 8, 「実体顕微鏡の世界(植物の形態)」, 県立柏原高等学校ベーシックサイエンスコース1年生. (40名)
2006. 8, 「葉っぱの話と葉脈標本」, 錦松台子ども会. (103名)
2006. 9, 「わたしの葉脈のしおり」, 尼崎市立みのり園. (28名)
2006. 9, 「動物の骨と歯を比べてみれば」, 朝来市立生野中学校1年生. (36名)
2006. 9, 「哺乳類のばら骨を組み立てる」, 県立有馬高等学校3年生. (12名)
2006. 9, 「生きものつながり」, 尼崎市立武庫東中学校2年生. (231名)
2006. 9, 「景色の温度」・「ミナの世界」, 姫路市立山田小学校5~6年生. (80名)
2006. 10, 「葉脈のしおり」, 三田市立つつじが丘小学校2年生. (74名)
2006. 10, 「けもの歯をよくみれば」, 尼崎市立名和小学校5年生. (135名)
2006. 10, 「けもの歯からの便り」, 神戸市立月が丘小学校4年生. (36名)
2006. 10, 「大きくしてみる顕微鏡」, 兵庫県神戸町立南小田小学校4~5年生. (21名)
2006. 10, 「生きものつながり」, 豊中市立花町自治会. (56名)
2006. 11, 「生きものには役割りがある」, 神戸市立桜の宮中学校1年生. (74名)
2006. 11, 「葉脈のしおりづくり」, 香寺町立香呂小学校2年生. (35名)
2006. 11, 「生きものつながり」, 池田市立細河小学校5年生. (39名)
2006. 12, 「生きものと環境」, 加古川市立中部中学校 PTA. (25名)
2006. 12, 「生きものつながりと環境」, 川西市立北陵小学校6年生. (80名)
2007. 1, 「野生動物の落とし物・トラッキング」, ボーイスカウト神戸第60団カブ隊. (21名)
2007. 3, 「今後の研修活動に生かす・草木染め」, 県立甲山高等学校 PTA 役員. (3名)

###### ■フェスティバル等

2006. 11, サイエンスショー(1)「けもの歯の模型型紙切抜き」, 講師. (40名)
2006. 11, 「植物の戦略, ひつつき虫標本の制作」, 講師. (10名)

2006. 12, サイエンスショー (2), 「葉脈標本づくり」, 講師. (20名)  
2007. 2, 共生のひろば「植物画 (ポスター発表)」. (分担者)

## 毛利 敏治, Tosiharu MOURI

生涯学習推進室

スクールパートナー推進グループ

ミュージアム・ティーチャー

昭和12年生まれ 兵庫農科大学農学科卒業

元公立小学校 中学校教員 (理科担当)



### <事業推進>

#### 1. 生涯学習支援事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

- 毛利敏治, 2006. 5, 「やってみよう春の植物観察～身近な草木の挿し木」, 博物館. (11名)  
毛利敏治, 2006. 7, 「作ってみよう, 夏休みの自由研究, いろいろな葉脈標本にチャレンジ」, 博物館. (40名)  
毛利敏治・菊池由美子, 2006. 8, 「学校で作れる葉脈標本しおり」, 博物館. (25名)  
毛利敏治, 2006. 8, 「夏休み子ども理科相談室」, 博物館. (全2回, 4名)

##### ■学校教育支援

###### トライやるウィーク

2006. 5. 31-6. 2, 三田市立ゆりのき台中学校 2名.  
2006. 5. 31-6. 2, 三田市立八景中学校 3名.  
2006. 11. 7, 神戸市立北神戸中学校 5名.  
2006. 11. 7, 大阪府池田市立渋谷中学校 1名.

###### 学校団体対応

2006. 4, 「葉脈標本づくり」, 西神吉少年団大団隊. (95名)  
2006. 4, 「葉脈標本づくり」, 川西市立川西小学校 5年生. (118名)  
2006. 4, 「葉脈標本づくり」, 神戸朝鮮初中級学校実習. (43名)  
2006. 5, 「ネイチャーティリング (深田公園)」, 川西市立加茂小学校 5年生. (98名)  
2006. 5, 「植物の話」, 神戸市立星陵台中学校 1年生. (152名)  
2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 篠山市立雲部小学校 2年生. (16名)  
2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 南あわじ地学の会. (7名)  
2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 篠山市立古市小学校 4年親子活動. (71名)  
2006. 6, 「環境の話」, 伊丹市立昆陽里小学校 4年生. (113名)  
2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 篠山市立古市幼稚園親子活動. (85名)  
2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 芦屋市立潮見小学校 4年生. (83名)  
2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 加東市立滝野南小学校 5年生. (69名)  
2006. 7, 「葉脈標本づくり」, 島田子ども会. (125名)  
2006. 7, 「葉脈標本づくり」, 富永4丁目子ども会. (50名)  
2006. 7, 「深田公園の植物観察」葉脈標本づくり」, 加東市滝野町土曜ふれあい学級. (37名)  
2006. 7, 「葉脈標本づくり」, スポーツ21 弥生. (12名)  
2006. 7, 「環境の話」, 山手1丁目子ども会. (70名)  
2006. 8, 「ネイチャーティリング」, 加東郡稲美町人権推進室. (100名)  
2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 京都市立嘉楽中学校 1年生. (40名)  
2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 桑原子ども会. (33名)  
2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 上ノ原育成センター. (86名)  
2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 真南条子ども会. (27名)  
2006. 9, 「植物の話」, 川西市立多田東小学校 3年生. (171名)  
2006. 9, 「質問解答」, 宝塚市立宝塚中学校 1年生. (27名)  
2006. 9, 「葉脈標本づくり」, 神戸養護学校高等部 1年生. (69名)  
2006. 9, 「ネイチャーティリング」, 姫路市立山田小学校 1・2年生. (80名)

2006. 9, 「葉脈標本づくり」, 高砂市立北浜小学校 6年生. (56名)  
2006. 9, 「葉脈標本づくり」, 大阪市なにわ青少年会館. (50名)  
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 三田市立つつじヶ丘小学校 2年生. (74名)  
2006. 10, 「環境の話」, 丹波市立市島中学校 1年生. (95名)  
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 宝塚市立宝塚小学校 4年生. (139名)  
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 池田市立呉服小学校 4年生. (79名)  
2006. 10, 「ネイチャーティリング (深田公園)」, 神戸市立港島小学校 3年生. (114名)  
2006. 10, 「ネイチャーティリング (深田公園) 草木染め」, 味間自然を楽しむ会. (23名)  
2006. 10, 「環境の話」, 姫路市立菅野中学校 1年生. (109名)  
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 播磨町立播磨西小学校 4年生. (60名)  
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 三田市立あかしあ台小学校 2年生. (102名)  
2006. 10, 「環境の話」, 大教大付属池田小学校 5年生. (124名)  
2006. 10, 「環境の話」, 赤穂市立有年中学校 1年生. (23名)  
2006. 10, 「環境の話」, 高砂市立鹿島中学校 1年生. (159名)  
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 福崎町余田子ども会. (50名)  
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 加西市立日吉・宇仁小学校 3年生. (45名)  
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 吹田市立桃山台小学校 5年生. (58名)  
2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 加西市立北条小学校 3年生. (83名)  
2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 丹波市立鴨庄小学校 3. 4年生. (50名)  
2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 姫路市立香呂小学校 2年生. (97名)  
2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 北鈴蘭台子ども会. (50名)  
2006. 12, 「葉脈標本づくり」, 篠山市立西紀小学校 6年生. (16名)  
2006. 12, 「紅葉のしくみについて (深田公園)」, 加古川市立浜の宮中学校 1年生. (318名)  
2006. 12, 「リースをつくってみよう」, 北摂第一幼稚園. (75名)  
2007. 2, 「葉脈標本づくり」, 川西市立陽明小学校 4年生. (67名)  
2007. 3, 「葉脈標本づくり」, 東条保育園. (55名)  
2007. 3, 「葉脈標本づくり」, 志染アフタースクール. (20名)

##### ■フェスティバル等

2006. 11, サイエンスショー (1) 「葉脈標本づくり」, 講師. (50名)  
2007. 2, サイエンスショー (3) 「葉脈標本づくり」, 講師. (210名)

## 菊池 由美子, Yumiko KIKUCHI

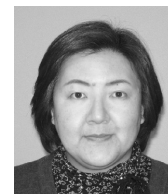
生涯学習推進室

スクールパートナー推進グループ

ミュージアム・ティーチャー

昭和41年千葉県生 大東文化大学 法学部法律学

科卒業



### <事業推進>

#### 1. 生涯学習事業

##### ■セミナー

###### 館主催セミナー

- 長谷川太一・菊池由美子, 2006. 7, 「葉脈標本作り スペシャル」, 博物館. (23名)  
菊池由美子, 2006. 7, 「昆虫標本作り実演」, 博物館. (全3回, 35名)  
大谷 剛・沢田佳久・菊池由美子, 2006. 8, 「昆虫は標本づくりから」, 深田公園・博物館. (30名)  
毛利敏治・菊池由美子, 2006. 8, 「学校で作れる葉脈標本作り」, 博物館. (25名)

菊池由美子, 2006. 8, 「夏休み子ども理科相談室」, 博物館. (全2回, 4名)

#### 館外講演

菊池由美子, 2006. 10, 「昆虫といのち」, 神戸市北区西山児童館(小学1年~3年児童), 講師, 神戸市北区西山児童館. (50名)

長谷川太一・菊池由美子, 2006. 12, 「リース作り」, 講師, 株式会社リコー, 博物館. (78名)

#### ■学校教育支援

##### トライやるウィーク

2006. 5. 31-6. 2, 三田市立ゆりのき台中学校2名.

2006. 5. 31-6. 2, 三田市立八景中学校3名.

2006. 11. 7, 神戸市立北神戸中学校5名.

2006. 11. 7, 大阪府池田市立渋谷中学校1名.

##### 学校団体対応

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 茨城市立西小学校3・4年生. (94名)

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 西宮市立段上西小学校5年生. (96名)

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 大空子供会. (23名)

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 緑ヶ丘子供会. (59名)

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 稲田住宅子ども育成会. (35名)

2006. 5, 「(ワンポイントセミナー) 昆虫の話」, 神戸ドイツ学院ヨーロッパンスクール. (17名)

2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 加西市古坂3丁目子ども会. (45名)

2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 芦屋市立潮見小学校4年生. (83名)

2006. 7, 「(ワンポイントセミナー) 季節の昆虫」, 花屋敷荘園2・3・4丁目子供会. (38名)

2006. 7, 「じっくり昆虫を見てみよう」, 神戸市北区西山児童館2・3年生. (8名)

2006. 7, 「夏休み自由研究のテーマの見つけ方」, 芦屋市立山手小学校6年生. (94名)

2006. 7, 「深田公園で昆虫採集」, 芦屋市立山手小学校6年生. (38名)

2006. 7, 「(ワンポイントセミナー) キベリハムシ」, 西舞子・神陵台幼稚園. (114名)

2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 京都市立歌楽中学校1~3年生. (34名)

2006. 9, 「くさむらのむし」, 北摂第一幼稚園年長児. (82名)

2006. 9, 「昆虫のからだ」, 明石市立大久保南小学校5年生. (100名)

2006. 9, 「葉脈標本作り」, 県立神戸養護学校高等部1年生. (45名)

2006. 9, 「質疑応答」, 宝塚市立宝梅中学校1年生. (27名)

2006. 9, 「葉脈標本づくり」, 宝塚市立西谷小学校3・4年生. (38名)

2006. 10, 「動物の表情」, 神戸市立有瀬小学校4年生. (179名)

2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 宝塚市立宝塚小学校4年生. (134名)

2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 箕面市立西南小学校3年生. (109名)

2006. 10, 「動物の表情」, 明石市立錦浦小学校5年生. (173名)

2006. 10, 「(ワンポイントセミナー) しぜんの話」, 神戸市立神陵台小学校4年生. (61名)

2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 猪名川町立中谷中学校1年生. (61名)

2006. 10, 「(ワンポイントセミナー) しぜんの話」, たつの市立東栗栖小学校3・4年生. (31名)

2006. 10, 「昆虫のからだ」, 神河町立南小田小学校1~3年生. (9名)

2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 神河町立南小田小学校1~5年生. (21名)

2006. 10, 「動物の表情」, 百合学院中学校1年生. (39名)

2006. 11, 「(ワンポイントセミナー) 虫のからだ」, 加古川市立別府西小学校3年生. (116名)

2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 尼崎市立立花小学校5年生. (80名)

2006. 11, 「葉脈標本づくり」, K-maison ときめき生きがいディサービス. (35名)

2006. 12, 「リース作り」, 北摂第一幼稚園年長児. (82名)

2007. 1, 「動物の表情」, 神戸市立住吉小学校4年生. (121名)

2007. 3, 「動物の表情」, 神戸市立大沢小学校1~6年生. (67名)

2007. 3, 「動物の表情」, 西宮市東山ぼぼ保育園4・5歳児. (17名)

#### ■フェスティバル等

2006. 11, ひとはくフェスティバル, 写真記録.

2006. 12, サイエンスショー(2)「振動ブラシ虫をつくろう」, 講師. (28名)

2006. 12, サイエンスショー(2)「ブラックライトで遊ぼう」, 講師. (30名)

#### ■行政等支援

##### 相談・指導助言

来訪者2件, 2名. メール相談者9名. 電話相談者2名.